

○井野國務大臣　今日主要食糧ノ生産増強ノ問題ガ極メテ重大デアリマシテ、其ノ重大デアル國家要請ニ對シマシテ、一面農民ニ離村ノ傾向ガアルト云フコトモ、洵ニ政府トシテハ考へナケレバナラヌ問題ダト思ツテ居リマス、併シ離村ノ原因ガ只今御述ベノヤウニ、主要食糧ノ價格問題ニ存スルヤ否ヤト云フコトニナツテ參リマスルト、私ハ必ズシモサウ思ヘナイノデアリマス、離村ノ原因ハ固ヨリソニモ一半ノ理由ガアルト思ヒマスケレドモ、今日離村スル所ノ色々々ノ事情ヲ調べテ見マスルト、附近ノ鑛山ナリ、工場ト云フモノノ賃金ノ關係デアルトカ、或ハ兵役關係デアルトカ、色々々ノ關係ガ離村ノ原因ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、唯米價ヲ直シタラバソレガスツカラ止マルカト云フト、決シテサウハ思ハナイノデアリマス、結局離村防止ト云フモノハ農民ガ土ニ愛着ヲ持チ、又土ヲ愛スル農民ノ傳統的ノ精神ヲ涵養スルコトガ一番必要デアリ、精神的ノ施設ノ上ニ於テ十分徹底セシメテ參リマスレバ、サウ云ツタ點ヘ或ル程度防ゲマスガ、是亦固ヨリ精神的ノ施設ノミヲ以テハ全キハ得ナイノデアリマシテ、結局私ハ自作農化スルコトガ一番農民ノ離村防止ノ根本的ノ對策デアルト考ヘテ居リマス、自作農ニナレバ農民ハ必ズヤ其ノ土地ヲ愛シ、又從來ノ國家要請ノ主要作物ノ増強ニ專心致スノデアリマス、今日農村カラ離レマスル者ノ多クハ大體小作人デアリマス、自作農ト云フモノハ殆ドアリマセヌ、而モ全體的ノ數カラ大觀致シマスルト、今日ノ狀態ハマダ極メテ小部分デアリマシテ、其ノ爲ニ國家ノ主要作物ニ對ス

ル生産増強が非常ナ滅退ヲスルト云フ風ニ
ハ私見テ居リマセヌ、デアリマスカラ此ノ
際ニ於テ、出來ルダケ自作農ノ創設ヲ促進
シテ、サウシテ農村ノ基本的ナ勞力ヲ農村ニ
確保シ、且ツ農業經營ノ安定ヲ圖ツテ行ク
ト云フコトガ一番根本策デアル、斯ウ考ヘ
テ居リマス、併シサラバ價格ノ問題ハ放ツ
テ置クカト云フト、是ハ私度々申上ゲテ居
ルヤウニ、決シテ放ツテハ置カナイノデア
リマス、唯今日之ヲ米ニ付テ考ヘテ見マス
レバ、ヤハリ生産費ト云フモノガ其ノ價格
ノ基準ニナリマスル以上、之ヲ十分ニ検討
致シマシテ、サウシテ實際ニ生産費ガ引合
ハヌト云フヤウナ事態ニナリマスレバ、無
論ソレハ考ヘナケレバナリマセヌガ、今年
ノ作柄ヲ以テシマスレバ、大體引合ハヌト
云フ所マデハ行ツテ居ナイト云フ見透シラ
持ツテ居ルモノデアリマスルカラ、此ノ際
ハイヂラヌト云フコトヲ申上ゲテ居ルノデ
アリマス、麥ノ價格ニ付テ先般其ノ必要性
ヲ認メマシテ値上ヲ致シマシタノモ、斯ウ
云ツタ點ニアリマシテ、決シテ政府トシテ
ハ疎カニハ考ヘテ居ナイト云フ點ヲ、能ク
御諒解願ヒタインデアリマス

起ル譯デアリマスルガ是ハソレト致シマシテ、當面成ベク手ツ取早ク増産ニ資シ、且ツ農家生活ノ安定向上ヲ期スル見地カラ致シマシテ、現狀ノ農業經營ヲ以て適正規模農業、或ハ大規模經營ノ農業ニ少カラナイヤウナ生産性ヲ發揮セシメテ、サウシテ生産力ヲ擴充シ、農家經營ヲ安定スル所ノ方法致シマシテハ、先づ耕地ノ交換分合ト云フモノガ今ノ狀態ニ於テハ適切デアル、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマスルガ、併シ是ハ農民ノ色々思想ノ上ニ於テ、或ハ舊來ノ觀念ノ上ニ於テ、單ナル指導デアルトカ、或ハ單ナル獎勵デアルトカ云フヤウナコトデハ、到底所期ノ目的ヲ達スルコトハ出來ヌト思フノデアリマス、從來モ政府ニ於キマシテ、耕地ノ分合ト云フヤウナモノヲ斡旋サレ、隨分心配サレテ居リマスガ、アア云フヤウナ程度デナシニ、本當ニ現在ノ農村ニ於テ適切ナリト云フコトニナリマシタナラバ、私ハ是ハ本當ニ積極的に推進シテ行クコトガ大キナ效果ヲ齎ラスノデハナイカ、斯ウ考ヘテ居ル譯デアリマスガ、ソレニ付キマシテ或ル程度ノ之ヲ強制實施シ得ルヤウナ制度ヲ御作リニナル御考ヘガアルカドウカ、此ノ點ニ付テ御尋ネ致シマス。

モ、其ノ意味ニ於テ私ハ遽カニ賛成シナイ
ノデアリマシテ、自作農創定ト云フコトハ
良イコトデアリマス、ソコデ成ベク早ク之ニ
ヲヤル爲ニハ、強制シテモヤレト云フヤウ
ナ議論モアリマスケレドモ、農村ノ事柄ハ
ヤヘリ餘リ強制ト云フコトデナシニ、積極
的ニ政府ガ努力ヲ致シテ、出來ルダケ良い
ト思フ方向ニ導イテ行クコトガ、今日ノ生
産増強ヲ必要トスル時期ニハ最モ適切デア
ル、ヤツテ見テドウシテモ出來ナイ時ニハ、
ソコニ又其ノ必要性カラ一面強制ト云フコ
トモ考慮シテ宜イノデハナイカ、マダ試ミ
テモ居ナイ内ニ、イキナリ法制的ニ強制ヲ
實施スルト云フコトハ、成ベク避ケテ参リ
タイ、斯ウ私へ考ヘテ居リマス

○五十嵐委員 大臣ノ御考ヘノ點ハ私モ能
ク分リマスシ、御尤モデスガ、唯耕地ニ關
スル問題ニ關シマシテハ、申スマデモナク
單ナル指導デアルトカ、或ハ獎勵ト云フヤ
ウナコトデハ中々是ガ運行ハ出來ヌト思フ
ノデアリマス、ソコデ耕地ノ交換分合ト云
フモノガ非常ニ重要性ヲ持ツテ居ルト云フ
コトデアリマスラバ、私ハ恐ラク今之ヲ
相當思ヒ切ツテ推進スルコトガ、纏テ其ノ
曉ニ於テハ必ズヤ相當大キナ效果ヲ齎ラス
モノト考ヘテ居ルノデアリマス、強制ト云
フコトニナリマストドノ程度マデ強制ス
ルカ、非常ニ難カシイ問題ニナリマスガ、
兎ニ角普通一般ノ指導ダケデハ容易ニ是ハ
到達スルモノデハナイト考ヘテ居リマスノ
デ、何等力具體的ニ積極的ニ指導サレル御
計畫等ガオアリデアリマセウカ、ソレヲ伺
ヒマス

ニ向ツテハ國トシテモ出來ルダケ進メタイト思ツテ居リマスカラ、今回政府が重要施策トシテ決定致シマシタ皇國農村確立促進施設ト云フモノハ、サウ云ツタ町村ヲ段々捉ヘテ行キマシテ、サウシテ其ノ内部ニ於ケル耕地ノ整理、交換、分合ヲ積極的ニ指導シテヤラセテ参りタイ、必要ガアリマスレバ、今日耕地整理組合法其ノ他ノ法律ハ多少強制的ナ法制ヲ整ヘテ居リマス、組合ヲ作ルトカ致シマスレバ、組合ニ強制加入サセラレマス、入レバ必ず整理ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ法規モアリマス、是ハ今日其ノ手續ノ上ニ於テ面倒デアル、中々此ノ法制デへ簡単ニ行カナイ、モツト簡易ナ耕地分合ノ法制ガ必要デヤナイカト云フ議論モ能ク伺ツテ居リマス、デアリマスカラ、皇國農村確立ノ場合ニ色々ヤツテ見マシテ、サウシテ更ニ一層ノ支障ヲ感ズル場合ニハサウ云ツタ見地カラノ法制化ニ付テ、更ニ考ヘテ見タイト思ツテ居リマス

○五十嵐委員 次ニ蠶絲關係ノ問題ニ付テ御尋ネラ致シタイト思ヒマス、現在行ハレテ居リマスル生絲ノ輸出量ニ國用ノ區別デゴザイマスルガ、現行ノ蠶絲統制ト云フモノガ全面的ニ統制ニ乗出サナケレバナラナクナツタ事情ハ、先般モ大臣カラ御話ガアリマシタ通リデアリマスルガ、現在ノ情勢モ、全部國內當時ノ事情ト大分ニ變化シテ參リマシタ以上ハ、是ハ先般加藤委員カラモ御話ガアリマシタガ、生絲ノ輸出、國用ト云フ區別ヲ廢シマシテ、國用一本ニ行ク、消費方面カラ考ヘテモ何レノ方面カラ申シテモ、生產、消費ヲ通ジテ極メテ圓滑ニ運

○井野國務大臣 輸出生絲ト國用生絲ノ效用竝ニ價値ノ相違ト云フモノハ、「アメリカ」輸出當時ト今日トハ全ク違ツテ居リマスコトハ御述ベノ通りデアリマス、併シ今日デモ尙ホ相當ニ第三國輸出ト云フモノハアルノデアリマス、又南方方面ニモ輸出ヲ致ス餘地ガゴザイマス、又軍需ニモ相當ニ需要ガアリマス、隨テ技術ヲ保存セシメテ行クコトガ必要デアルト云フ意味ニ於テ、ヤハリ國用生絲ト違ツタ扱ヒ方ヲ致シテ參テ來テ居ルノデアリマスガ、併シ今御述ベノ通リ其ノ用途ト云フモノモ段々ト限定セラレテ來テ居リマスカラ、特殊ノ製絲工場ニノミ限ツテ之ヲ造ラセテ、其ノ價格等ノ統制ヲ致シテ參ルコトモ一ツノヤリ方デアリマス、製絲業全體ニ付キマシテノ機構改革ノ問題ガ、今民間側ノ方カラモ起ツテ居ル、

○五十嵐委員 私ノ質問ヘ終リマシタ

○東郷委員長 高田耘平君

○高田委員 私ハ質問ト云ヒマスカ、御相談ト云ヒマスカ、希望ト云ヒマスカ、色々アリマスカラ、御諒承ヲ願ヒマス、先づ私ハ國體統合ニ觸レタ問題デ質問致シタイトトコトヲコトヲ厭ガリマス、詰リ其ノ加減デアレバ、技術保存ヲスル工場ガサウ云フ物ヲ作ルコトヲ厭ガリマス、語リ其ノ加減デセウ、又ヤツテオイデニナル、ソコデ先づ米ノ値段ヲ上げレバドウナルカト云フト、是ハ増産ト云フヨリ寧ロ減產ト云フ意味ガ強クナルデアラウト思フ、ソコデ参考ノ爲ニ申上げテ置キタイ事柄ハ減產防止ハドレカラヤツタラ宜イカト云フコトニ付テハ、結局値段ヲ上げルト云フコトガ一ツノ專賣局ガ賠償スル、此ノ賠償金ニ付テ、ドウ云フ態度ヲ執ツタカト云ヘバ、正確ナ数字ハ私此處ニ材料ガアリマセヌカラ申上

思ヒマスガ、其ノ前ニ申上げテ置カケレバナラヌコトハ、ドウモ食糧ノ增産ト云フコトヲ色々方面カラヤツテハ見ルガ、申

反歩當リノ賠償金ガ上ツテ居ルヤウニ思ヒ

マス、但シ是ハ賠償金ノ基礎タル標本ハ改

メナイ、唯行政上ノ鑑定ノ手心デ上ガテ居ル、是へ何ノ爲ニ上ガルカト云ヘバ、減產防
止ダト云フ、非常ニ勞力ガ足ラヌノデ、煙
草ヲ耕作スル人ガ段々減ル、其ノ爲ニ生産
品ヲ賠償スルト云フ制度デアリマスケレ
モ、賠償以上ニナツテ居ルト私ハ思フ、作
ラナイノダカラ已ムヲ得ナイ、要スルニ是
ハ煙草ガ御承知ノ通り今度値上ガヨスレバ、
十億圓以上ノ收入ニナル、國家ノ必要ナル
財源デアルカラ、其ノ原料タル葉煙草ヲ耕
作セシムル爲ニハ減產ヲ防止シナケレバナ
ラヌ、減產ヲ防止スルニハ賠償金ヲ上ゲル
ト云フコトカラ出タノデアラウト思ヒマ
ス、無論御承知ノコトト思フ、斯ウ云フコ
トヲ同ジ政府内デヤツテ居ルノデアリマス
カラ、米ノ値段ニ付キマシテモ、消費者ニ
對スル賣渡價格ヲ上ガルト云フコトハ或ハ
出來ナイカモ知レナイ、私個人トシテハ或
ル程度上ゲテモ宜イト思フガ、輿論ハ出來
ナイト云フコトニナツテ居リマスカラ、私
ハ輿論ニ逆ラウコトハ致シマセヌガ、要ス
ルニ五圓ヲ、獎勵金トシテヤル、ソレヲ或
ハ十圓ニスルトカ、十五圓ニスルト云フコト
ハ減產防止ノ方カラヤツテモ宜イト私ダケ
ハ考ヘマスガ、此處デ大臣ニ彼此レノ御答
へ要求致シマセヌ、鬼モ角モ財政ヲ掌ツテ
居ル大藏當局自身ガ、自分ノ直接主管シテ
居ル所ノ葉煙草ノ賠償金ヲ支拂フノニ、事
變前ノ殆ド三倍ノ支拂ヲシテ居ル、ソレハ
減產防止ガ必要デアルカラデアル、米ニ於
テモ減產防止ガ必要デアルナラバ、價格ヲ
引上げナイデモノ生産者ニ對スル獎勵金ハ相
當程度引上ガルト云フコトガ、食糧確保上
缺クベカラザルモノデアルト云フコトヲ茲
ニ申上ガテ置キマス、敢テ御答へへ要求致

シマセヌ
第二ハ食糧増産ニ關スル指導機關ノ徹底
ノ問題デアリマス、日支事變以來食糧増産
ニ關スル色々ノ法律ヤ勅令ガ出タ、然レド
モ中々思ツタ通リノ效果ハナイ、唯アルノ
ハ臨時農地價格統制令デ、是ガ爲ニ確ニ土
地ノ値段ハ抑ヘテ居ル、併シソレガ爲ニ自
作農ガ出來ルコトモ抑ヘテ居ル、善イカ惡
イカ、ソレガ爲ニ自作農ハ出來マセヌ、故
ニ一般的ニ自作農ヲ作ルコトヲヤラナイナ
ラバ、臨時農地價格統制令ニ適當ノ改變ヲ
加ヘルカ、何カノ方法ヲ以テ、私ハ自作農ノ
獎勵ヲシナケレバナラヌト存ジマスガ、此
ノ點ニ付テノ御答ヘモ要求致シマセヌ、小
作統制令ガアリマスケレドモ、是ヘ地主ガ開
墾、耕地改良ヲナサザルヤウニナリ、增産
上道效果ガアル、ソコデ又農地管理令、農
地管理令ハ要スルニ色々ノ目標ガゴザイマ
スガ、主タル目標ヘ耕作シナイ土地ガ澤山
出來ル、ソレヲ防止スルト云フコトガ農地
管理令ノ第八條デアリマス、所ガはヘドウ
ナツテ居ルカ、此ノ間農政局長ニ調べテ貰
ツタ、所ガ臨時農地統制令第八條ニ依ツテ、
詰リ第八條ガ發動シテ、之ニ依ツテ知事が
命令ヲ下シタモノガ全國ヲ通ジテ今日マデ
僅カ八件シカナイ、山口縣、千葉縣、京都
都、是ダケデアリマス、驚イタモノデアリ
マス、アレダケノ勅令ヲ作ツテ、第八條、
第九條等ヲ發動セバ、之ニ依ツテ不耕作地
ガ出來ナイ譯デアル、所ガ八件シカ適用サ
レテ居ラナイ、到ル處今日ニ於テハ田畠、
殊ニ畑地ニ於テ耕作セヌ土地ガ澤山出來テ
リマス、茲ニドナタカノ要求ニ依ツテ出シタ

統計ヲ見ルト、是ハサウ云フモノハ入ツテ居ラナイノデ、唯公ニ全然潰地ニナツタモノハゴザイマスケレドモ、今農民ガ勞力ガ足ラナインデ耕作シナイヤウナ土地ガ幾ラト云フ調べハナイ、是ハ相當ノモノニナツテ居ルト思フ、要スルニ農地價格令ノ第八條ニ依ツテ小作地ノ出來ナイヤウニスルト云レカラ又農業生產統制令ハ何ノ爲カ、是ハ主トシテ農業勞力ヲ確保スルト云フコトガ主タル目的デゴザイマセウ、所ガ是モ私アノ第八條ニ依ツテドウ云フ風ナ效果ヲ奏シタカト思ツテ、是モ一寸農政局長ニ調べテ貴ツタ、詰リ第八條ニ依ツテ申請シタ數ガ七万五千七百四十八、承認シタ數ガ七万三千百三十三、拒否シタ數ガ四千六百十五、斯ム但シ餘リシツカリシタ數字デハナイト云フコトデゴザイマスガ、兎ニモ角ニモ農業統制令ノ第八條ニ依ツテ農業勞力ヲ確保スルト云フコトモ、是モドウモ完全ニヤルコトガ出来ナイト見ルノデアリマス、然ラバ他ノ一面カラ見マシテ、一昨年デゴザイマシタカ、三千萬圓カ豫備費ヲ御出シヲ願ツテ、サウシテ農業ノ生產増進ニ對スル各種施設ヲ實行シタ、其ノ折ニ、低位耕作者ノ收穫ヲ引上げナケレバナラヌト云フコトガアツタ、是モ私ノ見ル所ニ依ルトドウモ思フヤウニ行ツテ居ネイ、故ニ豫算ヲ政府が出シテ見マシテモ、豫算ヲ取ツテ之ヲ農會ニ配付シマシテモ、或ハ又勅令等ヲ作ツテヤツテ見マシテモ、豫期ノ效果ヲ擧ゲルコト頗ル難イ、斯ウ云フ實際デアラウト思ヒマス、然ラバ

ドウシタラ宜イカト云フコトヲ考ヘルト、先ヅ以テ色々ノ考へモゴザイマセウガ、私ノ考ヘタ所デハ、直接第一線ニ立ツテ農業指導ノ任ニ當ル者ハドウシテモ農會ノ役員ト云フト、名譽職的ノ者ガ七分モ八分モゴザイマシテ、町村農會長トシテ専門的ニ其業務ニ携ツテ居ル者ハ極メテ少イノデアリマス、唯、技術員及ビ書記ガ農會ノ仕事ヲシテ居ルノデアリマシテ、全ク心許ナイ状態ニアルト云ハナケレバナラスト思ヒマス、ソコデ待遇ノ問題ニ及ブノデゴザイマスガ、私ハ待遇ガ必ズシモ絶對的ノモノトハ思ヒマセヌ、待遇ガ極メテ菲薄デモ、本當ニ滅私奉公、食糧増産ニ邁進シテ居ル町村農會長モアルト思ヒマスカラ、待遇ガ絶對的ノモトハ申シマセヌガ、兎ニモ角ニモ相當ノ待遇ヲ與ヘテ、一意專心食糧増産ニ奉公サセルダケノ待遇ヲシナケレバ、其ノ目的ヲ達成スルコトハ出來ナイデアラウト思ヒマス、ソコデ此ノ場合私ハ待遇問題ニ付テ、高田ハ比較スペカラザルモノヲ比較スルト仰シヤルカモ知レナイガ、一應申上ゲテ見タイト思ヒマス、行政部ノ方ハ兎モ角トシテ民間團體ノ方カラ云フト、生産獎勵團體ノ方ト分配團體ノ方トニ於テ非常ニ待遇ノ差ガアルノデアリマス、是ハ食糧ガ十分デアルト云フ時代ニナツタノデアリマスカラ、私ハ生産部門ニ對スル各種ノ團體ニ對シテモ、第一線ハ勿論ノコト、中央團體モソレ以下團體モ、相當ノ待遇ヲ改善スル途ヲ講ジナケレバナラヌト思ヒマス、私ハ農業團體法が出

來マシテ産業組合、或ハ農會、畜產組合等
ガ一ツニナルコトニ依ツテ相當效果ハアル
ト思ヒマスガ、之ニ依ツテ直チニ食糧增產
ノ成果ヲ擧ゲ得ルトハ信ジ得ラレマセヌ、
ソコデ待遇ノ問題ヲ深ク研究シテ見ルト、
帝國農會長ハ副會長ノ報酬ヲ合セテ一箇年
五千圓デアリマス、中央食糧營團ノ總裁ハ
私ノ聞イタ所デハ四万圓ト承ツテ居ル、副
會長ガ三万圓、帝國農會ノ方ノ會長、副會
長合セテ五千圓アツテ、而モ是ハ生產團體
ノ中心點デアル、配給ノ方ハ總裁ト副總裁
ヲ合セテ、ハツキリシタ數字ハ分リマセヌ
ガ何デモ六、七万圓ニナリハシナイカ、配給
團體ノ方ハ政府ガ金ヲ出サヌデモ、支出ノ
途ガ付クカラスウ云フ待遇ニナツテ居ル、私
ハ其ノ待遇ガ高イトカ安イトカ言ヒマセヌ、
高クテモソレダケノ力ガアレバ宜イカモ
知レマセヌ、ソレハ結構デス、ソレナラバ
最モ必要ナ生產團體ノ中心點ノ待遇ガ會長、
副會長合セテ五千圓、是デ宜イデセウカ、
是ハ農會ハ金ガナイカラ仕方ガナイ、仕方
ガナイト云ツテ其ノ儘デ宜イト云フコトハ
出來マセヌ、又縣農會長ハ何モ報酬ヲ取ラナ
ケレバ生活ニ困ルト云フ人ハ居ナイ、副會長モ
サウ云フ人ハ居ナイガヤハリ相當ノ待遇ヲ
シナケレバ、縣農會長ニ本當ニ食糧ガ困ル
ト云フ此ノ際ニ一意專心農會ノ事務所ニ出
テ、縣農會ノ事務ヲ指導シテ貴ヒタイノデス
ガ、ヤツテ居ラヌ、ヤツテ居ラヌト云ツ
テモ私共彼レ此レ言フ譯ニ參ラナイ、縣
食糧營團ト縣農會長ノ報酬——是モ最近帝
國農會ニ調べテ戴イタノデスケレドモ、多
少ノ誤リガナイトハ言ヒマセヌガ、大體誤リ
ガナイト思ヒマス、道府縣農會長ノ報酬及
ビ手當ガドウナツテ居ルカト云ヘバ北海道

ノ四千五百圓ヲ頭トシ、第二ハ兵庫縣ノ三
千圓、第三ハ滋賀ノ二千圓、第四ガ愛媛ノ
八百圓デゴザイマス、山形ノ千八百圓モ
ゴザイマス、アトハ五百圓、六百圓、二百
圓、百五十圓ニナツテ居リマス、是ハ私ハ
何モ報酬手當ノ多イ所ノ農會カ必ズ良イト
ハ申シマセヌガ、大體ニ於テ北海道ノ農會長
ノ勤キ、或ハ兵庫縣、愛媛縣、滋賀縣ハマ
ア私ノ見ル所デハ相當御勤キニナツテ居ツ
テ效果ガ現ヘレテ居ルト信ジテ居ル、副會
長ノ報酬ハ彼レ此レ申シマセヌガ、ヤハリ
ソンナ程度デアリマシテ、五、六縣ハ相當ノ
待遇ヲシテ居ルケレドモ、アトハ名譽職ニ
對スル一種ノ賞的ノモノデアリマス、是
デヤ仕事が出來ナイノガ當リ前デアル、郡
農會長ニ至ツテモ其ノ通り、町村農會長ハ
ドウカト云フド、ドウモ急ニ調ベタモノデ多
少ノ誤リガアルカモ知レマセヌ、サウシテ
マダ調査ノ到着シナイ所モアリマスカラ概
要ニ過ギマセヌガ、常勤ノ專任ノ數ガ七百
五十四人、常勤兼任ト云フノガ二千百八十
八人アリマス、其ノ中ノ俸給ノ最高イノ
ガ九百圓以上ノモアリマスケレドモ、先
づ以テ五十五圓トカ、二十五圓トカ、三十
圓トカ云フモノガ多イ、又常勤ニアラザル
町村農會長ガ八千人以上アリ、是ハ名譽職、
サウシテ一箇年ニ二十圓トカ三十圓トカ、
ホンノ形バカリ名バカリデス、斯ウ云フ狀
態デハドウシテモ食糧增產ノ目的ヲ達スル
コトガ出來ナイヤウニ思フノデアリマス、
即チ農地管理令ヲ發布シテモ實際效果ガナ
イ、農業生產統制令ヲヤツテモ效果ガナイ、
ソレカラ色々ノ增產施設、積極的、消極的
の問題ニ付テ豫算ヲ取ツタリ法令ヲ作ツ
タリシテモ、思フヤウニ行カヌデヤナイカ
ト云フ御説、是モ固ヨリスウ云フ時局デゴ
ザイマスカラ、其ノ法律自體、豫算自體デ
非常ナ大キナ效果ガ舉ルト云フ所マデハ私
モ至ツテ居ナイト思ヒマス、併シ單ニ統計
ニ現ハレタルコトダケデナシニ、色々ノ作用
ノアルコトハ、私モ色々各方面カラ調査モ
シ承知モシテ居ルノデアリマス、例ヘバ生産
統制令ニ付キマシテモ、或ル基本農家ノ勞
力確保ニ付テ、其ノ法令ニ依ラズシテ勞力
ノ逃ゲル話モ聞イテ居リマスガ、併シ又一
面ニ於テ其ノ法令ノ爲ニ相當ニ出ヨウトシ
テ出ラレナイト云フ事例モ聞イテ居リマス
又農地管理令等ニ付キマシテモ、所謂耕地
ノ場合ニ於テ、其ノ法令ノ效果ハ數字的ニ

經濟的ニ力ガアル産業組合、經濟的ニ極メ
テ菲薄ナル農會ヲ一ツニスルノデアリマスカラ、
餘力ハ出來マセウケレドモ、何トカシテ增產ノ
指導ニ當ル中心ノ役員——帝國農會ナリ縣
農會ナリ、主會トナルベキ郡農會町村農會
ナリノ役員ニ相當ノ報酬ナリ手當ナリヲ支
拂ツテ、一意專心食糧增產ニ邁進セシムル
ト云フコトデナケレバナラスト思フノデゴ
ザイマス、之ニ付テドウ云フ御所見ガゴザ
イマスカ、私ノ意見ニハ無論御同意下サル
トハ存ジマスガ、然ラバ其ノ金ヲ何處カラ
出サセルカト云フコトニ付テノ私ノ決マツ
タ意見モゴザイマセヌガ、農會法ハ廢止サ
レルノデ、勅令ニ依ツテ農會法中ニ規定サ
レタ經費ノ分賦ニ對スル程度バ何カモ決マ
ルコト思ヒマスガ、是ハ私ハ分リマセヌ
ドウ云フ程度デアルカト云フコトハ分リマセ
ヌガ、兎ニ角食糧增產ニ努メナケレバナラス
役員ガ、今日マデノ如キ菲薄ナル待遇デ
名譽職デハ、到底思フヤウナ仕事ハ出來マ
セヌカラ、一意專心食糧增產ニ邁進セシム
ル役員ヲ作ルコトガ此ノ際急務デアルト思
ヒマス、之ニ對シテ大臣ハ無論御同意ト思
ヒマスガ、然ラバ其ノ金ガ、私ノ考ヘデハ
若シ團體デ力ノナイ場合ニ於テハ政府ガ之
ニ對シテ相當ノ金ヲ出しシテ、サウシテ一意
專心食糧增產ニ邁進セシムルコトガ必要ト
思ヒマスガ、之ニ付テノ御意見ハ如何デゴ
ザイマセウカ、ドウモ是モ或ハ增產方策ト
シテ不十分カモ知レマセヌガ、色々考ヘテ
見ルニ、是ヨリナインデスカラ、ソレデコ
ンナコトヲ考ヘタノデアリマスカラ、御所
見ヲ伺ツテ見タノデアリマス

○井野國務大臣 高田サンノ御説何レモ私
共尤モニ拜聽シタノデアリマス、先づ私ノ

ハ許可トカサウ云ツタモノニハ現ハレテ居
ルヤウデアリマス、統計的ニ見マスト、例
ノ潰レ地等ノ統計ハ無論ソレニハ入リマセ
ヌガ、昨年ノ耕作面積ト云フ積極的方面ノ
相當ノ耕作不能ニナツタ面積等ガアリマシ
テ、寧ロ昨年ノ方ガ増加シテ居ルヤウニ
考ヘマス、デアリマスカラ其ノ收穫高カラ
判断致シマシテモ、サウ御心配ノ程ハ統計
的ニハ減ツテ居ナイト思ヒマス、地方的分
布的ニ見マスト、相當ノ事態ガアルト思ヒ
マスガ、大局ノ觀察カラ見マスト、サウ悲
觀的ニ見ナクテモ宜イノデハナイカト思ヒ
マス、唯併シ今御説ノ如ク、凡ユル方面カ
ラ今日ハ増産ヲ高調シテ行カナケレバナラ
ナイノデアリマスカラ、苟クモ支障トナル
ベキ事柄ハ出來ルダケ排除シテ行クト云フ
コトハ、當然ノ歸結デアルト考ヘマス、新
農業團體ガ今度確立致シマスレバ、之ニ基
イテ生産増強ノ色々ノ手段ヲ、此ノ團體ヲ
通ジテ講シテ參リタイトモ考ヘテ居リマス
ノデ、是ガ會長ナリ或ハ役職員ノ待遇問題
ト云フコトモ、相當ニ私ハ從來ト違ツタ觀
點カラ考ヘテ行カナケレバナラスト思ツテ居
リマス、唯今日配給機關ニ於ケル國策會社
乃至統制機關ノ役職員ノ俸給ガ中々問題ニ
ナツテ居リマス、併シ是モヤハリ良イ人ヲ
思フ存分勵カセルト云フ爲ニハ、私ハ相當
ノ報酬ヲ出サナイト、今高田サンノ御話ノ
如ク良イ人ハ來ナイノデハナイカト云フ所
ニ之ヲ下が得ナイ實情ニアルノデアリマス、
農林關係ノ配給會社、國策會社ハ商工關係
ニカラ見マスト寧ロ非常ニ低イノデアリマシ
テ、是ハ農村ト云フモノヲ背景ニ持ツテ居
リマス配給機關デアリマスカラ當然ダト思
ツテ居リマス、ソレニシマシテモヤハリ配
給機關ニ從事スル人ハ、從來ノ商業關係ノ
方ノ人ヲ引張ツテ來ルノデアリマスカラ、
勢ヒ從來ノ報酬ト云フモノガ基準ニナリマ
スノデ、其ノ點ガ農業ノ生產團體ト比ベテ
見マスト高イト云フコトハ、是ハ沿革的ニ
ハ已ムヲ得ナイノデハナイカト思フノデア
リマス、殊ニ食糧營團ノ人選等ニ付キマシ
テハ、先般此ノ委員會デ高田サンカラ、其
ノ點ニ付テ十分注意シテ貴ヒタイト云フ御
希望モアリ、私トシテモ其ノ總裁以下ノ人
選ニ付キマシテハ、相當慎重ニ考慮致シマ
シテ、良イ人ヲ持ツテ來タイト考ヘテ居リ
マス、ソレニハヤハリ或ル程度ノ報酬、從
來取ツテ居ルモノヨリ減ラスト云フ譯ニ行
カヌト云フコトカラ、ソレニ相當ノ報酬ヲ
出シテ居リマスガ、是ガ偶、農業團體ノ方ノ現
在ノ會長、副會長ノ報酬ト比ベテ見マスト高イ
ト云フコトハ、是ハ御説ノ通りデアリマス、
寧ロ農業團體ノ會長ナリ副會長ノ俸給ガ安
過ギルト云フコトハ、私自身モ感ズルノデ
アリマス、併シ又農村方面ノ聲トシテハ、
自分等ガ勵イテ出來タモノヲ扱ツテ貴フト
カ、又生産ノ獎勵指導ヲシテ貴フ團體ノ會
長ハ、餘リ俸給ヲ多ク出シテハイカント云
フ論モ中々ゴザイマスノデ、寧ロ高田サン
ノヤウナ御意見ガ農村方面ニ強ク出テ参リ
マスレバ、相當良イ人ガナツテ參リマス、併シ是
其ノ方ガ私ハ本當ニ農業團體ノ活動ニハ宜
イト思フノデアリマスケレドモ、兎角逆ナ
意見モ相當ニアルヤウデアリマス、併シ是
等ノ意見モ吾々トシマシテハ色々勘案致シ

副會長等ノ役職員ノ俸給等ヲ決メテ參リタ
イト思ツテ居リマス、然ラバ今ヨリ假ニ優
遇スルトシテ、財源ヲドウスルカト云フ御
話デアリマスガ、是モ農村方面ノ方々ガ高
田サンノヤウナ御意見デアリマスレバ、私
ハ經費ノ分賦ノ場合ニ於キマシテモ、相當
ノコトハ出來ルノテハナイカ、二、三人ノ
職員ノ俸給ヲ分賦金ニシテ見マスレバ、極
メテ僅カニナルノデアリマスカラ、サウ云フ方
面カラモ勿論財源ハ出マスシ、又府縣以下ノ團
體ニ於キマシテハ各種團體ガ統合サレマスカ
ラ、其ノ經費ト云フモノハ從來ヨリ餘程
節約サレルコトニナルト思ヒマス、殊ニ
人員等モ餘程陶汰サレルコトニナリマスカ
ラ、一人ノ人ニ從來ヨリ相當ノ報酬ヲ出シ
得ルト云フコトモ容易ニナツテ來ルノデヘ
ナイカト思ヒマス、併シ必要ガアレバ國家
ノ助成金モサウ云ツタ點カラ又別ニ考ヘテ
参リマスレバ、現在ノ豫算ト云フモノハ色
色ナ形デ出テ居リマスカラ、サウ云フ點モ
考慮ニ加ヘラレルト思フノデアリマス、兎
ニ角結論ト致シマシテハ私ハ高田サンノ御
意見ニ賛成デアル、サウ進ムベキガ今後ノ
新農業團體ヲ指導シテ參ルニ適當デアルト
考ヘマス、配給機關ノ役職員ノ俸給等トモ
能ク勘案致シマシテ、適當ニ善處シテ参リ
タイト思ヒマス

カラスウ云フコトハ出來マセヌカラ、デスカラ何ニ酒井サンガ金持デモ、副會長ガ地主サニデモ、マサカ五千圓デ年中農會デ働イテ居ルト云フコトハ出來マセヌカラ、ソレタカラ何トカシテ一万圓ナリ二万圓ナリヤラナケレバナラヌトシテモ、實際ハ中々纏マラナイ、縣ノ方モ其ノ通り遠慮シマス、先程ドナタデシタカ、縣ノ食糧營團ハ五千圓以上ト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、所ガ農會長ハ、サツキ言ツタ通り、北海道ハ四千五百圓デ、アトハ五百圓、六百圓デアル、デスカラ、五百圓六百圓ノ農會長ニ仕事シテ吳レト云フコトモ無理ナンデスカラ、結局ソチコチ兼務シテ、一週間ニ一遍モ顔ヲ出セバ宜イ位ニナツテ居ルヤウデス、是デヤ逆モイカヌデス、ソコデ相當ノ報酬ヤ手當ヲ今度出來ル團體ノ役員ニヤル、或ハ又町村ノ農業團體ニ一意專心食糧增產ニ邁進出来るルダケノコトヲシテヤル、ソコデ農民ガ自覺スレバ何デモナイ、但シ農會等ノ分賦金ヲ今後規定スル場合ニ於テ、相當緩メテ、是等ノ人々ノ待遇ヲ相當出來ルダケノ金額ヲ賦課スベキ制度ニ御作リニナレバ出來マセウガ、ソレハ又負擔ガ重クナツテ來ルノデハナイカ、ソコハ私ハツキリ分リマセヌ、ソコデ先程御話ノヤウニ、經濟團體ト指導團體ガ一ツニナリマスカラ、經費ノ餘剰モ出來マセウ、ケレドモ何レノ下部團體モ必ずサウナルトハ私ニハ見ラレマセヌ、貧弱ナル農村ニ於テハ產業組合ト農會ト合體致シマシタ所ガ、其ノ會長ニ對シ或ハ指導ニ從事スル役員ニ對シ(指導)爲専務理事ヲ置ク場合ニ於テ其ノ者ニ對シ)七百圓モ八百圓モ拂ヘルダケノ力ガアルカドウカ分リマセヌ

ガ、兎ニモ角ニモ私ノ申上ゲタコトニ御共鳴下サルナラバ、今度農業團體ガ出來マシテ、之ヲ統制スル場合ニ於キマシテハ、此ノ指導團體ニ相當ノ力ヲ付ケル爲ニ、若シテノ團體ニ金ガナケレバ、實力ガナケレバナイヤウニ、國家ノ施設、國家ノ豫算ヲ以テ支給スルト云フ位ノコトハ此ノ際ヤルノガ必要デハナイカト思フ、常ナラバソンナコトハ出來マセヌ、併シナガラ今ハ食糧増産ガ何ヨリモ必要ナル國家ノ政策デアルトスレバ、思ヒ切ツテ國家ガ五百万圓ヤ六百萬圓ノ金ヲ出シテモ宜イノデハナイカト思フ、又一昨年豫備金ヨリ支出セシ三千万圓ノ中カラ共勵員ニ出シテ居ル、是ハ場所ニ依ツテ違フカモ知レマセヌガ、一町村ニ二三十人ヅツアルガ、アレハ一人ニ二十圓ヤソコラデヘ餘り效果ガナイ、中ニハ働く者モアルガ、大體ニ於テ共勵員ト云フモノハ只二十圓ヅツ貰ヤウナ者デアリマスカラ、アア云フヤウナ者ハ相當整理スル必要ガアラウト思フ、先ヅ以テ大體ニ於テ私ノ意見ニ御賛成下サツタ以上ニハ、先刻申上ゲタマス

次ニ條文ノ問題デアリマスガ、是モドナタカラカ質疑ガアツタト思ヒマスガ、第二十九條ノ「會長ハ總會ニ於テ推薦シタル者ニ就キ市町村農業會ニ在リテハ市町村長(町村長ニ准ズベキモノヲ含ム)ノ意見ヲ徵シ地方市町村農業會ノ會長ヲ知事が任命スル場合ニ於テ、市町村長ノ意見ヲ徵スルト云フ」

ガ、兎ニモ角ニモ私ノ申上ゲタコトニ御共鳴下サルナラバ、今度農業團體ガ出來マシテ、之ヲ統制スル場合ニ於キマシテハ、此ノ指導團體ニ相當ノ力ヲ付ケル爲ニ、若シテノ團體ニ金ガナケレバ、實力ガナケレバナイヤウニ、國家ノ施設、國家ノ豫算ヲ以テ支給スルト云フ位ノコトハ此ノ際ヤルノガ必要デハナイカト思フ、常ナラバソンナコトハ出來マセヌ、併シナガラ今ハ食糧増産ガ何ヨリモ必要ナル國家ノ政策デアルトスレバ、思ヒ切ツテ國家ガ五百万圓ヤ六百萬圓ノ金ヲ出シテモ宜イノデハナイカト思フ、又一昨年豫備金ヨリ支出セシ三千万圓ノ中カラ共勵員ニ出シテ居ル、是ハ場所ニ依ツテ違フカモ知レマセヌガ、一町村ニ二三十人ヅツアルガ、アレハ一人ニ二十圓ヤソコラデヘ餘り效果ガナイ、中ニハ働く者モアルガ、大體ニ於テ共勵員ト云フモノハ只二十圓ヅツ貰ヤウナ者デアリマスカラ、アア云フヤウナ者ハ相當整理スル必要ガアラウト思フ、先ヅ以テ大體ニ於テ私ノ意見ニ御賛成下サツタ以上ニハ、先刻申上ゲタマス

十二條ノ「必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得」は行政特例ニ關スル法律案ノ委員會デ、指示ト云フコトハ指揮命令デアルト説明シテ居リマス、サウスルト町村長ガ「各種施策ノ綜合的運營」ト云フコトヘドウ云フコトヲ言フカハツキリ分リマセヌガ、兎ニ角團體長ニ對シテ指揮命令ガ出來ルト云フコトデス、同時ニ團體法ノ第二十九條ニ、農業團體長ヲ命ズル時ニハ市町村長ノ意見ヲ徵ス、斯ウ云フコトデ、全然農業團體長ト云フモノガ町村長ノ指揮命令ヲ受ケルヤウニナル、指揮命令ヲ受ケシムル爲ニハ町村長ノ意見ヲ重ンジテ任命スル、斯ウ云フノデスガ、是ハ餘程考ヘモノデス、何故考ヘモノデアルカト云ヘバ、地方ニ依ツテ事情ハ違ヒマサウガ、町村長ニナル適當ナ人ト農業團體長ニナル適當ナ人トハ人柄ガ違フノガ多イ、

コトハドウ云フ必要カラ出タノデゴザイマセウカ、是ハ餘程考ヘモノデゴザイマス、ナゼ考ヘモノデアルカト云フト、今度提出セラレタル改正町村制ノ第七十二條ノニニ「町村長ハ町村内ニ於ケル各種施策ノ綜合的運營ヲ圖ル爲必要ト認ムルトキハ町村内ノ團體等ニ對シ必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得」トアル、結局團體長ヲ町村長ノ監督下ニ置ク、斯ウ云フ思想デアルト思フ、ソレデ是ハ實ハ内務大臣ニ聽ク方ガ宜イカ知レマセヌガ、此ノ間本會議デノ農林大臣ノ農業團體法ニ於ケル御答辯デハ、内務大臣ト農業團體ノ運營ノ問題ニ付テハ總代ヨク相談ガ出來テ居ルカラト云フノデ、決シテ意見ノ相違スルヤウナコトハナイト云フ御話デアリマシタガ、町村制改正案ノ第七十二條ノ「必要ナル指示ヲ爲スコトヲ得」是ガ問題デス、昨日デスカ森山法制局長官ガ行政特例ニ關スル法律案ノ委員會デ、指示ト云フコトハ指揮命令デアルト説明シテ居リマス、サウスルト町村長ガ「各種施策ノ綜合的運營」ト云フコトヘドウ云フコトヲ言フカハツキリ分リマセヌガ、兎ニ角團體長ニ對シテ指揮命令ガ出來ルト云フコトデス、同時ニ團體法ノ第二十九條ニ、農業團體長ニ於ケル各種農業團體ノ運營ニ當リマシテハ、固ヨリ農林省ニ指導方針モ、町村ヲ中心ニシテ、圓滿ニ地方自治ヲ害サナイヤウニ指導シテ參ツテ來居リマス、併シ是ガ統合致スコトニナリマスト、一層團體トシテノ性格ガハツキシシテ參リマスシ、又團體長ノ責任モ重クナル、又能力モ擴大サレテ來ル譯デアリマスカラ、是ガ地方自治ト抵觸致シタリ、又確執致スヤウナコトガアリマシテハ、是ハモウ寧ロ地方自治ノ上ニ非常ナ大キナ弊害ヲ貽ス譯デアリマス、市町村ト云フモノハ今日地方自治團體トシテノ最下部機關デアリマスシ、ヤハリ市町村ト云フモノヲ中心トシテ各種ノ市町村内ノ團體ト云フモノハ相提携シ相助ケ合ツテ、サウシテ立ツト云フ意味デハナイノデアリマス、市町村長ガ其ノ委員長ニ何カ委員會デモ作リマシテ、各種ノ團體事事上ニ於テ纏メテ行クノニ市町村長ヲ中事ニシテ行クコトガ宜シイ、サウシテソコニ置クコトガ宜イ、何モ身分的ニ於テ上ニ立ツト云フ意味デハナイノデアリマス、市町村内ノ總デノ仕事ニ付テ纏メテ行ク立場ニ置クコトガ宜イ、何モ身分的ニ於テ上ニ立ツト云フ意味デハナイノデアリマス、市町村長ガ其ノ委員長トナツテ、市町村長ガ其ノ委員長トナツテ纏メテ行クト云フコトガ、地方自

治ノ上ニ一番圓滿ナル運行ヲ見ルモノニアリ

ルト云フ見地カラ、其ノ規定ヲ入レルコトニ

致シタノガ、是ガ農林内務ノ間ニ事務的ニ

話ガ纏マリ、サウシテ法文ニサレタ問題デ

アリマス、デアリマスカラ此ノ二點ト云フ

モノハ、農業團體ト地方自治機關アル市

町村トノ關係ヲ今申上げマシタヤウナ觀點

カラ緊密化スル、サウシテ今日ノ生產力増

強ニ一體トナツテ行クト云フ意味ニ於テノ

規定ト御解釋ヲ願ヒタイノデアリマス

○高田委員 私ハソレニ付テハ考ヘガアリ

マスクレドモ、意見ニナリマスカラ申シマ

セヌ、兎ニ角モ農業團體長ト云フモノハ、

寧口市町村長ヨリモ總テノ點ニ於テ優秀ナ

人ガナツテ居ルコトガ多イノデアリマス、

所ガ之ヲ町村長ニ隸屬サセルト云フヤウナ

アル、ソレハ農地管理令ノ運用ノ問題、モ

ウ大體大臣モ御承知ト思ヒマスガ、何トカ

農地管理令ノ運用ヲモウ少シ強クシテ、サウ

シテ收穫量ノ少イモノヲ收穫量ノ多イモ

ノニ轉作セシメル方法ハ執レナイモノカ、

例ヘバ陸稻ノヤウナモノ、是ハ畑地ノミノ

方面ニ於テハ或ル程度仕方ガナイガ、サウ

デナイ方面ニ於テモ相當陸稻ヲ作ツテ居ル

ノデ、是ハ土地ノ狀況ニ依ルコトデ一般的

ニハ申セマセヌガ、土地ニ依ツテハ陸稻ヲ

作ルコトヲ止メサシテ、甘藷ヲ作ラセル方

ガ、食糧農產物ノ量ニ於テ頗ル多イ、斯ウ

云フコトハ思切ツテ轉作セシメル方ガ宜イ

ト思フ、是ハ農地管理令ニ依ツテ適當ニ出

來ルノデスケレドモ、是ハオヤリニナリマ

セヌカ、是モ農政研究會ガ研究シタ結果デ

アルノデアリマスカラ、之ニ付テ御意見ヲ

伺ヒマス

○井野國務大臣 其ノ點ハ今日ノ食糧事情

カラ見マシテ、私モ極メテ緊切ナル處置デ

アルト者ヘマス、唯地方的事情ニ依リマシ

テ、陸稻ヲ止メテ諸ヲ作ラセマシテモ、輸

送關係トカ或ハ貯藏關係カラ、收穫ガ多ク

テモ、必ズシモ諸ノ方ガ宜イト云フコトデ

ナイ場合モアリマス、ソレハ事情ヲ見テ能

ク統制令ヲ發動シテ參リタイト思ツテ居リ

マスガ、大體ニ於テ高田サンノ御述ベノヤ

ウナ方針ヲ今回ハ執ツテ參リタイト思ヒマ

ス

○高田委員 マダヤラナイノデスケレド

モ、少シ思ヒ切ツテヤツタラバ宜イト思

イマス、摩擦トカ何トカラ惧レルノデオヤ

リニナラヌノデセウガ、多少何カ緩和シタ

ヤウニ伺ツテ居リマス、陸稻ト甘薯ナド

ハ、私フ縣ナドモ陸稻ノ多イ縣デ、甘薯モ

多少作リマスケレドモ、農民カラ言フト陸

稻ヲ何町何反歩、何村ト云フ命令ガ來ルノ

デ、甘薯ヲ作リタクテモ仕方ナシニ陸稻ヲ

作ルコトニナツテ居リマス、本年ヨリ或ル

程度緩和シテ居ルヤウデスガ、サウデナク

土地ノ狀況ニ依ツテハ、全然各府縣毎ニ、

ドノ村ハ陸稻ハ幾ラニ制限シ、ドノ村ハ甘

薯ヲ幾ラ曾産シロト云フヤウナコトガ出來

サウニ思ヒマスケレドモ、ドウナンデスカ

ケレドモ、一應緩和サセマシテ、直グサウ

云フ方面ニ積極的ニ乘出シテ見タイト考ヘ

テ居リマス

○高田(啓)委員 私ハ此ノ程度デ止メマス

○東郷委員長 岡田啓治郎君

農業團體法ノ審議ヲ繞リ

マシテ、食糧ノ問題、農產物價ノ問題、耕

地ノ交換分合、耕地ノ價格、農業均衡問題、

農民離村ノ問題、自作農創設ノ問題、凡ニ

ル問題ガ過日來熱心ニ質疑應答サレテ居リ

マス、殊ニ農林大臣ハ明快ニ御答辯ニナツ

テ居リマスカラ、重複ヲ避ケマスガ、尙ホ

割切レナイヤウニナツテ居リマスモノガ一

ツ二ツアリマスカラ、私ハ極メテ、簡單ニ御

尋ね致シマス、是ハ日本ノ國ガ、民族培養基

地ト致シマシテ、一億ノ人口ヲ將來ニ定有

シテ、其ノ中農業人口四割確保ト云フ國策

ニナツテ居リマス、而モ今日ノ農村ノ現狀

ハ、要スルニ離村、離農スル者ガ多イ、更

ニ勞力ノ問題テ不足ヲ致シテ居リマス、此

ノ勞力問題ノ調整ニ付キマシテハ過日來伺

ツテ居リマスト、是ハ農業ノ有畜化ニ依リ

ノ方法ニ依ツテモ解決シ得ル場面ガアル、其

思ヒマスケレドモ、サウナツテ來マスト其

ノ問題ハ解決スルケレドモ、結局國策テア

ル農業人口ノ保有確保ト云フ問題ハ矛盾ヲ

來スデハナイカト考ヘラレマスノデ、之ニ

對シテモウ一遍ハツキリ御伺ヒシタノデア

リマス、固ヨリ自作農ノ創定ニ依ツテ農民

ノ離村ヲ防止スル仰シヤラレタト思ヒマ

スケレドモ、一應之ヲ承リタイ

○井野國務大臣 只今御意見ノ通リ農村人

口ノ一定保有ト云フコトト、農村勞力ヲ節

約シテ行クト申シマスカ、即チ有畜農業ナ

リ或ハ機械化ニ依リマシテ、勞力少クシテ

スウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス

○岡田(啓)委員 皇國農村確立ノ構想ハ同

ヒマシテ分リマシタガ、併シ私ハ先日來モ出

テ居リマスケレドモ、結局米ノ問題ニナリ

或ル程度ニ於テ矛盾スルコトハ御話ノ通

リデアリマス、ソコデ現在ニ於テドウ結ビ

付ケテ解決シテ行クカト云フコトガ、一番政

府トシテモ考ヘナケレバナラヌ點デアリ、

ソレヲ所謂皇國農村確立施設ト云フモノニ

於キマシテ、兩者ノ按配ヲ致シテ、人口四

割ノ定有ヲ圖ツテ參リタイ、其ノ目標ヲ先

日此處テ數字的ニ細カク申上げタノデアリ

マス、アノ目標ニ依ツテ參リマシテ、農村

ニ於テ今日大體、專業農家デアレバ一町八

九反ノ耕作面積ヲ持チ、一戸當リノ人口モ

五・七人ト云フノガ現狀デアリマスレバ、モツ

ト耕地面積モ持チ得ルコトニナルノデアリ

マス、サウ云ツタ方面デ、其ノ程度ノ耕地

ヲ耕シテ行クトニドウ云フ勞力ト、ドウ云

フ機械化ナリ或ハ有畜農業化ニ依ツテ行ク

ガ宜イカ、即チ例ヘバ五人ノ家族ニ二町近

クノ田畠ヲ耕シテ行クト致シマスレバ、ソ

レダケノ勞力デ足リナインデアリマスカラ、

勢ヒソコニ家畜ヲ飼ヘセ、サウシテ小規模

ノ機械農具ヲ入レルコトニ依リマシテ、ソ

ヲ致シテ指導シテ參ル、是ガ皇國農村確立

レヲ解決サシテ行ク、ソレハ其ノ地方々々

ノ色々ノ事情ニ依リ、農業ノ立地條件ナリ

或ハ種類ナリニ依リマシテ、適切ナル企畫

策ノ一つデアルノデアリマス、ソレハ具體

的ニ各地方々々ニ依ツテ決メテ參リタイ、

スウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス

ニモアリマシタガ、乾繭確保ノ目標六千三百
万貫、而モ今日ノ蠶絲業界ノ情勢カラ申シマ
スト、現在ノ繭ノ値段デハ之ヲ確保スルト
云フヨリ、寧ロ減産ヲ防止スルコトガ極メ
テ困難デアルト云フ情勢ニ置カレツツアル
ト云フコトニ付キマシテ、加藤サンデアリ
マシタカ御質疑ガアリマシタ、ソレニ對シ
マスル大臣ノ御答辯ニハ、繭價ニ對シテハ
修正ノ用意ガアルノダ、殊ニ是ハ春蠶ニ於
テ考慮スルト云フコトヲ言明サレタト記憶
スルノデアリマス、私ハ此ノ言明ヲ得マシ
タコトハ、今日ノ日本ノ蠶絲業界ニ取りマ
シテ、養蠶業界ニ取りマシテハ正ニ天來ノ
福音ノヤウニ、恐ラクハ養蠶家ハ考ヘテ居
ルデアラウト存ジマス、即チ將來ニ對シマ
シテ是ハ確ニ光明ヲ與ヘラレタルモノナリ
ト承リマシテ、實ハ嬉シク思ツテ居ルノデ
アリマス、然ルニ一方案價ノ問題ニ立至ツ
テ考ヘテ見マスルト、米ハ何ト云ツテモ、
如何ナル觀點カラ見テモ笠棒ニ安イノデア
リマス、最モ卑近ナ例ヲ——コンナコトハ
言ハヌデ宜シイケレドモ、申シマスナラ
バ、兎ニ角煙草ノ朝日一個デ米ガ一升買ヘ
ルト云ツタヤウナコトデモアリマスシ、ソ
レカラ議院ノ食堂ニ於キマシテモ、林檎一
ツガ二十錢モスルト云ツタヤウナ次第デア
リマシテ、之ヲ米一升ト比ベマスト、米ノ
値段ハ兎ニ角安イ、併シ政府ノ低物價政策
ノ堅持ノ立場モアリマセウシ、其ノ他波
及スル所ノ影響モ御考ヘニナツテ居リマ
シテ、是マデモ協力會議ニ於キマシテモ、或ハ
議會ニ於キマシテモ、豫算總會ニ於キマシテ
モ、米ハ値上シナイノダト云フコトヲハツキ
リ仰シヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ二重

ノリマスカラ、サウナラバ米ハ値上シナイデ
生産獎勵金ハドウスルト云フコトニ相成ル
ノデアリマスガ、私ハ現在ノ米價デハ今モ
申シマス通リニ、日本農業ノ特質デアル水
田ノ耕作、即チ米作農家ト云フモノハ現在
減ツテ行クノデハナイカト思フ、前ニモ申
シマシタ人口ノ定有確保ハ難シクナツテ來
ルノデハナイカ、米作農家ヲ確保シテ行ク
コトハ困難デハナイカト思フ、固ヨリ農民
ハ皇國農民トシテ今日ノ時局ヲ能ク知ツテ
居リマスルシ、知ツテ居ル以上ハ其ノ忠誠
心ヲ一層發揮シテ、食糧増産ニ一生懸命挺
身スルコトハ言フマデモナイノデアリマス
ガ、此ノ團體法實施ノ此ノ際、ヤハリ事情
ハアリマセウガ、萬難ヲ排シテ生産獎勵金
ノ増額ヲ實行スルト云フコトヲ大臣カラ言
明ヲ戴キマスルナラバ、私ハ確カニ全國農
民ヲ一層感奮興起セシメル所以デアルト思
フノデアリマスガ、之ニ對スル御所見ヲ伺
ヒマス

承知ノコト思フノデアリマス、ソコデ本年
ノ米ニ付テ生産費ガドウナツテ居ルカト申
シマスト、マダ調査ガ出来テ來テ居リマセ
ヌ、併シ昨年ノ米ニ付テハ出來テ居リマス、
詰リ五千五百万石ノ生産ノ時ノ生産費ヲ償
フヤウニ五十圓ニ直シタノデアリマス、隨
テ六千七百万石ノ本年ニ於ケル生産費ハ、
ソレヨリ石當リハ高クナルベキ筈ノモノデ
ナイノデアリマスカラ、今常識的ニ考ヘテ
見マシテモ、生産費問題カラ直チニ之ヲ考
慮ハ致シ兼ネルト云フコトヲ先般來申上ガ
タノデアリマス、デスカラ實際ノ數字が出
テ参リマシテ、ドウシテモ農業經營ノ上ニ
於テ生産費ヲ割ルノデアルト云フコトニナ
リマスナラバ、是ハ政府ノ獎勵金ヲ又殖ヤ
シテ行クコトニ私トシテモ努力ヲ致シテ参
リタイ、斯ウ考へテ居ルノデアリマス
○岡田(啓)委員 御詫ヲ承ルト分ルノデア
リマスガ、併シ私ハ今年六千七百万石ヲ突
破シテ非常ナ豐作デアツタノデ、生産費ハ
是デ償ハヌヤウニナツテ居ラヌカラ獎勵金
ハ出サヌト説明サレル、其ノコトハ分ルノ
デアリマスガ、豊作デアツテモ、實際農村
ノ現狀カラ真ニ食糧ヲ確保スルト云フ立場
カラ考ヘマスルナラバ、ヤハリ此ノ際生産
費ハ假ニ辛ウジテ償ヒマシテモ、生産獎勵
金ノ増加ト云フコトニ對シテ、深甚ノ御考
慮ヲ煩ヘシタイト云フコトヲ申上げテ置キ
タインオデアリマス

ル米、小作米、シテ收納サレル米ハ、自家保有米ヲ除イテ全部買上ゲラレルノデアリマス、サウシテ此ノ買上ガラ、タ米ハ大體其ノ府縣内ニ於テ消費セラレル、主要生産地ハ縣外ニ多數移出サレルト思ヒマスガ、サウデナインハ大體ニ於テ其ノ土地ニ於テ、或ハ其ノ府縣内ニ於テ消費サレルノガ多イト云フ風ニ思フノデアリマス、然ルニ現在ノ買上ノ場合ニ於キマシテハ、其ノ土地ニ消費サレルモノモ、他ニ移出サレルモノモ、或ヘ貯藏サレルモノモ、悉ク最モ嚴重ナル表裝ヲシタ上デ買上ガラレル狀況ニチツテ居リマス、所ガ今申上ゲマスル通リニ、表裝ノ資材或ハ又表裝ニ要スル勞力、其ノ他色々々コトヲ考ヘマス時ニ、徒ラニ勞力、資材ヲ空費シテ居ルト申シテモ宜イト思フノデアリマス、此ノ點ヲ考ヘマシテ玄米ハ裸デ供出シテ、之ヲ政府ガ買上ゲルト云フヤウナコトヲ實施サレル御考ヘガアルカナイカ、御伺ヒ致シマス

御話ノヤウニ呴ノコトモアリマセウガ、直チニ御研究ヲ願ツテ、效果ノアル一つノ方法デナイカト信ジテ居ルカラデアリマス、同時ニ米ノ裸供出ヲ實施スルコトニ依ツテ生産農家ハ、私ハ其ノ通リニナルカドウカ知リマセヌガ、兎ニ角依ノ代金、表裝料ガ假ニ二圓掛カルト致シマスナラバ、一石ニ付テ五圓ダケ節約ガ出來ルト云フコトニモナリマス、一面ニ於テハ是ダケ獎勵金ヲ貰ツタ同ジ關係ニナルト思ヒマスカラ、是ハ一つ御研究ヲ願ヒタイ、是ハ増産ニモ資スル所ガアルト考ヘル次第アリマス、私は是デ終リマス

○東郷委員長 山口馬城次君

○山口(馬)委員 今日農業ニ關係シテ居マス者ノ實情ト致シマシテ、自作農ノ創設ノ問題ト、米價ニ關聯シテノ獎勵金ノ引上ゲト云フコトガ、實際ノ問題ト相成ツテ居ルノデアリマス、今日マデノ質問ト御答辯ニ依リマシテ、當局ノ御趣旨ハ私ハ大體ニ於テ分リマシタ、ソコデ自作農ニ關スル問題ハ私ハ御尋ね致シマセヌ、獎勵金ノ引上ノコトニ關シテ實情ヲ御参考ニ供給トコトアル、大臣ハ御考ヘニナツテ申上げタイト思ヒマス、要約シテ申シマスナラバ、問題ハ實情ヲドウ認識スルカト云フコトガ骨子デアル、大臣ハ御考ヘニナツテ居リ、色々御心配ニナツテ居ルト云フコトハ能ク分ツテ居リマスガ、少ナクトモ國民ニ對シテ、此ノ問題ニ關スル十二分ノ關心ヲ持ツテ居ルト云フコトヲ、此ノ議會ヲ通ジテドコマデモ國民ニ徹底ヲサセルト云フコトガ大切ナ問題デアル、サウ云フ觀點カ

ラ私ハ責任ヲ痛感シマス、ソコデ諄イヤウデアリマスケレドモ、實情ヲ一つ御認識ヲ願フ爲ニ、是ダケハドウシテモ申上ゲテ置カナケレバナラヌ、斯様ニ感ジテ居ルノデアリマス、ソコデ此ノ具體的ナ問題トシマツタ同ジ關係ニナルト思ヒマスカラ、是ハ一つ御研究ヲ願ヒタイ、是ハ増産ニモ資スル所ガアルト考ヘル次第アリマス、私は是デ終リマス

物價トノ均衡、物價ノ安定ト云フヤウナコトガ大體骨子トナツテ居ルヤウデアリマスシテハ、御答辯ニ依リマスト生産費ト他ノ物價トノ關係等ヲ考ヘテ、引合ハナイト云ガ、先程ノ御答辯ニ依リマシテ、生産費ト物價トノ關係等ヲ考ヘテ、引合ハナイト云フ狀態デアレバ是ハ勿論考ヘナケレバナラヌ、決シテ放ツテ置クト云フ意味デハナイ、併シ今年ハ豐作デアツタ、ソコデ引合ハストハ思ハレヌ、斯様ナ御趣旨ニ承ツタノデアリマスガ、今年之ヲ實行スルトカセナイトカ云フヤウナコトヘ、是ハ將來ニ於テ御考ヘニナルコトデアツテ、之ヲ私ハ今確メヨウト云フコトヲ考ヘル譯デハアリマセヌ、併シ本年豐作デアツタカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ點ニ付キマシテ、私ハモウシ認識ヲ深メテ戴キタイト云フコトカラ、實情ヲ申上げタインデアリマスガ、米價ハ引合ハナイト云フコトデ地方デ色々問題ガ起ツテ居リマス、ソコデ私ハ私自ラノ認識ヲ深メル必要ガアルト思ヒマシテ、今年田ヲ五反バカリ自分で作ツテ見タノデアリマス、ザウシテ私ノ信賴ニナル者ニ世話ヲ換算ヲシマシテ、收支ノ計算ヲヤツテ見タノデアリマス、是ハ今年デアリマス、今年ノ豊作デアリマス、斯様ナコトカラ質問ヲ省略致シテ

マス、是ハ私一人ノ體驗デアリマスガ、自分一人ダケノコトデアルカラ大局カラ見テシタ、所ガ大局カラ見マシテ、ヤハリ自分ドウデアルカト云フコトヲ大體觀察ヲシマガ作ツタ場合ノ勞銀ヲドノ位ニ見ルカト云シテハ、御答辯ニ依リマスト生産費ト他ノ物價トノ均衡、物價ノ安定ト云フヤウナコトニ歸着スルノデアリマス、ソコデ政府ノ方ノ御考ヘハ、勞銀ヲ幾ラニ御考ヘニナリマスカト云フコト――私ハソコニ相當ノ差ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、併シ民間ノ實情カラ見マシテ、今日ノ公定ノ勞銀デ見ルト云フコトニシマスレバ、是ハ非常ニ實際ノ事情ニ適シナイ、斯様ニ概括的ナ結論ト自信ヲ私ハ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ本年ハ豐作デアルノデアリマスカト云フ御考ヘモカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ御考ヘモナイトカ云フヤウナコトヘ、是ハ將來ニ於テ御考ヘニナルコトデアツテ、之ヲ私ハ今確メヨウト云フコトヲ考ヘル譯デハアリマセヌ、併シ本年豐作デアツタカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ點ニ付キマシテ、私ハモウシ認識ヲ深メテ戴キタイト云フコトカラ、實情ヲ申上げタインデアリマスガ、米價ハ引合ハナイト云フコトデ地方デ色々問題ガ起ツテ居リマス、ソコデ私ハ私自ラノ認識ヲ深メル必要ガアルト思ヒマシテ、今年田ヲ五反バカリ自分で作ツテ見タノデアリマス、ザウシテ私ノ信賴ニナル者ニ世話ヲ換算ヲシマシテ、收支ノ計算ヲヤツテ見タノデアリマス、是ハ今年デアリマス、今年ノ豊作デアリマス、斯様ナコトカラ質問ヲ省略致シテ

マス、是ハ私一人ノ體驗デアリマスガ、自分一人ダケノコトデアルカラ大局カラ見テシタ、所ガ大局カラ見マシテ、ヤハリ自分ドウデアルカト云フコトヲ大體觀察ヲシマガ作ツタ場合ノ勞銀ヲドノ位ニ見ルカト云シテハ、御答辯ニ依リマスト生産費ト他ノ物價トノ均衡、物價ノ安定ト云フヤウナコトニ歸着スルノデアリマス、ソコデ政府ノ方ノ御考ヘハ、勞銀ヲ幾ラニ御考ヘニナリマスカト云フコト――私ハソコニ相當ノ差ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、併シ民間ノ實情カラ見マシテ、今日ノ公定ノ勞銀デ見ルト云フコトニシマスレバ、是ハ非常ニ實際ノ事情ニ適シナイ、斯様ニ概括的ナ結論ト自信ヲ私ハ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ本年ハ豐作デアルノデアリマスカト云フ御考ヘモカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ御考ヘモナイトカ云フヤウナコトヘ、是ハ將來ニ於テ御考ヘニナルコトデアツテ、之ヲ私ハ今確メヨウト云フコトヲ考ヘル譯デハアリマセヌ、併シ本年豐作デアツタカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ點ニ付キマシテ、私ハモウシ認識ヲ深メテ戴キタイト云フコトカラ、實情ヲ申上げタインデアリマスガ、米價ハ引合ハナイト云フコトデ地方デ色々問題ガ起ツテ居リマス、ソコデ私ハ私自ラノ認識ヲ深メル必要ガアルト思ヒマシテ、今年田ヲ五反バカリ自分で作ツテ見タノデアリマス、ザウシテ私ノ信賴ニナル者ニ世話ヲ換算ヲシマシテ、收支ノ計算ヲヤツテ見タノデアリマス、是ハ今年デアリマス、今年ノ豊作デアリマス、斯様ナコトカラ質問ヲ省略致シテ

マス、是ハ私一人ノ體驗デアリマスガ、自分一人ダケノコトデアルカラ大局カラ見テシタ、所ガ大局カラ見マシテ、ヤハリ自分ドウデアルカト云フコトヲ大體觀察ヲシマガ作ツタ場合ノ勞銀ヲドノ位ニ見ルカト云シテハ、御答辯ニ依リマスト生産費ト他ノ物價トノ均衡、物價ノ安定ト云フヤウナコトニ歸着スルノデアリマス、ソコデ政府ノ方ノ御考ヘハ、勞銀ヲ幾ラニ御考ヘニナリマスカト云フコト――私ハソコニ相當ノ差ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、併シ民間ノ實情カラ見マシテ、今日ノ公定ノ勞銀デ見ルト云フコトニシマスレバ、是ハ非常ニ實際ノ事情ニ適シナイ、斯様ニ概括的ナ結論ト自信ヲ私ハ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ本年ハ豐作デアルノデアリマスカト云フ御考ヘモカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ御考ヘモナイトカ云フヤウナコトヘ、是ハ將來ニ於テ御考ヘニナルコトデアツテ、之ヲ私ハ今確メヨウト云フコトヲ考ヘル譯デハアリマセヌ、併シ本年豐作デアツタカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ點ニ付キマシテ、私ハモウシ認識ヲ深メテ戴キタイト云フコトカラ、實情ヲ申上げタインデアリマスガ、米價ハ引合ハナイト云フコトデ地方デ色々問題ガ起ツテ居リマス、ソコデ私ハ私自ラノ認識ヲ深メル必要ガアルト思ヒマシテ、今年田ヲ五反バカリ自分で作ツテ見タノデアリマス、ザウシテ私ノ信賴ニナル者ニ世話ヲ換算ヲシマシテ、收支ノ計算ヲヤツテ見タノデアリマス、是ハ今年デアリマス、今年ノ豊作デアリマス、斯様ナコトカラ質問ヲ省略致シテ

マス、是ハ私一人ノ體驗デアリマスガ、自分一人ダケノコトデアルカラ大局カラ見テシタ、所ガ大局カラ見マシテ、ヤハリ自分ドウデアルカト云フコトヲ大體觀察ヲシマガ作ツタ場合ノ勞銀ヲドノ位ニ見ルカト云シテハ、御答辯ニ依リマスト生産費ト他ノ物價トノ均衡、物價ノ安定ト云フヤウナコトニ歸着スルノデアリマス、ソコデ政府ノ方ノ御考ヘハ、勞銀ヲ幾ラニ御考ヘニナリマスカト云フコト――私ハソコニ相當ノ差ガ出テ來ルノデハナイカト思ヒマスガ、併シ民間ノ實情カラ見マシテ、今日ノ公定ノ勞銀デ見ルト云フコトニシマスレバ、是ハ非常ニ實際ノ事情ニ適シナイ、斯様ニ概括的ナ結論ト自信ヲ私ハ得テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ本年ハ豐作デアルノデアリマスカト云フ御考ヘモカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ御考ヘモナイトカ云フヤウナコトヘ、是ハ將來ニ於テ御考ヘニナルコトデアツテ、之ヲ私ハ今確メヨウト云フコトヲ考ヘル譯デハアリマセヌ、併シ本年豐作デアツタカラ引合ツテ居ル筈デアルト云フ點ニ付キマシテ、私ハモウシ認識ヲ深メテ戴キタイト云フコトカラ、實情ヲ申上げタインデアリマスガ、米價ハ引合ハナイト云フコトデ地方デ色々問題ガ起ツテ居リマス、ソコデ私ハ私自ラノ認識ヲ深メル必要ガアルト思ヒマシテ、今年田ヲ五反バカリ自分で作ツテ見タノデアリマス、ザウシテ私ノ信賴ニナル者ニ世話ヲ換算ヲシマシテ、收支ノ計算ヲヤツテ見タノデアリマス、是ハ今年デアリマス、今年ノ豊作デアリマス、斯様ナコトカラ質問ヲ省略致シテ

ト云フ者ガ申シテ居ルノデアリマス、私共
ガ方々ヲ廻ツテ見テ、其ノ聲ハドウ云フ氣
持テ言ツテ居ルカト云フコトヲ調べテ見ル
ト、皆サウ云フ氣持カラ出テ居ルノデアリ
マス、モウドウモ宜イト云フヤウナ餘リ
氣力ノナイ者ナドハ黙ツテ居ルノデアリマ
ス、私ガ方々ヲ廻ツテ見マシテ私ノ頭ニ最
モ響イタ所ハ、精神指導ダケデハドウモ蹤
イテ來ナイ、何カ茲ニ一ツ手ヲ打タナケレ
バカヌ、ソレニハドウシテモ獎勵金ノ問題
デアル、斯様ニ申シテ居ルノデアリマス、
ソコデドウシテモ今日農村ヲ守リマス爲ニ
ハ、皇國農村ノ創定、自作農ノ創定ト云フ
コトヲ根本的ニ考ヘナケレバナリマセヌガ、
是ハ急ノ間ニハ合ハナイノデアリマス、ソ
コデ急速ニ行ハレテ全生産者ニ徹底スル所
ノ、生産者ヲ引張ツテ行クノニ魅力アル
問題ハト云フコトヲ考ヘマシテ、サウ云フ
政治的ノ考ヘカラ行キマスト、ドウシテモ
私ハ此ノ獎勵金ノ問題ガ一番生産者ニ魅力
ノアル問題デアル、皆ガ感激シテ起チ上ル
問題デアル、此ノ題目デ兎ニ角此ノ急場ヲ
結集シテ行ク、サウシテ農民ヲ引張ツテ行
ク、是程私ハ魅力ソアル問題ヘナイト思フ、
勿論皇國農村ノ創定、自作農ノ創定ト云フ
云フニハ間ニ合ハナイト思フ、先達テ私ハ
縣廳ノ人ト廻リマシテ感ジタノデアリマスガ、
色々此ノ精神指導ト云フコトヲ申シマスト、
非常ニ眞剣ニナツテ居リマシテ、極メテ眞面
目ナ人ガアトデ起チ上リマシテ、アナタハ
サウ言ハレマスガ、農村ガ大切ダト云フコト
ヲ言ハレマスガ、アナタノ嬢サンヲ百姓ノ

息子ニオ嫁ニ吳レマスカ、斯ウ申スノデア
リマス、私ハ實ニ其ノ深刻ナ考ヘ方ニ非常
ニ感ジタノデアリマス、今日ハ精神指導ト申
シマシテモ、ソレガ本當ニ農民ニ血ノ繋ガ
リノアル所ノ政策ヲ伴ハナケレバ、引張ツテ
行ケナイ状態ニ相成ツテ居ル、ソコデ私共
ハ眞劍ニ農村ニ呼掛けテ行クト云フ上ニ於
テハ、ヤハリ皇國農民精神ニ信頼シテ、之
ヲ搔キ立テテ行ク、草莽ノ忠誠ニ信頼シテ
之ヲ搔キ立テテ行クト云フ所ニ、第一義的
ノコトヲ考ヘナケレバナラヌコトハ勿論デ
アリマスケレドモ、是ト相俟ツテ、ヤハリ
先手ヲ打ツテ、サウ云フ輿論ノ趨勢ニアル
所ニ先手ヲ打ツ、サウシテ感激サセテ、飛
躍サセテ引張ツテ行クト云フコトヲ次々ニ
考ヘナケレバ、イカスト思フ、モウ獎勵金ヲ
御出シニナツテ三年バカリニナリマセウガ、
色々國策ヲ御考ヘニナツテ居リマセウガ、
私ハ今日ノ場合、ヤハリ此ノ問題ガ一番好
イ問題デアル、斯様ニ私ハ深ク信ジ、又私
共ノ責任上、此ノ際ドウアツテモ農民ガ食
糧増産ニ御奉公申上ゲルト云フ機會ヲ何處
マデモ果サセルト云フ點カラ申シマシテモ、
先づ此ノ問題ヲ一ツ速カニ敢行ヲサレル、
是ガ本當ニ責任ヲ考ヘル時ニ一番宜イ、是
デナケレバ農村ガ守レナイ、斯様ニ私ハ感
じテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ實情ヲ申
上げマシテ、サウシテ是非此ノ實情ヲ御認
識ヲ願ツテ置キタイ、斯様ナ氣持テ意見ヲ
申上ゲタ次第デアリマス

○井野國務大臣 農產物ノ價格ノ問題ガ農
民ニ取ツテノ一つノ大キナ魅力デアルト云
フ御説デアリマスルガ、私ハ魅力デアルガ
爲ニ、又餘程農村ノ指導ノ上ニ付テハ考ヘ
テ參ラナケレバナラヌト思フノデアリマス、
モノハ一年ノ豐凶ニ依ツテ直チニ改廢シテ
行クモノデハ勿論ナインデアリマシテ、數
時ニハ引合ハナクトモ土ニ親シミ、自ラノ
農業ノ尊イ所以ノモノハ單ナル營農關係ダ
ケデハナインデアリマス、農村ガ極メテ堅
實ナル發達ヲ見テ参リマシタ所以ノモノハ、
農村トシテ立派ニ守リ立テ行クト云フ、
此ノ農民ノ精神ガ今日ノ農村ヲシテ堅實性
ヲ與ヘ、而モ大和民族トシテノ立派ナ涵養
地ニナツテ來テ居ルト思フノデアリマス、此
ノ狀態ヲ唯魅力カラ解決シテ行クト云フコ
トハ、却テ私ハ農村ヲ導ク上ニ於テ危險ヲ
感ズルノデアリマス、併シ今御話ノ通り、
生産ヲヤツテ引合ハナイト云フ狀態ニ何時
マデモ置イテオイテ、サウシテ尙ホ國家ノ
要請ヲソコニ持ツテ參ルト云フコトハ、是
ハ爲政者トシテ考ヘナケレバナラヌ、斯ウ
思フノデアリマス、デアリマスカラ、實際
ニ引合ハヌ場合ニハ價格ノ是正モ今マデモ致
シテ來テ居ルノデアリマス、今日農村へ行
ツテ見マスト、米價問題ハ相當私モ耳ニ致
シマス、併シ指導者トシテハソコニ抑ヘテ
戴キタイ、併シ私共、政府ニ對シテノアナ
タ方ノ御主張ハ、是ハ農村ノ色々ノ事情ヲ
御訴ヘ戴イテ、斯ウシテ吳レト云フ御要求ハ
御尤ダト思ヒマスガ、唯私共ニ仰シヤルコ
トヲ以テ、ヤハリ農村ニ、ソレハ尤モダ、
ダカラサウスルガ當然ダト云フ氣持ヲ御傳
ヘ願ヒマスト云フト、茲ニ私ハ農村ノ指導
上ニ於テ非常ナ誤リヲ生ジテ來ルト思フノ
デアリマス、此ノ點ハ能ク一ツ御考ヘ願ヒ
タイノデアリマス、而モ又今日ノ狀態ニ於

外ノ單ナル營利事業デアリマスレバ、無論
價格ヲ引上げテ、其ノ増産ヲ圖ルト云フコ
トモ一ツノ手デアリマスルケレドモ、今日
シマシテモ、ソレガ本當ニ農民ニ血ノ繋ガ
リノアル所ノ政策ヲ伴ハナケレバ、引張ツテ
行ケナイ状態ニ相成ツテ居ル、ソコデ私共
ハ眞劍ニ農村ニ呼掛けテ行クト云フ上ニ於
テハ、ヤハリ皇國農民精神ニ信頼シテ、之
ヲ搔キ立テテ行ク、草莽ノ忠誠ニ信頼シテ
之ヲ搔キ立テテ行クト云フ所ニ、第一義的
ノコトヲ考ヘナケレバナラヌコトハ勿論デ
アリマスケレドモ、是ト相俟ツテ、ヤハリ
先手ヲ打ツテ、サウ云フ輿論ノ趨勢ニアル
所ニ先手ヲ打ツ、サウシテ感激サセテ、飛
躍サセテ引張ツテ行クト云フコトヲ次々ニ
考ヘナケレバ、イカスト思フ、モウ獎勵金ヲ
御出シニナツテ三年バカリニナリマセウガ、
色々國策ヲ御考ヘニナツテ居リマセウガ、
私ハ今日ノ場合、ヤハリ此ノ問題ガ一番好
イ問題デアル、斯様ニ私ハ深ク信ジ、又私
共ノ責任上、此ノ際ドウアツテモ農民ガ食
糧増産ニ御奉公申上ゲルト云フ機會ヲ何處
マデモ果サセルト云フ點カラ申シマシテモ、
先づ此ノ問題ヲ一ツ速カニ敢行ヲサレル、
是ガ本當ニ責任ヲ考ヘル時ニ一番宜イ、是
デナケレバ農村ガ守レナイ、斯様ニ私ハ感
じテ居ルノデアリマス、私ハ此ノ實情ヲ申
上げマシテ、サウシテ是非此ノ實情ヲ御認
識ヲ願ツテ置キタイ、斯様ナ氣持テ意見ヲ
申上ゲタ次第デアリマス

○山口(馬)委員 誤解モオアリデハナカツ
タラウカト思ヒマスケレドモ、魅力ト云フ
ユル施設ヲ、單ニ米價ノミナラズ、色々ナ
言葉ヲ功利的ニ御受取りニナツタノデハナ
觀點カラ考ヘテ行クコトガ適切デアルト云
ナシ、併シ十分ニ色々ノ點カラ考ヘテ、サ
ウシテ農村ノ爲ニハ無論増産ニ必要ナル凡
デアリマス、此ノ點ハ能ク一ツ御考ヘ願ヒ
タインデアリマス、而モ又今日ノ狀態ニ於
シテ左様ナ意味デ申シタノデハ断ジテナイ

ノデアリマス、何處マデモ傳統ノ皇國農
精神ニ信賴シテ、之ヲ搔キ立テ行クト云
フ所ニ指導精神ヲ置カケレバナラヌト云
フコトハ、私ハハツキリ認識致シテ居ルノ
デアリマス、又地方ニ於テサウ云フコトノ
ナイヤウニト云フ御注意モアリマシタ、私
ハ地方ニ於キマシテヘ、農村ノ村長モヤツ
テ居リマスルシ、ソレカラ農會關係モヤツ
テ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ私ハ村デ
皆ニ話ヲシマス時ニ、引合ツテモ引合ハナク
テモ第一ニハ國家ノ主要食糧ヲ通ジテ御奉
公申上ゲルト云フコトデヤツテ行カナケレ
バナラヌト云フコトハ、強ク強調シテ居ル
ニシテ私共トシマシテハ強ク精神指導ヲ第
一義トシテヤツテ參ツテ居ルノデアリマス、
隨テ私共ガドウシテモ之ヲ確保シカレバ
ナラヌト云フ責任上、私ハ地方ノ實情ダケ
ヲ申上ゲテ御参考ニ供シテ置キタイ、斯ウ
云フ趣旨ニ外ナラナイノデアリマス、其ノ
點モ能ク御諒承ヲ願ヒタイト思ヒマス
○東郷委員長 暫時休憩致シマス、午後ハ
一時半カラ再開致シマス

午後零時十一分休憩

午後一時三十八分開議

○東郷委員長 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キ
マス——杉山元治郎君

康保険ヲ農業會ニ全面的ニ代行セシメテハ
ドウカ、斯ウ云フ問題デアリマス、其ノ譯
ハ團體統合ヲ致シマシタ精神ハ、申スマデ
モナク各種ノ團體ノアリマスルコトハ、下
部ニ於テ色々ト迷惑デアリ、又指導命令ガ
多岐ニ瓦ルノデ、斯様ナコトハ戰時下好マ
シイコトデハナイノデアリマス、斯ウ云フ
ヤウナ意味カラモ致シマシテ、今回ノヤウ
ナ團體統合ト云フモノガ出來タト思フノデ
アリマス、サウ致シマシタ團體統合ノ精神
カラ考ヘテ見マシテモ、又別ニ國民健康保
險組合ト云フモノヲ作ルヤウナコトガアリ
マスト、茲ニ又團體ヲ新シク作ルト云フコト
ニナリハシナイカト思フノデアリマス、農
業會ノ外ニ國民健康保險組合ト云フモノヲ
作リマスナラバ、ソレダケ多クノ會合ガ催
サレ、而シテ時間ヲ要シ、其ノ爲メ生産ヲ
阻礙スルト云フコトニモナラウカト存ズル
ノデアリマス、其ノ外今度ノ團體法カラ見
マスト、農會長ハ町村長ノ意見ヲ徵シテ、
サウシテ知事が任命スルト云フコトニナツ
テ居リマス、又團體長ガ町村ノ參與ニナリ
得ル、サウ云フヤウニ町村ニ農業會ノ會長
ガ關聯ヲ持ツテ居リマスト同時ニ、一面町
村長ハ農業會ノ理事ニモナル、又町村ノ吏
員モ理事ニナルト云フヤウナ交互關係ガゴ
ザイマシテ、謂ハバ町村ト農業會ト云フモ
ノトガ表裏一體ノ形ニナツテ居ル譯デアリ
マス、斯様ニ以前ノ產業組合ノ時代ト違ヒ
マシテ、農業會ハ國策遂行ノ公法人的ナ性
格ヲ持ツヤウニナツタト云フヤウナ意味カ
ラ考ヘテ見マシテモ、此ノ際農業會ニ全面
的ニ代行ヲ許シテハドウカ、斯ウ云フ點ガ
先づ伺ヒタイ一點デアリマス、時間ノ關係

第二ニ御尋ネ致シタイ點ハ、代行條件ヲ
緩和シテバドウカト云フ點デアリマス、第
五十四條ノ改正ハ、勿論無條件代行ヲ許ス
ト云フ考ヘデハナイト存ジテ居ルノデアリマスガ、前ニ申上ゲマシタヤウニ、今度ノ農
業會ハ前ノ產業組合ト大分性格ヲ異ニシテ
居ル點ガゴザイマスカラ、此ノ際ニ代行條件
ヲモット緩和シテハドウカ、從來デアリマ
スレバ、組合員ノ八割以上加入ガ必要デア
ル、斯ウ云フコトニナツテ居ツタノデアリ
マスガ、併シ五割以上加入スルナラバ、知事
ハ命令デ組合員以外ノ者ヲモ被保險者ニナ
シ得ルト云フコトハ、從來デモアツタノデ
アリマスカラ、此ノ際ニセメテ五割以上マ
デモアルナラバ、代行セシメルト云フコトニ
デモスルコトハ出來ナイカドウカ、此ノ二
點ダケ御伺ヒ致シタイト思フ譯デアリマス
○武井(群)政府委員 國民健康保險組合ノ
代行ニ關シ御尋ネガアリマシタ、仰セノ通り、
從來產業組合ニ對シマシテ、國民健康保險
組合ノ仕事ヲナシ得ル條件ヲ具ヘテ居リマ
スル組合ニ對シマシテハ、是ガ代行ヲ認メ
新シク出來マスル農業會ニ對シテ、國民健
康保險ノ仕事ヲ代行セシメルコトニ付キマ
シテハ、從來ノ產業組合ニ對スルト同様ナ
スル法律ノ制定セラルル場合ニ於キマシテ、
點ニ關シテ、將來ハ全面的ニ代行セシメテ
ハドウカト云フ第一點ノ御尋ネデアリマス
ガ、此ノ點ニ付キマシテ、只今此ノ席上
ニ於キマシテ、左様ニ致シマスト云フコ
トハ、マダ申上げ兼ネル實情ニアルト存ジ
マス、申スマデモナク、國民健康保險組合

ハ全國民ヲシテ健康ノ増進、體位ノ向上ヲ目指トシマシテ、政府ガ最モ力瘤ヲ入レテヤツテ居リマスル重要國策ノ一ツデアリマシテ、過去數年間ニ於テ、僅カニ六百万人程度ノ組合員シカ出來ナカツタモノヲ、昭和十七年度中ニ於テ之ヲ二千万人ニ殖ヤス、昭和十八年度ニ於キマシテハ更ニ又其ノ上ニ一千六百万人程ヲ殖ヤサウ、斯様ニ致シマシテ、昭和十八年度中ニ農山漁村ニ漏レナク國民健康保險組合ヲ作ラウト云フヤウナ譯デアリマス、更ニ引續キマシテココ兩三年ノ内ニ、都市ト言ハズ、農村ト言ハズ、全國民漏レナク健康保險組合ニ加入セシメヨウトスル、大キナ方針ヲ以テ進ンデ居ル譯デアリマス、此ノ際ニ農業團體法ガ改正ニナリマシテ、農業會ガ國策ニ即應スルヤウニ設置セラレル狀況ト睨合ハセマシテ、此ノ國民健康保險組合ノ仕事ヲ代行シ得ル資格、内容等ヲ具ヘテ居リマスル組合ニ對シシテハ、之ニ代行セシメルコトガ適當ナリト思ツテ居リマスルケレドモ、併シナガラ御話ニモアリマシタヤウニ、農業會ノ目的トスル所、其ノ施行スル仕事ト、國民健康保險組合ノ目指ス所、及ビ其ノ仕事トニハ、自ラ其ノ範圍ノ異ナル點モアリマスルシ、之ヲ運用スルニ付キマシテハ、之ニ必要ナル人ヲ得ル點モアリマスルノデ、ヤハリ個々ノ農業會ソレ自身ヲ見マシテ、代行シ得ルニ適格ヲ持ツテ居ルモノニ付テ之ヲ代行セシメルト云フ方針ハ、是ヨリ後モ實施シテ參ヲナケレバナルマイト思ツテ居リマスルヤレドモ、御希望ノ點ハ能ク諒承致シマシタ是ト關聯致シマシテ第二ノ御尋ネアリマスガ、從來八割以上加入シテ居ルモノニ付キマシテハ、強制ノ規定等ガアリ

リマシテ、其ノ規定ノ運用等ヲ致シテ居ツ
タ譯デアリマスガ、此ノ條件ヲ緩和シテハ
ドウカト云フ點デアリマス、此ノ點ハ第一
ノ御答ヘト關聯スルノデアリマスガ、新シ
ク御制定ニナリマス農業團體法ニ依ツテ
出來マシタ農業會ガ、如何ナル活動ヲシテ
居ラレルカ、其ノ點モ見マシテ、出來上リ
マシタ農業會ノ其ノ實績ニ徵シテ、代行ヲ
シテ貰フト云フコトニアルカト思ヒマス、
自然農業會ノ實體ヲ見タ上デ、此ノ條件緩
和ト云フ點モ十分ニ考へテ見ナケレバナル
マイ、斯様ニ存ジテ居リマス

○杉山委員 大體次官ノ御答辯テ諒承致シ
タノデアリマスガ、今日マデモ隨分町村長
初メ村ノ人達ガ、十分諒解ヲシ希望シテ御
願ヒシテ居ルニ拘ラズ、ドウシタコトデア
リマスカ、少シ條件ガ足リナイト云フヤウ
ナコトデ、認可サレテ居ラナイト云フヤウ
ナ所ガ、數多アルヤウニ聞及ンデ居ルノデ
アリマス、サウ云フヤウナ所ガ、今度農業
會ニナツテ性格ガ變り、一層強イモノニナ
ツテ來ルノデアリマスカラ、サウ云フ希望
ノ所ニハ、ドウカ一日モ早ク御許シヲ戴キ
タイ、是ダケ御希望申上ゲテ、私ノ厚生省
ニ對スル御尋ネヲ終ツテ置キマス

○東鄉委員長 ソレデハ厚生省ニ對スル質
問ヘ終リト致シマス——杉山君

○杉山委員 次ニ内務省關係ニ付キマシテ
一言御尋ネシテ置キタイト思フノデアリマ
ス、ソレハ都市計畫ト云フモノハ恐らく國
土計畫ノ一部トシテ行ハレテ居ルノダト思
ヒマス、國土計畫ニ付テハ後デ農林省ニモ
御伺ヒ致シマスガ、國土計畫ガ今完全ニ出
來テ居ルノカドウカト云フ問題ガ一ツデア
リマス、サウシテ其ノ國土計畫ヲナサレル

時ニ、關聯シマス所ノ農林省ト連繫ヲ執ツ
テヤツテ居ルノカドウカ、内務省ハ内務省
獨自デ、國土計畫ノ一部トシテ都市計畫ト
云フモノヲオヤリニナルノカドウカ、ト云
フコトガ先づ御伺ヒシタ第一點ナノデア
リマス

○新居政府委員 只今都市計畫ハ國土計畫
ノ一部ト思フガドウカ、ト云フ御尋ネデア
リマスガ、吾々ト致シマシテモ、國土計畫
ニ即應シテ、地方計畫ナリ都市計畫ヲヤツ
テ行カナケレバナラヌト思ツテ居リマス、又之
又國土計畫ハ完成シテ居ルカドウカ、又之
ヲ立テル上ニ於テ、内務省ハ農林省ト能ク
連絡協調ヲ保ツテ居ルカ、ト云フ御尋ネニ
伺ヒシタガ、國土計畫ハ私ノ存ジテ居ル
範圍ニ於テヘ、完成ト云フ域マデニハマダ
ナツテ居ラナイノデハナイカ、是ハ企畫院
ガ中心ニナリマシテ國土計畫ヲ策定シ、其
ノ策定スル上ニ於テ各省ト密接ナル連絡ヲ
執ルト云フコトニナツテ居リマスカラ、勿
論内務省トシテモ其ノ一環トシテ、十分之
ニ協力シテ行ク、又從來ノ都市計畫ニ於テ
モ、現實ノ都市計畫及び都市計畫事業ヲ決
定スル場合ニ於キマシテハ、事務的ニモ農
林省關係、其ノ他トモ密接ナ連絡ヲ執リマス
シ、又御承知ノ通り都市計畫委員會ノ構成
員ト致シマシテハ、農林省系統ノ方々モ其
ノ委員會ニ列席シテ居リマシテ、サウ云フ
見地カラモ御檢討ヲ願ツテ居ルノデアリマ
ス、吾々ト致シマシテハ緊密ナ連絡ヲ執ツ
テ居ル次第デアリマス

○杉山委員 都市計畫ノ爲デアリマスガ、
區劃整理ヲ致シテ居リマス、アレハヤハリ
内務省ノ仕事ダト存ジマスガサウデゴザイ
スマスカ

○新居政府委員 都市計畫及ビ都市計畫事
業トシテ、區劃整理ヲヤツテ居リマス
○杉山委員 ドウモ私共都市ノ近郊ト言ヒ
タイガ、稍々懸離シタ所ニ、隨分區劃整理
マダ住宅地ニナス必要ノナイ所ヲ住宅地ニ
シテ行ク、斯ウ云フコトノ爲ニ、今日ノ食
糧增產ニ非常ナ障碍ヲナシテ居ル事實ヲ私
共ハ見テ居ルノデアリマス、今私ガ農林省
ト連繫ヲ執ツタカト伺ツタ點ハ、サウ云フ
點ナノデアリマシテ、今後サウ云フヤウナ
場所ニ付テ十分ノ御注意ヲ願ヒタイコト
ト、寧ロ今日ノヤウニ、食糧ヲ必要トスル
際、サウ早急ニ住宅ヲ、必要トシナイヤウ
ナ實情ノ時ニハ、之ヲ阻止シテ戴クコトノ
方ガ適當デハナイカト考へテ居ルノデアリ
マスガ、此ノ際政府ノ御意向ナル所ヲ伺
ツテ見タイト思ヒマス

○新居政府委員 都市計畫ノ見地カラ致シ
マシテモ、交通、衛生、保安、其ノ他食糧
一切ノ問題ヲ綜合的ニ考へナケレバナラヌ
ト云フ根本ノ立場カラ出發シテ居リマスノ
デ、成ベク土地ノ利用ニ付テ不合理ナ點ノ
ナイヤウニ、農地トシテ利用出來、又是カ
ラ利用シナケレバナラヌモノノ必要ニ廢
メサセルト云フコトノナイヤウニ、從來モ
努メテ居ル積リデアリマスガ、唯都市計畫
テカラ、其處ニ都市構築ノ現實ノ仕事ヲシ
テカラ、其處ニ都市構築ノ現實ノ仕事ヲシ
テ云フコトニナリマスノデ、現在市街地化シ
テ云フ御話デアリマスガ、私ノ伺フ點ハ發令以前ノ
區劃整理ニ多クアリマシテ、今農耕地ニナリ
得ル所ヘ、尙ホ農耕地トシテ殘シテ置クト
通リデアリマスガ、私ノ伺フ點ハ發令以前ノ
區劃整理ニ多クアリマシテ、今農耕地ニナリ
イヤウニヤルノデアリマス、譬へテ申スト
池ノアル所ヲ池ヲ潰シテシマフ、或ハ水路

ヲ壊シテシマフト云フヤウナコトデ、宅地所へ荒廢ニ歸シテシマツテ居ル、斯ウ云フ
實情ヲ見マスガ故ニ、特ニ今日ノ如キ食糧ノ必要ナ際ハ、内務省ニハ十分ノ御注意ヲ
願ヒタイト云フ意味デ此ノ質問ヲシタ譯デ
アリマス

第二ニ御尋ネシタイ點ハ綠地設定ノ問題デアリマス、是モ軍事上或ハ厚生上設置スルト云フコトデ、已ムヲ得ナイコトデアラ
ウト存ジマスガ、綠地ノ設定ハ相當廣範園ノ面積ヲ取ル關係上、其處ニ働イテ居ツタ農民ガ、大部分轉業ヲ餘儀ナクサレテ居ルノデアリマス、之ニ對シテ内務省ノ御執リニナツテ居ル所ノ處置ハ、僅カバカリノ離作料ヲ與ヘテ、ソレデ足レリトシテ居ルヤウニ見受ケテ居ルノデアリマス、一反、二反道路ノ敷地ニナルト云フヤウナ場合ナラバ、從來ノヤウナ離作料デモ農民ヘ我慢スルト思ヒマスガ、綠地帶ノ場合ノヤウニ、全體ガ取ラレテシマツテ轉業シナケレバナラスト云フヤウナ時ニ、從來ノヤウナ僅カナ離作料デヘ到底將來ノ途ガ立タナイ、斯ウ云フ場合ニ丁度商工業者ガ轉業致シマスル場合ニ、後顧ノ憂ヒノナイヤウニ、色々ト保護施設ヲ致シテ居リマスノト對照致シマスルト、非常ニ差ガアルヤウニ思ハレルノデアリマス、唯土地ノ離作料ヲ貰ヒマシテ、納屋ガ駄目ニナル、農具ガ駄目ニナル、或ハ家畜モ不^レイト考ヘテ居ルノデアリマスガ、内務省ハ唯離作料ダケヤレバ是デ足リテ居ルト御考ヘニナツテ居ルカドウカ、ソレカラ家屋ナ

リヲナサルノデアリマスガ、ソレハ政府ノ御見積リニナツタ價格デハ、今日ハドウシテ見マシテモ再建ガ出來ナイ、物ガ闇デナケレバ買ヘナイ、斯ウ云フヤウナ時代ニ、移轉シナケレバオラヌト云フ人達へ何モ要求セヌ、唯元通り其ノ儘直チニ政府ノ方デ移シテ吳レレバ喜んで行ク、ケレドモ政府評價ノ値段デ行ケト言ハレレバ到底移ツテ行ケナイ、斯ウ云フコトヲ數多ク伺ツテ居ルノデアリマス、サウ云フ點ニ付テ一ツ政府ノ御意見ヲ伺ツテ見タイト思フノデアリマス

ヒマス、又家屋ノ移轉ノ場合ハ、移轉スルニ付テ通常要スルモノハ支拂フト云フ方針ニナツテ居リマス、併シ又現實ニ表向キサウフ風ニヤツタグケデハ、マダ足リナイデヤナイカト云フ點ハ、往々ニシテアラウカト思ヒマスノデ、若シ澤山ナ人ガ集團的ニデモ外ニ行カナケレバナラナイト云フヤウナコトニナリマスレバ、外ノ農耕ニ適當ナル所ヲ發見スルトカ、或ハ外ノ政策カラサウ云フ土地、或ハ開發營團^デ開發スルト云フヤウナ所トカ、或ハ干拓ヲスルト云フヤウナ所ニ斡旋スルトカ、サウ云フ行政的ノ手段ニ依ツテ、出來ルダケ父祖傳來ノ土地ヲ公共ノ爲ニ譲渡シタ人ニ對スル温力イ心持デ、御世話申上ゲルト云フコトニシタイト思ツテ居リマス

○山口(左)委員 今般町村制ノ改正法律案ニ依リマシテ、同法律案ノ第七十二條ノ二ニ、町村長ハ團體ニ對シテ必要ナ指示ヲナスコトヲ得ルト云フ風ニ御規定ニナツテ居リマス、此ノ指示ノ内容ハドンナ場合ニ指示ヲナサル積リデアリマスカ、ソレヲ御詰願ヘレバ結構デアリマス

○新居政府委員 只今ノ町村制改正ノ御質問デアリマスガ、是ハ委員長ニ御願ヒシタイト思ヒマスガ、私内務省ノ政府委員デアリマスガ、其ノ方ノ係ノ方カラ御答ヘシタ方ガ適當カト思ヒマス、別ノ機會ニ御答ヘサシテ戴キタイト思ヒマス

○東郷委員長 山口君ノ御質問ハ、今ノ杉山君ノ質問ニ關聯ノ内務當局ニ對スル御質問ダト思ツテ居リマスガ、只今政府委員カラノ御話ノ通リデスカラ、別ノ機會ニ御願ヒ致シマス、杉山君、大臣ガ見エマシタカラ……

○杉山委員 私ノ質問ハ大體前川委員ノ質問ニ重ナリマスノデ、大體ハ了承致シタノデアリマス、尙ホ残リマシタ點デ一、二ノ點、ソレカラ前川委員ノ所デマダモウ一ツハツキリシナカツタト思ヒマス點、極ク簡単ニ御尋ね致シタイト存ジマス、ドウゾ簡單ニ御答辯戴ケバ結構ト存ジマス

第一ニ御伺ヒシタイ點ハ、國土計畫ノ下ト決マツテ居ルカドウカト云フモノガ、チヤン御尋ネデアリマス、ソレハ閣議決定ノ農業人口四割保有ト云フコトが決マリマシテ

モ、又曩ニ大臣ノ御答辯ノヤウニ耕地ノ豊富ナ農村ニ對シテヘ一町七、八反ヲ耕作セシメル、サウシテ人口ヲ保有スルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ御理想デアリマシテモ、御承知ノヤウニ耕地ハ段々潰滅シテ行ク方ガ多イ、戴イタ参考資料デハ潰滅面積ヨリ開田面積ノ方ガ多イヤウニハ見エテ居リマスケレドモ、是ハ但書ガアリマスヤウニ、少シ抜ケテ居ル點ガアリマス、實ハ荒地及ビ地目變換ノ面積ガ抜イテアリマス、ダカラ此ノ表デヘ開田ノ方ガ多イノデゴザイマスケレドモ、農林統計デ拜見致シマスルト、潰廢ノ方ガ事實ハ多クナツテ居リマシテ、十二年カラ十五年マデノ潰廢面積ト開田、開畑面積ト差引キ致シマスルト、寧口潰廢ノ方ガ一万三千四百九町歩增加シテ居ルノデアリマス、斯様ニナツテ居ルヤウニ見受タノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府デヘ一生懸命ニ開墾ナリ或ヘ開畑ナリニ御盡力ニナツテ居リマスケレドモ、一方デ無計畫ニドン／＼ト耕地ヲ潰サレテ參リマスルト、折角ノ案デアリマス所ノ一町七、八反ヲ分擔セシメ、サウシテ人口四割ヲ保有スル、斯ウ云フコトヲ申シマシテモ空念佛ニ終ル處ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデアリマス、國土計畫ト云フモノガ先ヅ先ニ立ツテ行カケレバナラヌ、サウシテ國土計畫ノ下ニ是ダケノ耕地ヲ保有スル、是以上ヘ侵ササナイノダト云フコトニナラナケレバ、折角ノ案モ成就シナイノデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ國土計畫ト云フモノガ出來テ、サウシテ此ノ耕地保有ノ、一定量ダケハ持ツノダト云フ限界點ガ定マツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一つ伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 杉山君ノ御説ノ通り、農モ、又曩ニ大臣ノ御答辯ノヤウニ耕地ノ豊富ナ農村ニ對シテヘ一町七、八反ヲ耕作セシメル、サウシテ人口ヲ保有スルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ御理想デアリマシテモ、御承知ノヤウニ耕地ハ段々潰滅シテ行ク方ガ多イ、戴イタ参考資料デハ潰滅面積ヨリ開田面積ノ方ガ多イヤウニハ見エテ居リマスケレドモ、是ハ但書ガアリマスヤウニ、少シ抜ケテ居ル點ガアリマス、實ハ荒地及ビ地目變換ノ面積ガ抜イテアリマス、ダカラ此ノ表デヘ開田ノ方ガ多イノデゴザイマスケレドモ、農林統計デ拜見致シマスルト、潰廢ノ方ガ事實ハ多クナツテ居リマシテ、十二年カラ十五年マデノ潰廢面積ト開田、開畑面積ト差引キ致シマスルト、寧口潰廢ノ方ガ一万三千四百九町歩增加シテ居ルノデアリマス、斯様ニナツテ居ルヤウニ見受タノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府デヘ一生懸命ニ開墾ナリ或ヘ開畑ナリニ御盡力ニナツテ居リマスケレドモ、一方デ無計畫ニドン／＼ト耕地ヲ潰サレテ參リマスルト、折角ノ案デアリマス所ノ一町七、八反ヲ分擔セシメ、サウシテ人口四割ヲ保有スル、斯ウ云フコトヲ申シマシテモ空念佛ニ終ル處ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデアリマス、國土計畫ト云フモノガ先ヅ先ニ立ツテ行カケレバナラヌ、サウシテ國土計畫ノ下ニ是ダケノ耕地ヲ保有スル、是以上ヘ侵ササナイノダト云フコトニナラナケレバ、折角ノ案モ成就シナイノデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ國土計畫ト云フモノガ出來テ、サウシテ此ノ耕地保有ノ、一定量ダケハ持ツノダト云フ限界點ガ定マツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一つ伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 杉山君ノ御説ノ通り、農モ、又曩ニ大臣ノ御答辯ノヤウニ耕地ノ豊富ナ農村ニ對シテヘ一町七、八反ヲ耕作セシメル、サウシテ人口ヲ保有スルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ御理想デアリマシテモ、御承知ノヤウニ耕地ハ段々潰滅シテ行ク方ガ多イ、戴イタ参考資料デハ潰滅面積ヨリ開田面積ノ方ガ多イヤウニハ見エテ居リマスケレドモ、是ハ但書ガアリマスヤウニ、少シ抜ケテ居ル點ガアリマス、實ハ荒地及ビ地目變換ノ面積ガ抜イテアリマス、ダカラ此ノ表デヘ開田ノ方ガ多イノデゴザイマスケレドモ、農林統計デ拜見致シマスルト、潰廢ノ方ガ事實ハ多クナツテ居リマシテ、十二年カラ十五年マデノ潰廢面積ト開田、開畑面積ト差引キ致シマスルト、寧口潰廢ノ方ガ一万三千四百九町歩增加シテ居ルノデアリマス、斯様ニナツテ居ルヤウニ見受タノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府デヘ一生懸命ニ開墾ナリ或ヘ開畑ナリニ御盡力ニナツテ居リマスケレドモ、一方デ無計畫ニドン／＼ト耕地ヲ潰サレテ參リマスルト、折角ノ案デアリマス所ノ一町七、八反ヲ分擔セシメ、サウシテ人口四割ヲ保有スル、斯ウ云フコトヲ申シマシテモ空念佛ニ終ル處ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデアリマス、國土計畫ト云フモノガ先ヅ先ニ立ツテ行カケレバナラヌ、サウシテ國土計畫ノ下ニ是ダケノ耕地ヲ保有スル、是以上ヘ侵ササナイノダト云フコトニナラナケレバ、折角ノ案モ成就シナイノデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ國土計畫ト云フモノガ出來テ、サウシテ此ノ耕地保有ノ、一定量ダケハ持ツノダト云フ限界點ガ定マツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一つ伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 杉山君ノ御説ノ通り、農モ、又曩ニ大臣ノ御答辯ノヤウニ耕地ノ豊富ナ農村ニ對シテヘ一町七、八反ヲ耕作セシメル、サウシテ人口ヲ保有スルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ御理想デアリマシテモ、御承知ノヤウニ耕地ハ段々潰滅シテ行ク方ガ多イ、戴イタ参考資料デハ潰滅面積ヨリ開田面積ノ方ガ多イヤウニハ見エテ居リマスケレドモ、是ハ但書ガアリマスヤウニ、少シ抜ケテ居ル點ガアリマス、實ハ荒地及ビ地目變換ノ面積ガ抜イテアリマス、ダカラ此ノ表デヘ開田ノ方ガ多イノデゴザイマスケレドモ、農林統計デ拜見致シマスルト、潰廢ノ方ガ事實ハ多クナツテ居リマシテ、十二年カラ十五年マデノ潰廢面積ト開田、開畑面積ト差引キ致シマスルト、寧口潰廢ノ方ガ一万三千四百九町歩增加シテ居ルノデアリマス、斯様ニナツテ居ルヤウニ見受タノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府デヘ一生懸命ニ開墾ナリ或ヘ開畑ナリニ御盡力ニナツテ居リマスケレドモ、一方デ無計畫ニドン／＼ト耕地ヲ潰サレテ參リマスルト、折角ノ案デアリマス所ノ一町七、八反ヲ分擔セシメ、サウシテ人口四割ヲ保有スル、斯ウ云フコトヲ申シマシテモ空念佛ニ終ル處ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデアリマス、國土計畫ト云フモノガ先ヅ先ニ立ツテ行カケレバナラヌ、サウシテ國土計畫ノ下ニ是ダケノ耕地ヲ保有スル、是以上ヘ侵ササナイノダト云フコトニナラナケレバ、折角ノ案モ成就シナイノデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ國土計畫ト云フモノガ出來テ、サウシテ此ノ耕地保有ノ、一定量ダケハ持ツノダト云フ限界點ガ定マツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一つ伺ヒシタイト思ヒマス

○井野國務大臣 杉山君ノ御説ノ通り、農モ、又曩ニ大臣ノ御答辯ノヤウニ耕地ノ豊富ナ農村ニ對シテヘ一町七、八反ヲ耕作セシメル、サウシテ人口ヲ保有スルヤウニナツテ居ル、斯ウ云フ御理想デアリマシテモ、御承知ノヤウニ耕地ハ段々潰滅シテ行ク方ガ多イ、戴イタ参考資料デハ潰滅面積ヨリ開田面積ノ方ガ多イヤウニハ見エテ居リマスケレドモ、是ハ但書ガアリマスヤウニ、少シ抜ケテ居ル點ガアリマス、實ハ荒地及ビ地目變換ノ面積ガ抜イテアリマス、ダカラ此ノ表デヘ開田ノ方ガ多イノデゴザイマスケレドモ、農林統計デ拜見致シマスルト、潰廢ノ方ガ事實ハ多クナツテ居リマシテ、十二年カラ十五年マデノ潰廢面積ト開田、開畑面積ト差引キ致シマスルト、寧口潰廢ノ方ガ一万三千四百九町歩增加シテ居ルノデアリマス、斯様ニナツテ居ルヤウニ見受タノデアリマス、斯ウ云フヤウニ政府デヘ一生懸命ニ開墾ナリ或ヘ開畑ナリニ御盡力ニナツテ居リマスケレドモ、一方デ無計畫ニドン／＼ト耕地ヲ潰サレテ參リマスルト、折角ノ案デアリマス所ノ一町七、八反ヲ分擔セシメ、サウシテ人口四割ヲ保有スル、斯ウ云フコトヲ申シマシテモ空念佛ニ終ル處ガアルヤウナ氣ガ致シマスノデアリマス、國土計畫ト云フモノガ先ヅ先ニ立ツテ行カケレバナラヌ、サウシテ國土計畫ノ下ニ是ダケノ耕地ヲ保有スル、是以上ヘ侵ササナイノダト云フコトニナラナケレバ、折角ノ案モ成就シナイノデハナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致シテ居ルノデアリマス、ソコデ國土計畫ト云フモノガ出來テ、サウシテ此ノ耕地保有ノ、一定量ダケハ持ツノダト云フ限界點ガ定マツテ居ルカドウカ、此ノ點ヲ一つ伺ヒシタイト思ヒマス

イマセウカ

○井野國務大臣 現在ニ於テハ私ハナイト

思ツテ居リマスガ、斯ウ云フ事例ハアツタ
ヤウニ思ヒマス、初メハ無論其處ヲ耕地整
理ヲスル積リデ組合モ作ツテヤツテ居ツタ、
所ガ其處ガ或ハ新シ市ニナツタリ、市街
地ガ延長シテ來タリシタ爲ニ、整理分合ヲ
シタ後ガ今度ハ宅地ニナツタ、ト云フ例ハ

聞イテ居リマス、是ハ非常ニ面白クナイコ
トト思ツテ、サウ云フ場合ニ助成金トカ、
サウ云フ方法ニ付テノ色々々變更モ命ジタ
リ、色々ナコトヲシテ居リマス、併シサウ
云フノハ事態ノ變遷デアリマシテ、當初カ
ラソレヲ目的トシテ居ルコトデハナイノデ、
今ノ御質問ノ點トハ違フト思ヒマスガ、御
質問ノヤウニ、初メカラモウ區劃整理ヲス
ル爲ニ耕地整理組合法ヲ適用シテヤツテ居
ルモノハナイト思ヒマス

○杉山委員 資材ノ點ニ付テモ色々御尋ネ
シタイ點ガアツタノデアリマスガ、是ハ重
複ヲ避ケル爲ニ省略致シマス、價格ノ問題
デモ既ニ多數ノ委員諸君ノ御話ガゴザイマ
シテ、大臣トシテハ今直グニ價格ヲ引上げ
ルト云フヤウナコトニ付テハ言明シニクリ
ト云フ御話モゴザイマシタ、ソコデセヌテ
ハ價格ヲ引上げルノデハナクテモ、生産者
ノ手取りヲ多クスルト云フコトノ爲ニ斯様
ナコトガ出來ナイグラウカ、ソレハドウ云
フコトカト申シマスト、先づ米ノ例ヲ取リ
マスト、食糧營團ガ農民カラ買取リマス時
ニ、一石デ十「キロ」モ達フ、例ヘ百五十「キ
ロ」デ買ツテ、賣渡ス時ニハ百四十「キロ」デ
渡ス、ソコニ十「キロ」ノ差ガ出テ來ル、運
輸ノ場合等ニ於キマシテ多少ノ零レトカ、運
賈渡シテ居リマスノガ、現在ノ價格デアリ
サウ云フコトガアルカラ、多少餘計入レル

ト云フコトモ適當カト思フノデアリマスガ、

一石デ十「キロ」モ達フト云フコトヘ、相當
ナ違ヒニナツテ來ルト思フノデアリマシテ、
而モ今日玄米デ買ツテ玄米デ賣ルト云フコ
トニナリマスト、少シ儲ケ過ギルノデハナ
イカ、セメテ其ノ達ヒヲ半分ニスルトカ、何
カサウ云フコトノ考慮ガ出來ナイモノデア
リマセウカ

ソレトモウ一ツ一等、二等、三等ト云フ
ヤウニ、検査ヲ受ケテ等級デ買取ルガ、賣
渡ス時ニハ殆ンド一等デ賣ル、今日此ノ等
級ヲ撤廃スルト云フコトハ困難ナコトデア
リマセウガ、ソレヲ縮少シテ行クコトニス
ルト、生産者ニ多少ノ利益ヲ與ヘルコトガ
出來ルト思フノデアリマス、セメテ價格ヲ
引上げルコトガ出來ナケレバ、ソレ位ナコ
トハ出來ナイモノカドウカ、若シ之ヲ農民
自體ガ知ツテ來ルト、先程カラ色々御話ガ
アツタヤウニ、國策會社ガボロ儲ケラシ過
ギルト云フ不平ノ問題モ起ツテ、是ハ生產
上ニモ悪影響ヲ及ボシテ來ルト存ジマス、
是等ニ對シテ何カ適當ナ處置ガ執ラレナイ
グラウカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ居リマス、
此ノ點ニ付テノ御考ヘヲ承リタイト思ヒマ
ス

マス、其ノ渡シ方ニ付テハ、或ハ玄米ヲ精
白致シマスカラ百四十「キロ」トシテ渡ス場
合モアリマスシ、又違ツタ渡シ方モ致シテ
居リマスガ、ソレハ別段百五十「キロ」デ買ツ
トニナリマスト、食糧營團ハ決シテ其ノ爲ニ儲ケテ居
ルノデハナインデアリマス

次ニ二等米、一等ノ區別ガ消費者ニハ
ナイノニナゼ設ケテ置クカト申シマスト、
ヤハリ是ハ生産者ノ立場ヲ考ヘテ行カナケ
レバナラヌ、生産者トシテ良イ物ヲ作ツテ
モ、惡イ物ヲ作ツテモ、同ジ値段デ買ハレ
ルト云フノハ氣ノ毒デアリマスカラ、自ラ
ソコニ政府ガ買入レマス場合ニ一等、二等、
三等ノ區別ヲ付ケテ居リマスケレドモ、買
ヒマシタモノハ政府ガ一切ノ綜合計算ニ依
リマシテ、食糧營團ニ混合シテ配給シテ居
リマスカラ、今日デハ殆ドサウ云フ點ユ節
約ノ餘地ガ少ニヤウニナツテ居リマス、尙
ホ先般五十圓ト云フニ重價格ヲ執リマシタ
リマスカラ、利潤ノ節約ト云フ點ハ隨分切詰メ
テ致シマシタカラ、モウソコニハ殆ド引上
ゲル餘地ハナイト御考ヘヲ願ヒタイノ
デアリマス

○杉山委員 今大臣ノ御話ノヤウニ精白ヲ
スルト、色々胡麻化スト云フト語弊ガアリ
マスガ、其ノ間ノ操作ガ能ク分ラナカツタ
ノデアリマス、ケレドモ先程申シマスヤウ
ニ、玄米ヲ渡シテ玄米デ賣ツテ居ルト云フ
コトニナリマスト、政府ハソコデ儲ケテ居
ルト云フコトデナケレバ結構デアリマスガ、
モ防防止シテ行クノニハ、小作料ノ適正ヲ圖
ラナケレバナラヌ、斯ウ云フコトニ當然ナ
シテ來ルト思フノデアリマス、又今日マデ
モ防止シテ行クノニハ、小作料ノ確立シタ地方ニ
於キマシテモ、耕作權ノ確立シタ地方ニ
シテ居ルコトハ既ニ御承知ノ通リデアリマ
ス、ソコデ私ハ此ノ際ニ農地調整法ナリ、
或ハ農地委員會ト云フモノヲモウ少シ強化
改善シテ、モット積極的ニ適正小作料ト云
フモノヲ進メテ行クトコトニ付テノ御意見

ハドウカト云フコトガ一ツデアリマス
ト云フコトハ當然必要ナコトデアリマスガ、
如何ナル手段ヲ以テスルカト云フコトニ色
色ノ問題ガアル譯デス、是ガ又行キ過ギマス

ト、却ツテ小作争議ヲ誘發スル虞モアリマ
ス、地主トノ間ニ能ク話合ヒヨ付ケテ、サ
ウシテ適正ナル小作料ニ直シテ行クト云フ
コトハ、至極農林省トシテモ望ンデ居ルコ
トデアリマス、隨テ今日ハ農地委員會等ノ
議ヲ纏メテ、其ノ適正化ヲ圖ツテ居リマス
ガ、之ヲ強化スルトカ、又強力ヲ用ヒテ、
餘り欲セザルモノヲ無理ニソコヘ導イテ行
クト云フヤウナ行キ方ヲシマスト、折角平
和ナル狀態ニ波瀾ヲ起スコトニナルノデア
リマスカラ、其ノ行キ方ニ付テハ餘程農林
省トシテモ、今日戰爭中デアリマスカラ考
慮ヲ加ヘテ居ル譯デアリマス、御氣持ノ點ニ
付テハチツトモ私共異議ハゴザイマセヌ
○杉山委員 今日ノ農地委員會ニ任セテ置
イテハ一寸適正小作料ハ難カシイ、私モ農
地委員ノ一人デアリマスガ、行ツテ見マス
ト九分九厘ハ地主諸君デアリマシテ、中ニ
ハ目覺メタ地主諸君モアリマスケレドモ、
ドツチカト云フト利害關係ガ深イノデアリ
マシテ、小作料ノ引下ゲト云フコトハ難カ
シイ、斯ウ云フ現象ガアリマスノデ、ヤハ
リ紛議ヲ起スト云フコトデナシニ、適正小
作料ヲ進メルニ付テモ、モウ少シヤヘリ農
地調整法ナリ、或ハ農地委員會ノ内容ヲ改
善シテ行カナケレバ、是ハ到底難カシイト
思ヒマス、サウ云フ意味ニ於テ、土地放棄
ノ現象ヲ防止スル爲ノ適正小作料が必要タ
ト云フコトニ御同意ニナリマスラバ、是非
此ノ點ヲモウ少シ強化シテ戴キタイ、斯
ウ云フヤウニ考ヘルノデアリマス
第二ニ御伺ヒシタ伊點ハ、自作農ノ創設
ノ問題デ、既ニ明カニナツテ居リマスカラ
私ハ多クヲ言ヘナイノデアリマスガ、自作
農創設ノ困難ナツハ、先般前川君ノ話モ

アリマシタヤウニ、土地價格ノ問題デアリマス、今ノ農地價格統制令ニ依ツテ定メラレタ價格デハ、地主諸君へ到底賣ラナイ、アノ價格デアリマスナラバ、恐ラク今日ノ小作人へ、之ヲ買ツテ自作農ニナツテモ間ニ合フト存ズルノデアリマス、所ガ一方へ賣ラナイ、ソコデ此ノ間前川君ノ質問ニ對シテ大臣ハ、土地價格ノ引上ゲラ考慮シテ居ル、斯ウ云フ御話デアツタノデス、帝國農會アタリノ決議ニ依ツテモ、地主諸君ガ土地價格ニ引上ゲタ價格デ自作農ヲ創定スルト云フコトニナリマスト、自作農ニナリマス者ハ、從來成績ガ旨ク行カナカツタトヤヘ居ルノデスガ、其ノ土地價格ヲ引上ゲル場合ニ其ノ引上ゲタ價格デ自作農ヲ創定スルスノデアリマス、若シ土地價格ヲ引上ゲルトヨリ同様ナ轍ヲ履マナイカ、斯ウ云フ心配ヲ致統制令ノ價格以上ノ部分ヲ、ヤハリ政府ガ何カ特別ナ援助ナリ補償ヲスルカ、乃至ハ前川君モ一寸觸レタノデアリマスガ、其ノ引上ゲタ價格デ自作農ヲ創設スルト云フナラバ、償還年限ヲ延長シテ支拂ノ率ヲ少クシテヤル、斯ウ云フ二ツノ方法デナカツタナラバ、自作農ノ成功ハ覺束ナイノデハナイカ、斯ウ云フ觀點ヲ私ハ持ツテ居リマスノデ、土地價格ヲ引上ゲルナラバ、ソレニ對シテ農民自身ニ負ハスノデナクシテ、政府ガ補償スルコトガ出來ルカ、或ハ出來ナイトスルナラバ、償還年限ヲ三十年トカ、三十五年トカ、或ル年限延長シテ、樂ニ返還シ得ルヤウナ方法ヲ執ルヤウニ政府ノ方ニ御考へハナイカト云フ點デアリマス

云フコトハ申サナイノデアリマス、新聞ニ唯サウ云フ風ニ出マシタカラ私モ非常ニ迷惑ニ存ジテ居ルノデアリマスガ、アノ時ニテ書カレタノデ、是ハ非常ニ私迷惑シテ居リマス、併シ標準價格ニ付キマシテハ今申シタ通り、今日ノ自作農規則ヲ作りマシタ時ハ自由經濟時代デアリマシテ、今日ハ殆ド米價モ動カズ、又其ノ他ノ點モ違ヒマスカラ、サウ云フ點ニ考慮ヲ加ヘタイト云フコトヲ申シタノデアリマスカラ、此ノ際誤解ノナイヤウニ願ヒマス

○杉山委員 ソレデ標準價格ニシマシテモ、引上ガルトスレバ、今言フヤウナ結果ニナルノデハナイデセウウカ、現在ノヤウナ價格ナラバ、小作農ノ方モ考ヘテ見テ何ト力旨ク行クノデハナイカト考ヘテ居ル譯デスガ、若シ是レ以上ニ高クナレバ、從來旨ク行カナカツタ轍ヲ履ムノデハナイカ、斯ウ云フ考ヘテ持ツテ居リマス、今ノ價格ヨリ高クナレバ、何カ政府ノ方デソレニ對スル處置ガアルカ、或ヘ年限ニ付テ何カ御考ヘガアルカ、之ヲ御伺ヒシタノデアリマス

○井野國務大臣 現在ノ農地價格ハ、大體標準價格ヨリハ相當高クナツテ居リマス、隨テ其ノ標準價格が今ノヤウニ低イト、自作農創設資金ノ融通額ガ少イ、結局現在ノ公定價格ダケ一杯ニ農地資金ヲ貸スト云フ譯ニイカナイ、ソニ自作農創設ノ上ニ於テ非常ニ支障ガアルカラ、サウ云フ點ヲ直シテ行カウト云フコトヲ申シタノデアリマス、然ラバ今日ノ農地價格自體デ自作農創設ガ困難ナリヤ否ヤト云フ問題ハ、別ニ又

老處致シマス、此ノ點ニ付テハ先般モ御答
ヘ申上ゲマシタ通り、或ハ農地ニ改良ヲ加
ヘ、其ノ他色々ノ事情ガ加ハリマスト、地
方長官ノ許可デ以テ現在ノ公定價格ヲ動カ
ヤウナ運用デ或ル程度直セマス、又地方的
ニ現在ノ農地價格が不適當デアルト云フ場
合ニハ、是ハ又主務大臣ノ許可ヲ得マスレ
バ、直セルヤウニナツテ居リマス、其ノ直
シタ例モ三、四件ゴザイマス、サウ云ツタ
ヤウナ譯デ、今日ノ農地價格統制令ノ運用
デ進ミ得ルト私共ハ大體考ヘテ居リマスノ
デ、餘リニ農地ヲ高クスルコトニ依ツテ、
自作農ヲ創設致シマシテモ、創設者ガ今度
ハ自作農ガ維持出來ナイ、斯ウ云フコトニ
ナリマスカラ、其ノ邊ハ政府トシテモ十分
考ヘテ進ンデ行カナイト過チヲ生ズル、斯
ウ思ツテ居リマス

バナラヌノデアリマスカラ、成ベク重複シ
ナイヤウニ、簡明率直ニ御質疑ヲ進メラレ
ンコトヲ希望致シマス——北勝太郎君
○北(勝)委員 政府ハ新農業團體ニ對シテ
原始生產方面ダケヲ受持タセラレテ、將來依
然トシテ其ノ範圍ヲ出デナイ所ノ指導方針
デ行カレルノデハナカラウカ、是ハ一ツ率
直ニ政府ノ御方針ヲ承ツテ置キタイノデア
リマス、今日マデ農業者ノ團體、特ニ產業
組合ガ既ニヤツテ居リマス事業デ、誰ガ見
テモ其ノ儘立派ニ統制ガヤツテ行ケル、統
制ノ目的ガ達セラレルト云フニモ拘ラズ、
從來ハ業者ニ對スル政治的顧慮カラ、加工
其ノ他ニ利益面ノ事業ヲ特ニ切離シテ、各
種ノ會社ヲ作ラシテ、其ノ方ニ事業ヲ移行
サセテ來タ傾向ガアル、其ノ結果是等ノ會
社ハ、生産者トハ直接ノ繫リヲ失ツテシマ
ツタノデアリマシテ、ソレガ生産ノ増強ニ
非常ナ障礙ニナツテ居ルコトヲ私共ハ認メ
サルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ農產物ハ國
民生活ニ重大ナ影響ヲ持ツ食糧トカ、原
料トカ云フヤウナモノデアル關係上、吾々
カラ言フト、相當ニ無理ノ掛ツタ思ハレ
ル價格ニ据置カレテ居ルノデアリマス、サ
ウ云フ關係ニ於テ、從來生産者ニ還元サレ
テ居タ色々ノ特典ヲ失ツタノデ、農家ハ價
格ガ生産費ヲ償ハナイト、忽チ生産ヲ止メ
停止スルモノガ停止セズニ濟ム、原始生產
ガ減リマスト、丁度電動機ガ止ツタヤウナ
モノデ、折角ノ立派ナ機構ガ出來テ居ツテ
モ役ニ立タナイ、斯ウシタ羽目ニナラナイ
ヤウニ、新團體ガ出來マシタナラバ、原始

生産ダケニ其ノ事業ヲ止メルト云フヤウナ
コトデナクテ、加工其ノ他ノ利益面、及ビ
手數料等ノ經費以外ノ過剩分ヲ生産者ニ還
元スルト云フヤウニ出來マスト云フト、是
ハ生産增强上大變都合好イコトニナルノデ
ゴザイマス、ソコデ新團體ニ是等ノモノヲ
讓ラセル、會社其ノ他ノモノヲ整理シテ是
等ノモノニ讓ラセル、ソレト同時ニ關係シ
テ居ツタ業者ヲ新團體ニ吸收シテ一體化ス
ル、斯ウ云フヤウニシマスト、生産者ノ方
デ言ヒマスト、一體化ニ依ル所ノ生産ノ責
任ト云フモノガ生ジテ來ルノデアリマス、
此ノ繫ガリガ出來ルコトニ依ツテコソ、
精神的ニモ經濟的ニモ、眞ニ增産ガシ易ク
ナルノダト思フノデアリマス、斯ウシマス
コトハ、現在生産增强ノ重大課題デアルト思
フノデアリマス、單ニ新團體ニ原始生產ノ
ミヲ受持タスト云フヤウナ傾向ヲ一擲シテ、
各種ノ會社ヲ整理シテ此ノ新團體ニ移讓サ
ルヲ得ナイノデアリマス、殊ニ農產物ハ國
民生活ニ重大ナ影響ヲ持ツ食糧トカ、原
料トカ云フヤウナモノデアル關係上、吾々
カラ言フト、相當ニ無理ノ掛ツタ思ハレ
ル價格ニ据置カレテ居ルノデアリマス、サ
ウ云フ關係ニ於テ、從來生産者ニ還元サレ
テ居タ色々ノ特典ヲ失ツタノデ、農家ハ價
格ガ生産費ヲ償ハナイト、忽チ生産ヲ止メ
停止スルモノガ停止セズニ濟ム、原始生產
ガ減リマスト、丁度電動機ガ止ツタヤウナ
モノデ、折角ノ立派ナ機構ガ出來テ居ツテ
モ役ニ立タナイ、斯ウシタ羽目ニナラナイ
ヤウニ、新團體ガ出來マシタナラバ、原始

出来タラ、ソレ等ノ國策會社ナリ、或ハ配
給統制機關ヲ新農業團體ニ直チニ吸收スル
ノガ適當デアルカドウカト云フコトハ、是
ハ唯人的構成ヲ吸收スルト云フコトガ片付
クダケテヘ片付カナイ、資本關係ヲ一體ド
ウスルカ、資本ノ吸收ト云フコトハ一體出
來ルカドウカ、ト云フコトモ十分研究シテ
見ナケレバナリマセヌ、勿論ソレ等ノ點ニ
付キマシテハ、新團體ニ出來ルダケ私モ機
能ノ統一化ヲ圖ツテ參リタイト思ツテ居リ
マス、折角一ツ研究シテ見タイト思ヒマス
○北(勝)委員 サウ云フ場合ニ一番障碍ニナ
ルノハ、業者側ノ古イ對立觀念ダト思フノ
デアリマス、是ハドウシテモ拭ヒ去ツテシ
マフ必要ガアル、サウスレバ簡單ニ出來ル
ノデ、資本問題モサウ難シイコトハナイト
私共ハ考ヘルノデアリマス、ドウカ一ツサ
ウ云フ方面ヲ特ニ御研究願ヒタイト思ヒマ
ス

其ノ次ニ米價問題ニ付キマシテハ、過日
來ノ質疑應答ニ依ツテ大體大臣ノ意ノアル所
ヲ承ツタノデアリマスカラ、重ネテ御尋ねスル
コトハ差控ヘタイト思ヒマスガ、此ノ際特ニ
附加ヘテ御伺ヒシタイコトハ、低位生產地帶
ニ對シテ如何ナル方策ヲ以テ進ンデ行カレ
ルカト云フコトデアリマス、今低位生產地帶ト
シテノ北海道ノ實例ヲ申シマスト、事變以來
ト北海道デハ既ニ約十万町歩ノ水田ガ荒レテ
居ル、其ノ内水田ノ荒レテ居ルノハ一万二千
町歩、是ハ總反別ガ非常ニ少イカラデアリマ
ス、唯從來ハ商業者方面トノ摩擦相剋、
所謂反產運動ト云フコトトノ調和ヲ考ヘツ
ツ、其ノ事業ニモ自ラ限度ヲ決メテ參ツタ
ノデアリマスガ、今日ハソレ等ガ或ヘ國策
ノデアリマスガ、我慢シ切レヌト云フ所マデ來テシマ
チレル程度ノモノデハナイノデアリマス、
從來ノ農業ヲソレガ爲ニ繼續スルコトガ出
來ズ、我慢シ切レヌト云フ所マデ來テシマ
チレルノデアリマス、ソコデ先日來承ツ
タ自作農創設、或ハ皇國農村確立等ノ農林
省ノ根本方針ノコトハ、大體分ツテ居ルノ
デアリマスガ、先ニ申上げマシタヤウナ低
位ナ農家カラ段々離農シテシマツタノ
デアリマス、最近農會ナドニ離農ヲ申出デ、
或ハ經濟上ノ相談ヲ持掛ケテ來ル者ナドニ

位生産農家ニ對シテ、特ニ如何ナル手ヲ差
伸ベテ之ニ農業經營ヲ繼續サセヨウトセラ
レルノデアルカ、是等ノ方策ヲ一つ承ツテ
見タイト思フノデアリマス

○井野國務大臣 今日ノ米ノ生產費、是ハ
大體中庸生產費ヲ執ツテ居リマスカラ、低
價デ以テ償ヘヌト云フ所ハアラウカト思ヒ
位農家カラ見レバ、其ノ生產費ガ今日ノ米
價デ以テ償ヘヌト云フ所ハアラウカト思ヒ
マス、然ラバ此ノ低位農家ニ對シテドウ云
フ施策ヲ講ズルカト云フコトニナリマスルト、
是ハ價格政策デハ中々解決付カナイ、結局
其ノ低位農家ノ農業經營ヲシテ合理化セシ
メ、サウシテ生產費ノ低下ヲ圖ツテ行クコ
トニ努力ヲ致サナケレバナラヌト思ツテ居
リマス、隨テ例ヘバ水田ノ如キモノモ、其
處デ無理ニ水田ヲサセルコトガドウシテモ
農業經營ノ上カラ無理ダト云フ場合ニ於キ
マシテハ、今マデハ相當水稻中心デアリマ
シタカラ、經濟的ニ他ニ轉作スルコトモ禁
ジテ居リマシタケレドモ、ヤハリ農業經營
ト云フ見地カラ、サウ云フ點ハ十分考ヘ
肥料モ要ラズ、相當有利ナモノガアルト云
フコトデアリマスレバ、サウ云フ、點モ考ヘ、
是等ノ施策ト相俟ツテ、低位收穫農家ノ向
上ヲ、北海道等ニ於テハ考ヘテ行カナケ
レバナラヌノデハナイカト思ツテ居リマス
○北(勝)委員 其ノ場合一ツ癌ニナリマスノ
ハ、北海道デハ例ノ土功組合、内地ノ丁度
耕地整理組合ニ當ルモノデス、是ガ非常ニ
癌ニナルノデアリマシテ、一反歩ニ五圓六
圓ト云フヤウナ、サウシタ費用ガ餘分ニ掛
ケ居ル、ソコデ困ツタ農家ヲヨリ以上ニ
困ラスコトニナルノデアリマシテ、ヤハリ

成ベクハ現在ノ米作狀況カラ見テ、其ノ地
デ仕事ヲ繼續サセテ行クコトガ必要ダト思
ハレルノデアリマス、斯ウシタ低位生產農
家ニ對シマシテ、其ノ窮状ヲ打開スル一ツ
ノ方法トシテ、土地改良ヲモット積極的ニ
ヤラセナクテハナラナイト思フノデアリマ
ス、即チ自分ノ耕作地ヲ改良シナガラ、其
ノ事業ニ依ツテ勞銀收入ガ得ラレルト云フ
ヤウナ途ヲ開カナクチヤイケナイト思ヒマ
ス、サウシテ其ノ土地ノ生產ヲ高メテ行
ク、是ガ一番手ツ取り早ク役ニ立ツ方法
ダト思フノデアリマス、御承知ノ通り土
地改良ハ暗溝排水、其ノ他實ニ大キナ費
用ガ掛リ、是等ノ弱イ農家ガ土地改良ヲ
シテ、徐々ニ生產ノ高マツテ來ルノヲ待ツ
テ、サウシテ自分ノ經濟ヲ好クシテ、農業
ヲ繼續シテ行カウト云フコトハ殆ド難シイ
コトナノデアリマス、勿論其ノ效果ハ永年
的ニ見レバ、隨分大キイモノデアリマス、
併シ差當リドウカト云フト、ソレハ澤山ノ費
用ヲ掛ケタモノヲ直グ取リ戻スト云フコト
ハ出來ナインデアリマス、是等ノ低位生產
農家、或ハ低位生產地帶、サウ云フ方面ニ對
シテノ土地改良ニ對シテハ、特別ニ政府ノ補助
率ヲ高メナケレバナラナイ、現在四割程度
ヤラレテ居ルガ、四割程度デハ出來ナイ、
少クトモ六割、七割、此ノ前ノ凶作ノ時ニ
ハ七割ニヤツタコトガアルノデアリマスガ、
隨分澤山農家ガヤツタ實例ガアリマス、斯
ウ云フ方法ヲ是非採ツテ戴キタイモノダ
思フノデアリマス、之ニ付テドウ云フ御
用意ガアリマスカ、依然トシテ四割ノ範圍
ヲ出デナイモノデアルカ、何トカ伸縮性ノ
アル方法ガアルノデアリマスカ、ソレヲ一
タ所ノ等級ノ付ケ方、或ハ格差ノ設ケ方
ハ、ドウ考ヘテモ時代ニ合ハナイモノデア
ルト思ハレルノデアリマス、ソコデ重量ガ
同ジ量デアルナラバ、「カロリー」ニハ變リ

○井野國務大臣 北海道ノ農業經營合理化、
竝ニ其ノ生產費低下ニ付キマシテ、土功組
合ノ組合費ガ非常ナ禍ヒヲ成シテ居ルコト
モ能ク承知シテ居リマス、隨テ今御話ノヤ
ウニ、耕地改良ノ問題ニ相當ノ重點ヲ置イテ、
ヤラセナクテハナラナイト思フノデアリマ
ス、即チ自分ノ耕作地ヲ改良シナガラ、其
ノ事業ニ依ツテ勞銀收入ガ得ラレルト云フ
テハ、今マデノ沿革モアリ、各府縣トノ色
合成ラント思ヒマス、是等ハ事
情ヲ能ク考ヘマシテ、直セルモノガアレバ
直シテ行キタイト思ヒマス、今ハ何モ其ノ
手ヲ持ツテ居リマス

○北(勝)委員 其ノ次ニ私ガ伺ヒタイノヘ、
小サイ問題ノヤウデアリマスガ、米ノ検査、
等級竝ニ格差ノ問題デアリマス、先程申シ
マシタヤウニ低位生產農家ハ、實ヘ其ノ收
穫スル米ハドウシテモ等級ガ惡イ、又格差
ガ付キ過ギルト云フコトニナリ勝チデアリマ
ス、收入ガ少イ上ニ値段ガ安いノデ、二重
ノ苦シミヲシテ居ルノデアリマス、格差ハ
曩ニ一圓方縮少サレタノデハアリマスガ、
今日ハ既ニ時代ガ飛躍的ニ變ツテ來テ居ル
ノデアリマシテ、現地デ生產シタモノハ現
地デ成ルベク消費サセルト云フヤウナ方
法、ソレカラモウツハ格差ノ一ツノ要素
ニナツテ居リマスル米ノ質、所謂味覺、斯
ウ云フ贊澤ヲ云フ時代デハナクナツタノデ
アリマス、申スマデモナク戰時下ニ於テ
付キマシテ、自由經濟時代ニ東京市場ニ
北海道米ガ參リマシテ、他縣ノ銘柄ノ米ト
ウ云フ贊澤ヲ云フ時代デハナクナツタノデ
アリマス、申スマデモナク戰時下ニ於テ
ノ運賃ハ北海道デハ要リマセヌカラ、其ノ
色々比ベテ見マスト、品質ガ落チ、味ガ落
チルト云フコトカラ、自ラ自然ノ價格ガ落
程低位ニ決マツテ居ツタノデアリマス、消費
者ノ手ニ渡ル時ニ、其ノ價格ガ、東京マデ
ノ運賃ハ北海道デハ要リマセヌカラ、其ノ
影響ガ北海道自體ニ於キマシテモ、消費

ナイ筈デアリマス、ソコデ質本位デ少數ノ
味覺ノ良イモノノ品種ニ向ハセルト云フヨ
リハ、寧ロ量本位デ生產ノ多イモノヲ、耕作
家ニ對シマシテ、其ノ窮状ヲ打開スル一ツ
ノ方法トシテ、土地改良ヲモット積極的ニ
ヤラセナクテハナラナイト思フノデアリマ
ス、即チ自分ノ耕作地ヲ改良シナガラ、其
ノ事業ニ依ツテ勞銀收入ガ得ラレルト云フ
テハ、今マデノ沿革モアリ、各府縣トノ色
合成ラント思ヒマス、是等ハ事
情ヲ能ク考ヘマシテ、直セルモノガアレバ
直シテ行キタイト思ヒマス、今ハ何モ其ノ
手ヲ持ツテ居リマス
○北(勝)委員 其ノ次ニ私ガ伺ヒタイノヘ、
小サイ問題ノヤウデアリマスガ、米ノ検査、
等級竝ニ格差ノ問題デアリマス、先程申シ
マシタヤウニ低位生產農家ハ、實ヘ其ノ收
穫スル米ハドウシテモ等級ガ惡イ、又格差
ガ付キ過ギルト云フコトニナリ勝チデアリマ
ス、收入ガ少イ上ニ値段ガ安いノデ、二重
ノ苦シミヲシテ居ルノデアリマス、格差ハ
曩ニ一圓方縮少サレタノデハアリマスガ、
今日ハ既ニ時代ガ飛躍的ニ變ツテ來テ居ル
ノデアリマシテ、現地デ生產シタモノハ現
地デ成ルベク消費サセルト云フヤウナ方
法、ソレカラモウツハ格差ノ一ツノ要素
ニナツテ居リマスル米ノ質、所謂味覺、斯
ウ云フ贊澤ヲ云フ時代デハナクナツタノデ
アリマス、申スマデモナク戰時下ニ於テ
付キマシテ、自由經濟時代ニ東京市場ニ
北海道米ガ參リマシテ、他縣ノ銘柄ノ米ト
ウ云フ贊澤ヲ云フ時代デハナクナツタノデ
アリマス、申スマデモナク戰時下ニ於テ
ノ運賃ハ北海道デハ要リマセヌカラ、其ノ
色々比ベテ見マスト、品質ガ落チ、味ガ落
チルト云フコトカラ、自ラ自然ノ價格ガ落
程低位ニ決マツテ居ツタノデアリマス、消費
者ノ手ニ渡ル時ニ、其ノ價格ガ、東京マデ
ノ運賃ハ北海道デハ要リマセヌカラ、其ノ
影響ガ北海道自體ニ於キマシテモ、消費

層安イ價格デ拂下ダレテ居ツタノデアリマス、サウ云フ關係デ、今日ハ所謂國家管理ニナリマシテ、米ノ品質モ餘り問題ニセズ、又銘柄等モサウ重キヲ置カナクナリマシタノデ、先般第一段ノ改正ハ致シタノデアリマス、丁度二重價格制度ヲ作リマシタ際ニ、北海道ダケハ他府縣ト比べテ非常ニ上ゲタノデアリマス、銘柄ノ差モ縮メ、又格差モ今御話ノヤウニ一圓方縮メマシタ、サウシテ北海道ノ生産者ニ有利ナル解決ヲ一應シタノデスガ、其ノ爲ニ北海道ノ消費者ニハ、米ノ價格ガソレダケ上ルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、一時ニ直スコトハ是モ低物價政策ノ上カラ申シマスト色々支障アリマスノデ、アノ程度ノ改正ヲ以テ進シダノデアリマスガ、今後斯ウ言ツタ方面ニ付テハ、今言ハレタヤウナ氣持デ銘柄、格差ニ付テハ考慮ヲ加ヘテ行キタイト思ツテ居リマス。

○北(勝)委員 其ノ次ニハ事務的ノコトニ付テ重政政府委員ニ伺ヒマス、町村農業會ノ經費ノ決算ノ形式ヘドウ云フ風ニナルクト云フコトデアリマス、例ヘバ出資部門等ハ是ヘ特別會計デ扱ツテ行ク、斯ウ云フ工合ニサレルノデアリマセウカ、果シテサウダトシマスト、出資部門ト經費部門トノ間ニ、色々錯雜シタ分ラナイモノガ出テ來ル、イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ例ヘバ人件費デ申シマシテモ兩方ノ支出ヲシテ居ル、ドチラノ經費ヘ持ツテ行ツテ宜イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ云フコトガアラウト思ヒマス、今日殊ニ吾吾ガ心配シテ居リマスコトハ、增産ノ爲ニハ出資部門ト雖モ算盤ヲ外シテ、農家ニ舊債ガアレバ、ズット引下ゲタ低金利ノ中ノ低金利デ救ツテ行クヤウナ方法モ講ジナケ

レバ、前途ノ光明ヲ失ツテ離農シテ行ク、ト云フヤウナ狀況ニナル場合ガアルノデアリマシテ、吾々ハ今產業組合ヲ經營シテ居リマシテモ、先づ増產ノ爲ニハ一ツ算盤ヲシタノデ、外シテヤラウト云フヤウナ氣持デヤツテ居格差モ今御話ノヤウニ一圓方縮メマシタ、サウシテ北海道ノ生産者ニ有利ナル解決ヲ一應シタノデスガ、其ノ爲ニ北海道ノ消費者ニハ、米ノ價格ガソレダケ上ルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、一時ニ直スコトハ是モ低物價政策ノ上カラ申シマスト色々支障アリマスノデ、アノ程度ノ改正ヲ以テ進シダノデアリマスガ、今後斯ウ言ツタ方面ニ付テハ、今言ハレタヤウナ氣持デ銘柄、格差ニ付テハ考慮ヲ加ヘテ行キタイト思ツテ居リマス。

○北(勝)委員 其ノ次ニハ事務的ノコトニ付テ重政政府委員ニ伺ヒマス、町村農業會ノ經費ノ決算ノ形式ヘドウ云フ風ニナルクト云フコトデアリマス、例ヘバ出資部門等ハ是ヘ特別會計デ扱ツテ行ク、斯ウ云フ工合ニサレルノデアリマセウカ、果シテサウダトシマスト、出資部門ト經費部門トノ間ニ、色々錯雜シタ分ラナイモノガ出テ來ル、イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ例ヘバ人件費デ申シマシテモ兩方ノ支出ヲシテ居ル、ドチラノ經費ヘ持ツテ行ツテ宜イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ云フコトガアラウト思ヒマス、今日殊ニ吾吾ガ心配シテ居リマスコトハ、增産ノ爲ニハ出資部門ト雖モ算盤ヲ外シテ、農家ニ舊債ガアレバ、ズット引下ゲタ低金利ノ中ノ低金利デ救ツテ行クヤウナ方法モ講ジナケ

レバ、前途ノ光明ヲ失ツテ離農シテ行ク、ト云フヤウナ狀況ニナル場合ガアルノデアリマシテモ、先づ増產ノ爲ニハ一ツ算盤ヲシタノデ、外シテヤラウト云フヤウナ氣持デヤツテ居格差モ今御話ノヤウニ一圓方縮メマシタ、サウシテ北海道ノ生産者ニ有利ナル解決ヲ一應シタノデスガ、其ノ爲ニ北海道ノ消費者ニハ、米ノ價格ガソレダケ上ルト云フ結果ニナルノデアリマスカラ、一時ニ直スコトハ是モ低物價政策ノ上カラ申シマスト色々支障アリマスノデ、アノ程度ノ改正ヲ以テ進シダノデアリマスガ、今後斯ウ言ツタ方面ニ付テハ、今言ハレタヤウナ氣持デ銘柄、格差ニ付テハ考慮ヲ加ヘテ行キタイト思ツテ居リマス。

○重政政府委員 大體前回モ色々御質問ガアリマシテ、御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、事業部門ト、經費ノ賦課ヲ致シマス所謂指導部門トヘ、經理區分ヲ致シタラ宜カラウ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ豫算モ、是ハ團體全體トシテノ豫算ト、ソレカラ或ハ事業部門、又ハ指導部門ダケノ會計ト云フモノガ出來ルト考ヘルノデアリマス、其ノ間ニ於ケル人件費、其ノ他ノ事業部門ト指導部門、又ハ兩者共通ノモノト例ヘバ人件費デ申シマシテモ兩方ノ支出ヲシテ居ル、ドチラノ經費ヘ持ツテ行ツテ宜イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ云フコトガアラウト思ヒマス、今日殊ニ吾吾ガ心配シテ居リマスコトハ、增産ノ爲ニハ出資部門ト雖モ算盤ヲ外シテ、農家ニ舊債ガアレバ、ズット引下ゲタ低金利ノ中ノ低金利デ救ツテ行クヤウナ方法モ講ジナケ

資關係ノ、所謂事業部門ノ方カラ一般ノ方ニ繰入レルモノトカ、或ハ一般ノ方カラ事業部門ノ方ニ繰入レルモノト云フヤウナモノハ、是ハ豫算編成ノ際ニ於テ決定ヲ或ル外シテヤラウト云フヤウナ氣持デヤツテ居リマス、併シソレガ昂ジテ行キマスト、結果ニリマシテモ、先づ増產ノ爲ニハ一ツ算盤ヲマフコトニナル、之ヲ危クシテハ大變ナノデアリマス、所ガ增產ノ國家的要請、或ハ農村ニ同ジ住ム者トシテ、相互扶助的ノ精神カラ言ヒマスト、ドウシテモ是ハヤラナケレバナラヌ事業デアルト云フコトニナルノデアリマス、斯ウシタ場合ニ、經費部門カラ出資部門ニ此ノ基礎ヲ危クシナイヤウナ程度ニ豫算ニ依ツテ補助ヲ出シ得ルノデアルカ、是ハ特別會計ト、ソレカラ一ツノ會計一本デヤルノトニ依ツテ違フノデアリマスガ、ソコハ一寸私ハ實際問題トシテ疑問ニナツテ來タノデ御教ヘヲ乞ヒタイト思ヒマス。

○重政政府委員 大體前回モ色々御質問ガアリマシテ、御答ヘ申上ゲマシタヤウニ、事業部門ト、經費ノ賦課ヲ致シマス所謂指導部門トヘ、經理區分ヲ致シタラ宜カラウ、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマス、隨ヒマシテ豫算モ、是ハ團體全體トシテノ豫算ト、ソレカラ或ハ事業部門、又ハ指導部門ダケノ會計ト云フモノガ出來ルト考ヘルノデアリマス、其ノ間ニ於ケル人件費、其ノ他ノ事業部門ト指導部門、又ハ兩者共通ノモノト例ヘバ人件費デ申シマシテモ兩方ノ支出ヲシテ居ル、ドチラノ經費ヘ持ツテ行ツテ宜イカト云フヤウナ、其ノ歸屬ガ分ラナイトイ云フコトガアラウト思ヒマス、今日殊ニ吾吾ガ心配シテ居リマスコトハ、增産ノ爲ニハ出資部門ト雖モ算盤ヲ外シテ、農家ニ舊債ガアレバ、ズット引下ゲタ低金利ノ中ノ低金利デ救ツテ行クヤウナ方法モ講ジナケ

カ、ソレヲ承ツテ置キタイ

○井野國務大臣 私カラ申上ゲテ、尙ホ足リナ伊所ハ重政政府委員カラ御答ヘヲ申上リマシテモ、先づ増產ノ爲ニハ一ツ算盤ヲマフコトニナル、之ヲ危クシテハ大變ナノデアリマス、所ガ增產ノ國家的要請、或ハ農村ニ同ジ住ム者トシテ、相互扶助的ノ精神カラ言ヒマスト、ドウシテモ是ハヤラナケレバナラヌ事業デアルト云フコトニナルノデアリマス、斯ウシタ場合ニ、經費部門カラ出資部門ニ此ノ基礎ヲ危クシナイヤウナ程度ニ豫算ニ依ツテ補助ヲ出シ得ルノデアルカ、是ハ特別會計ト、ソレカラ一ツノ會計一本デヤルノトニ依ツテ違フノデアリマスガ、ソコハ一寸私ハ實際問題トシテ疑問ニナツテ來タノデ御教ヘヲ乞ヒタイト思ヒマス。

○北(勝)委員 モウ一つ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、十一條ノ事業ノ所デアリマスガ、所謂直接關係、間接關係ト言ヒマスカ、其ノ後段ノ方ノ第四項ニアリマス「農業ニ從事スル者ノ福利増進ニ關スル施設」ト云フコトニ付テ、此ノ間質問ガアツタノデアリマス、石黒農林次官カラ、之ヲ會員ノ福利増進ノ施設トシナカツタノハ、農會カラ此ノ法規ヲ引繼イデ來ラレタ爲ニ、其ノ意味ニ於テ農會法ノ元通リノ字句ヲ使ツタノダ、斯ウ言ハレテ居ルノデアリマスガ、果シテサウトスレバ、是ハ會員ト直シタ方ガ宜イト思ハレルノデアリマス、ソレハ直スコトニ依ツテ何カ非常ナ御支障ガアルヤウナコトデモアレバ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタ

イ、ソレカラ問題ノ二十九條デアリマスガ、町村ノ農業團體ノ長ハ、之ヲ地方長官ガ任命スル、認可モ任命モ同ジコトデヤナイカラト云フノガ重政政府委員ノ御答辯デアツタ、斯ウ考ヘテサウ致シタノデアリマス、結果ニ於テハ任命ト認可トハ違ハナイノデアリマス、隨テ中央機關ヲ農林大臣ガ任命シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ下級機關ヲリマス、翼賛機關ト考ヘテ居リマス、翼賛機關デアル以上ハ、今日他ノ團體デモ大體大臣ナリ、或ハ主務官廳ノ任命ニナツテ居リマス、隨テ中央機關ヲ農林大臣ガ任命シテ居ルノデアリマスカラ、其ノ下級機關ヲリマスガ、其ノ氣持デ任命ニ致シタノデアリマスカラ、ソコニ大キナ違ヒノアリマスコトダケハ申上ゲテ置キタイト思ヒマス。

○北(勝)委員 只今ノ農業ニ從事スル者ト限ラレタコトニ對シテノ大臣ノ御答辯ハ能ク分ツタノデアリマスガ、斯ウ云フ字句ヲ使ツテ居ルコトハ、任意加入ノ者ニ對シテ實

ハ大變ナ影響ガアリ、誤解ヲ受ケル因トナル、ソコデドウモ單ニ今ノ御説明ノ通りデハ、此ノ字句ハ當缺ラヌヤウニ思フノデアリマス、其ノ一點ダケヲ伺ヒタイ
○井野國務大臣 現在ヤツテ居リマスコトト違ハナイコトヲ、今度ノ新農業團體ニヤラセルノデアリマスカラ、任意加入ノ者ト雖モ同ジデ、今日斯ウ云ツタ施設ヲ利用シテ居リマスコトチツトモ違ハナイノデアリマス、此ノ點ハ私ガ此ノ委員會デ法文ノ解釋トシテ聲明致シマスレバ、任意加入シテ居ル者モ疑ヒヲ持タナイト思ヒマス、結果是ハ字句ノ問題ニアラズシテ、政府ノ解釋ノ問題、又肚ノ問題デアリマスカラ、其ノ點ハ私ノ言葉ヲ以テ御信用ヲ願ヒタイト思ヒマス

○北(勝)委員 之ヲ以テ終リマス

○東郷委員長 農林大臣ハ豫算總會デ御出席ヲ要求サレテ居リマシテ、四十分位向フニ掛ルサウデアリマス、ソレデ大臣ガ居ラレナケレバ質疑ガ繼續出來ヌトスルナラバ、此ノ際水產團體法案ノ説明ヲ聽クコトニシタラドウカト思ヒマスガ……

○山田(六)委員 政府委員ニ二、三御聽キシタイコトガアルノデスガ……

○東郷委員長 ソレデハ山田君

○山田(六)委員 大體質問ガ終ツタ位ノモノデスカラ、一、三御聽キシタイコトヲ合併シテ御聽キ致シマスカラ、ドウゾ簡単ニ御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス、只今北サンカラモ御質問ニナツタノデスガ、此ノ第十一條ノ前段ト後段ト、一項ト二項ト分ケテアリマス、此ノ分ケマシタ一項ノ方ヘ、必行事業ト云フヤウナコトニナツテ居リマスガ、二項ノ方ハヤレバヤリ得ルト云フヤウ

ナ意味デ御分ケニナツタ、斯ウ云フ風ニ茲
デハ見エルノデスガ、サウ云フ意味デ御分
ケニナツタノデアルカドウカト云フコトヲ
御聽ギシタイコトガ一ツ、ソレカラ今一ツ
ハ、經理ニ付テノ話ガ只今アツタノデアリ
マスルガ、是ハ皆區別ヲ致シテ經理ヲ致ス
ト云フコトデアリマス、是ハ府縣ノ農業會
モ、町村ノ農業會モ、サウ云フヤウナコト
ニ取扱フ、斯ウ云フコトニナリマスルカト
云フコトガ一ツ、ソレカラ例ヘバ統合サレ
ル所ノ團體ハ畜產組合アリ、養蠶組合アリ、
農會アリ、產業組合アリ致シマスガ、此ノ今
マデノ組合ハ各自獨立シテ經營ラシテ居ル、
豫算モ決算モ持ヘル、斯ウ云フヤウナコト
ニナリマスカ、サウデハナク、茲ニアル會
費ヲ賦課スルニ付テ、十一條ノ第一項デア
ルトカ、第二項デアルトカ、或ハ二項ノ第
三號デアルトカ、第四號デアルトカ云フヤ
ウナ事業ニ該當スルモノト、是マデノ産業
組合ノヤツテ居リマシタヤウナ十一條ノ第
三號カ ラ第六號ニ至ルマデ、或ハ第二項
ノ第一號 第二號ノ問題デアルトカ云フ
ヤウナ項目ニ當ルモノヲ以テ分類スルト云
フコトニナリマスカ、或ハ在來ノ組合ノ種
類ニ依ツテ分類スルト云フコトニナリマス
カ、其ノ經理ノ方法ニ付テ今一應御聽ギシ
タイノデアリマス

致シマシテ迷惑スル部分ガ出来テ參ル、詰リヤツテ居ラヌモノモアツタリ、色々ナコトガアルノデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマス、今回ノ農業團體ノ統合案、此ノ農業團體法案ガ、何處マデモ戰力ノ增强ノ基本ヲナス所ノ農業生産ノ增强ニアルト云フ觀點カラ致シマシテ、其ノ農業ニ直接ノ關聯アルモノヲ之ヲ一應必行事業ト致シタノデアリマス、第二項ノ任意事業ト云フノハ、ヤツテモヤランデモ宜イト云フ風ナ意味ニ輕ク考ヘテ居ル譯デハナイノデアリマス、間接的ニハ此ノ第二項ノ各種ノ事業ヲ實行致シマスコトガ、又生産ノ增强ニナリ、隨テ戰力ノ增强ニナルコトハ明カナコトデアル譯デアリマス、サウ云フヤウナ譯カラシマシテ、是ハ法理上ノ問題カラ一項、二項ニ分ケタ譯デアリマシテ、實質的ニ大ナル差異ハナイト考ヘテ居ルノデアリマス
ソレカラ經理ノ區分ノ問題ニ付テ、町村ノ農業會モサウ云フ風ニスルカト云フ御質問デアリマスルガ、實ハ是ハ私共ト致シマシテハ、主トシテ縣ノ團體ニ付テ一應ハ考ヘタノデアリマスガ、町村ノ團體ニ於キマシテモ、町村ニ依リマシテハ色々事業ノ分量其ノ他モ違ツテ居ルグラウト考ヘルノデアリマシテ、此ノ經理ノ區分ヲ強制的ニ之ヲ指導致スト云フ考ヘヘ持ツテ居リマセヌ、ガ唯專ラ實情ニ即シテ區分ヲ致シダ方ガ宜イデハナイカト云フ風ニ考ヘテ居る程度ツテ居リマセヌ、ソレカラ現在ノ團體別ニ經理ノ區分ヲ致ス考ヘハナイカト云フ御質問デアリマスガ、是ハサウ云フ考ヘヘ持

白クナイコトデヘナイカト云フ風ニ考ヘテ
居リマス
○山田(六)委員 團體デ區分スル意思ナシ、ソレハ御尤モノコト思フノデアリマスガ、此ノ合同スル上ニ於テ、統合サレルモノハ權利義務ヲ悉ク繼承スルト云フ形ニナツテ行クト云フコトニナツテ居ルヤウデアリマスガ、例ヘバ郡ノ組合ノ如キハ、組合ニ依リマシテハ數万圓、或ハ十數万圓ノ財產等ヲ持ツテ居ルモノモアルノデスガ、是等ハ縣ノ農業會ニ引繼ガレルコトニナルデセウガ、併シ其ノ實質ハ其ノ郡内ニ於ケル當業者ノ努力、或ハ犠牲ニ依ツテ出來上ツテ居ル權利デアリマスカラ、資產デアリマスカラ、ソレ等ハ其ノ郡内ノ町村農會ノ方ニ引繼グノガ當然ノヤウニモ考ヘラレルノデアトニナレバ、各郡トモ稍、同一ナ資產ヲ持ツテ居ルト云フヤウナ狀況ニアレバ問題ヘナイノデアリマスガ、或モノハ却テ反對ニ負債ヲ持ツテ居ル、或モノハ十數万圓ノ財產ヲ持ツテ居ルト云フヤウナモノヲモ、悉ク平等ニ縣ノ農業會ニ繼承サレルカト云フ問題デアリマス

區分ハナイ、是ハ皆縣ノ農業團體ノ権利義務トシテ繼承サレル、斯ウ云フコトニナリマセウカ、サウ云フ風ニナリマスト、其ノ場合繼承サレタ權利義務ニ付テノ豫算、決算等ノ區分ト云フモノトノ區別ガドウ云フコトニナツテ來マセウカ、其ノ點ヲ一寸伺ヒマス

○重政政府委員 郡團體ノ、特ニ他ノ郡ト異
ツテ特別ナル財産ヲ持ツテ居ルト云フヤウ
ナ場合ノ御質問デゴザイマスガ、ソレハヤ
ハリ縣ノ團體ニ其ノ財產ヲ一應歸屬ヲ致ス
コトニ相成ルノデアリマス、但シ御述ベニ
ナリマシタヤウナ特殊ナ事情ガアリマシテ、ソ
ニノ郡内ノ各町村ニ於テハ、從來其ノ財產
ヨリ生ズル所ノ利益ヲ共有ヲ致シテ居ツタ
ノデアリマスルカラ、ソレハ新團體ノ成立
ニ依リマシテ、財產ガ縣ノ方へ歸屬致シマ
シタ後ニ於キマシテモ、ヤハリ繼續ヲ致サ
シメル方法ヲ講ジタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居ルノデアリマス、即チ財產ノ權利トシ
テハ、法律的ニハ縣ノ團體ニ承繼致シマス
ケレドモ、其ノ財產ノ管理及び利用ニ付キ
マシテハ、當該郡ノ支部ヲシテ優先的ニ當
ラシメル、斯ウ云フコトニ致シタイト考ヘ
テ居リマス

○山田(大)委員 サウスルトスウ云フコトニ
考ヘテ宜シイノデアリマスカ、ソレハ新團
體ニ繼承スルケレドモ、新團體ハ特殊ノ資
產或ヘ財物トシテ別ノ取扱ヲシテ、ソレカラ
生ズル利子デアルトカ、或ヘ色々ナ資產ガ出
タトシタナラバ、ソレハ其ノ郡内ノ事業ニ使
フ爲ニ其ノ郡ニ特ニ分配スルト言ヒマスカ、
分與スルト言ヒマスカ、サウ云フ方法ニヤツ
テ行クノダ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ宜イノデアル
スカ、一昨年デシタラウカ、郡トカ縣ニテアル

所ノ各種ノ團體ニ於ケル基本財產、其ノ他
ノモノヲ、團體統合ノ爲ニ、此ノ機會ニソレ
ヲ豫想シテ消費シテハ相成ラス、ト云フ通牒ヲ農
林省カラ發セラレテ居ツタデアリマスガ、其ノ
際ニ色々話ガアリマシテ、今日マデ各地ト
モソレヲ大事ニシ、此ノ通牒ヲ遵奉シテ居
ルヤウデアリマスガ、愈々此ノ法律ガ出タニ
付テ、一體ドウナルダウカト云フヤウナ
コトヲ各地カラ頻々トシテ言ツテ來テ居ル
ノデアリマス、其ノ中ニハ斯ウ云フ要求ガ
アル、特ニ私共ノ方ノ郡デハ、是レノノ
契約ノ下ニ斯ウ云フ金ヲ積立テアル、是
ハ全ク郡内ノ人ガ特ニヤツク爲ニ是ダケノ
モノガ積立テラレタノデアルカラ、郡ニ何
トカ保有スルコトガ出來ヌカ、或ハ郡内ノ
關係者ニ、或ハ關係團體ニ之ヲ此ノ機會ニ
分配ヲシタイ、斯ウ云フヤウナコトヲ言ツ
テ參ツテ居ルノガアリマスルケレドモ、特
ニサウ云フヤウナ事情ノ下ニ、其ノ郡ニ限
ツテ或ル共同事業ヲヤルトカ、郡ノ事業ト
シテ斯ウノ云フ經營ヲシタト云フヤウナ
爲ニ出來上ツタ資産ニ對シマシテハ、特ニ
其ノ郡内ノ各團體ニ歸屬セシメルト云フコ
トヲ御認メニナルコトガ出來マセヌデセウ
ト考へテ居リマス

或へ生産必需品ノ購入デアルトカ云フヤウ
ナモノガ主タルモノノヤウデアリマス、今
一ツハ是マデノ産業組合デ取扱ツテ來タモ
ノ、或へ農會其ノ他デ取扱ツテ來タモノガ
主タルモノノヤウニナツテ居ルヤウデアリ
マスルガ、第二項ノ方へ生活必需品ノ購入
デアルトカ云フヤウナモノ、或へ利用事業
ト云フヤウナモノデ、是マデノモノニ當嵌
メレバ當嵌メラレルト云フ工合ニナツテ居
ルノデアリマスルガ、此ノ十一條ノ上カラ
見マスルト、生産必需品デアルトカ、或へ
生產品ヲ販賣スルトカ云フコトハ、必行事
項トシテヤルベキモノデアルケレドモ、生
活必需品ノ共同購入デアルトカ、或へ利用
デアルトカ云フ問題ハ、是ハヤレバヤリ得
ルガ、農業會トシテヘヤルト云フコトヲ本
則ニシテ居ナイノダ、斯ウ云フ風ニモ見レ
バ見エルノデスガ、サウ云フ意味ニ依ツテ
出來上ツテ居ルノデセウカドウカト云フコ
トガ一ツト、ソレカラモウ一ツハ此ノ福利
増進ト云フコトハ、是マデノ團體トシテハ
ドノ團體ニ於テモ、ソレガ團體ノ主タル目
的ニナツテ居ツタノデアリマスガ、今度ハ
國策ニ即應シテ、農業ノ整備發達ヲ圖ルト
云ツタヤウナコトニナツテ居リマスカラ、
サウ云フ意味ニ於テ、福利増進等ニハ力ヲ
入レテハ相成ラヌト云フ御考ヘデ、福利增
進ヲヤル際ニハ行政官廳ノ認可ヲ受ケル、
斯ウ云フコトニナツテ居ルヤウデアリマス
ガ、此ノ福利増進ト云フモノハ總テ認可事
項ニナツテ居ルト考ヘテ宜シウゴザイマス
カ、其ノ邊ノ所ヲ一ツ御聽キシタイ

述べニナリマシタヤウニ、第一項ノ方ヘ
レバ農業會ニナラスト云フコトニ法理上ナ
ル譯デアリマス、唯併シ先程モ申上ゲマシ
タ通リニ、此ノ第一項ト第二項ヲ分ケマシ
タノハ、專ラ法制的ナ理論カラ分ケタノデ
アリマスルガ、斯ウ云フ風ニ必行事項ト任
意事項トヲ分ケタコトニ依ツテ、從來私共
ノ執ツテ參リマシタ方針ヲ二、三ニスルト
云フヤウナ意圖ハ、全然持ツテ居ラナイノ
デアリマス、先程モ申シマシタ通りニ、第
二項ノヤウナ事業ヲヤリマスコトガ、同時
ニ是ハ農業生産增强ニ資スル所ガ極メテ大
キイノデアリマスルカラ、隨テ現在ヤツテ居
リマスル所ノ產業組合、農會、或ハ養蠶組
合ト云フヤウナ各種ノ團體ヲ統合致シマシ
テ、ソレ等ノ團體ガ現在ヤツテ居リマス事
業ハ、悉ク是ハ出來得ルコトニ致シテ居ル
ノデアリマス

ソコデ吾々ノ方トモ十分協議ヲ遂がテ之ヲヤツテ行ク、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ認可ヲ受ケサセル、斯ウ云フコトニ致シタ譯デアリマス

○山田(六)委員 サウスルト此ノ認可ヲ受ケルノハ新タニヤルモノニ限ルノダ、是マデヤツテ居ルモノハ認可ヲ受ケル必要ガナト云フコトデスガ、更ニ此ノ問題ニ付テ御聽キ致シタイコトハ、今日マデノ實際ノ事情カラ言ヒマスト、第一項ニアル所ノ農產物ノ集荷或ハ生産必需品ト云フヤウナモノデスガ、現在此ノ農產物ニ對スル集荷ヲヤツテ居ツテ得タ其ノ金ヲ、成ベク組合員ニヤラズニ、悉ク組合ニ貯金セシメルコトガ最モ宜イコトダト、獎勵ヲシテ參ツテ來タノデアリマス、是ハ農村ノ實體カラ言ヒマスト、農產物ヲ高ク賣ラウガ、安ク賣ラウガ、其ノ金ヲ家ヘ持ツテ行ツテ使フト云フヤウナコトヲセシメナイコトガ、農民ノ爲ニ最モ宜シイコトデ、是ハ農村ノ疲弊ヲ防グ上ニ於キマシテモ、農村自體ニ安心ヲ與ヘル上ニ於キマシテモ、極メテ良いコトデアル、詰リ此ノ農業會ガ今日マデノ産業組合ニ代ツテ、農村ノ生活必需品等ニ付キマシテ十分ノ供給ヲナシ得、又生産必需品ニ對シテ供給ヲナシ得ルト云フコトニナリマスレバ、農家ハ本當ニ安心シテ總テノ農產物價格等ヲ農業會ニ悉ク任シテ置クト云フヨニ行キマスカラ、一面貯蓄ノ目的モ達シ、一面生活ノ安定ガ益、堅クナツテ來ルト云フコトニナリマスレバ、是ハ農業會ノ目的ヲ達成スル上ニ於テ非常ニ重要ナコト

ケル事實ハ色々國策會社ノ關係ヤ、其ノ他ノ關係ニ於テ、產業組合ヨリ生活必需品ノ配給ヲ漸次狭メテ來ル、漸次ヤリ得ナイ形ニ導イテ來ルト云フヤウナ傾向ニナツテ居ルノデアリマスガ、今度ノ農業會ハソレトヘ違ツテ、第一項、第二項共ニ今日マデヤツテ來タモノハ自由ニヤリ得ルシ、生活必需品等ニ對シテノ配給モ、今ヨリモ更ニ一層ヤリ得ル便宜ヲ與ヘルノダ、ト云フヤウナ意味ヲ此ノ中ニ含ンデアルカドウカト云フコトヲ御聽キ致シタイ

○重政政府委員 物資ノ配給ノ問題ニ付キマシテハ、屢々各委員カラ御質問ガアリマシテ、私モ御答ヘ申上ゲマシタシ、大臣カラモ色々御答辯ヲシテ居ラレルノデアリマスガ、只今ノ御質問ハ、生活必需品ヲ此ノ團體ヲ通ジテ配給ヲスル意味デ之ヲ設ケテ居ルカト云フ御質問デアリマスガ、サウ云フ意味ハ持ツテ居リマセヌ、申上ゲルマヂアナク、物資ノ配給ノ問題ヘ、現實ノ問題デアルノデアリマシテ、色々ノ情勢ニ應ジテハ、色々ノ配給機關ヲ整備ヲ致シテ今日ニ至ツテ居ル譯デアリマス、隨ヒマシテ唯抽象的ニ其ノ分野ヲ更ニ擴ゲテヤルト云フコトハ、中々申難イコト考ヘルノデアリマステ行ク、ト云フコトニナルト考ヘルノデアリマス、ソレハドウ云フ勅令デ、ド

○山田(大)委員 其ノ點大體分リマシタラ、此ノ問題ハ是ダケデ省略ズルコトニシマセウ、ソレカラ一ツ御聽キシタイコトハ、第九十二條ノ意味ガ分ラナイノデアリマスルガ、第九十二條ノ勅令ト云フノガナイノデアリマス、ソレハドウ云フ勅令デ、ド

シタインノデアリマス
○重政政府委員 是ハ畜産組合ノ中デ、馬ニ關係ヲ致シマスアル部分ハ、畜産組合ガ馬匹組合ニナル譯デアリマス、隨て團體統合ヲ致シマス際ニ、馬及ビ牛ノ事業ヲヤツテ居リマス畜産組合ヲ、二ツニ分割致サナケレバナラナイ譯ニナリマス、ソレニ關係ヲ致シマシタ事項ヲ勅令ニ書ク、斯ウ云フコトニ相成ル譯デアリマス
○山田(六)委員 ソレデ大體法令ニ關スルコトハ分リマシタ、第九十四條ニアル「當該受命法人ノ所屬シタル法人ト當該農業團體トノ間ノ所屬其ノ他ノ關係ニ付テハ本法及他ノ法令ニ拘ラズ勅令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得」ト云フコトニナツテ居リマス、此ノ「別段ノ定」ト云フノハ、九十四條ノ特令ノ中ニモ特別ノ規定ヲ設ケルコトガアルヤウデアリマスガ、是ハドウ云フ特別ノ規定ニナツテ居リマスカ

○山田(六)委員　此ノ際御意見ヲ御聽キ致シタイコトハ食糧問題デアリマス、食糧問題ニ付テハ質問ガ大分繰返サレタノデアリマスガ、私共ハ斯ウ思ツテ居リマス、昭和十七年度ノ米穀年度ニ於ケル米ノ生産額ヲ六千七百三十万石ト云フ風ニ發表サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ實際ハモツト穫レテ居ル、三百二十數万町歩ノ土地ヲ耕作シテ、多少水害ガアツテモ何シテモ、昭和十七年ノアノ天候ニ於テ六千七百万石ナント云フコトハ絶對ニナイ、其ノ他ニ陸稻ニ於テ年々數十万石ヅツ増産シテ居ルト云フノデアリマスルカラ、勿論七千万石ハ超シテ居ルニ相違ナイ、斯ウ云フ風ニ信ジテ居ルノデアリマス、ソレデ統計ト實際ノ數字トノ一致シテ居ナイコトハ、農政上ニ於テモ非常ニ困ツタコトデアリマスルカラ、ドウシテモ是ハ一致セシメナケレバナラヌ、私ハ切メテ自分ノ町村内デモ、總テノ農政上ニ關係スル一切ノ統計ヲ實際トキツチリト合ツタモノヲ作りタイト云フノデ、二、三年來非常ニ心配ラシテ居リマスルケレドモ、ドウシテモソレガ出來ナイ、第一ニ出來ナイコトハ今日ノ農村ニ於ケル農民ノ食糧ノ消費數量ガ無理ダト云フコトガ、ドウシテモ是ガ出来ナイ一つノ原因ニナツテ居ル、ソレデ色々農地關係ノ人々ニ相談致シテ見マスト、今日ノ如ク非常ニ手ガ足リナイ、非常ナル過激ナル勞働ニ服シテ居ル人ニ對シテ、一日四合シカ保有米ヲ持ツテハナラスト云フコトデアル、婦人ニ對シテハ三合デアル、其ノ他ノ者ハ二合三匁ト云フヤウナコトデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ食糧ノ規正ヲ受

ケテ、ソレデ正直ニ其ノ數ニ依ツテ米ヲ保有シタナラバ、働クコトガ出来ナクナツテシマフ、斯ウ云フコトナノデアリマス、私ハソレハ尤モノコトデアラウト思ヒマスカラ、是ハ今少シ農民ニ對スル食糧ノ消費ニ付テノ規正ヲ修正シテ戴ケバ、本當ニハツキリシタ生産量モ分リ、ハツキリシタ消費量モ分ツテ、其ノ他ノ米ノ全部ノ供出ヲナサシムルコトガ出來ヨウ、斯ウ云フヤウニ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス、先達テ、保有米中ニ於ケル一割以上ノ米ヲ出スコトニ付テ、各地方ノ關係ノ人々ニ集マツテ貰ヒマシテ、協議會ヲ開イタノデアリマスガ、其ノ時ノ話デハ、何レモサウ云フ話ガ多方ツタノデアリマス、此ノ點ニ付テ是非、農家ニ全クナクテハナラヌ最小限度ト云フヤウナモノヲ標準トシタ消費量ヲ決メテ戴ケバ、其ノ餘ツタ分ハ悉ク供出セシムルコトガ出來ルヤウニ考ヘルノデアリマス、本年ノ米穀事情ガ極メテ憂慮スベキ状態デアルト云フノデ、眞剣ニ是等ノ人々ニ説イテ見マスト、何レモ是等ノ人々ハ異口同音ニサウ言ツテ居ルノデアリマス、是等ノ人々モ、出來得ルダケ混食モ代用食モ攝リマシテ、米ヲ少シデモ供出シタイト云フヤウナトガ出來ナイト云フヤウナコトニナツテ居者ヘハ、皆熱心ニ言ツテ居ルノデアリマスケレドモ、サウ云フ關係デ、本當ニ眞面目ナ報告ヲ出スコトガ出來ナイ、計算ヲスルコト云フコトヲ御伺ヒ致シマス

○山田(六)委員 今一つ斯う云ふ問題がア

ガ、福島縣ハ全部デスガ、肥料ノ配給ヲ、昭和十八年ノ一、七月ノ肥料配給ニ對シテ、田ノ方ハ宜シイノデアリマスガ、畑ニ對シテ、私ノ郡ハ極メテ小サナ郡デアリマスガ、ソレデモ四百町歩アリマスカラ、福島縣全體デハ少クトモ七八千町歩ノ畑ニ肥料ノ配給ガナインデアリマス、春ノ肥料デアリマスカラ、或ヘ馬鈴薯ヲ作ルニモ、馬鈴薯ハ私共ノ方デハ彼岸ト云ヘバ全部植エル習慣ニナツテ居リマスガ、或ヘ甘諸ヲ作ルニモ、ナクテハナラヌ肥料デアリマス、是ノ配給ヲシナイドウ云フ譯デアルカト言ヘバ、昨年ノ麥ノ植付ノ時分ニ、反別ヲ調査シテ、其ノ反別ニ依ツテ肥料ノ配給ヲシタ所ガ、其ノ反別ダケノモノガ植付カツテ居ラナイト云フノガ一つノ理由デアリマス、ソレカラ、昨年ノ夏ニ於ケル麥ノ供出ガ配給數量ニ足リナイ、餘リニ少イト云フヤウナ爲ニ、計算目標トシテ居ツタ反別ダケ植エナイカラ、ソレダケノ肥料ヘ餘ツテ居ル筈デアル、斯ウ云フ見解ノ爲ニ、ソレダケノ肥料ヲ一月、七月ノ分カラ控除シタト云フノデアリマス、併シ實際ヘ、到ル處ニ、三反歩ニ使ハウト思ツタ肥料ヲ二反歩ニ使ツテシマツタ、或ハ五反歩ニ使ハウト思ツタ肥料ヲ四反歩ニ使ツテシマツテ居リマスカラ、肥料ガ残ツテ居ル筈ハナイノデアリマス、ナイノデアリマスカラ、此ノ何千町歩——私共ノ方ノ土地ト云フモノハ全ク肥料ノ配給ヘ少シモ受ケズニ、而モ甘諸トカ、馬鈴薯ト云フヤ

ウナモノハ極力作ル、其ノ弛雜設頗モ作ル

ト云フヤウナコトヲ努力シテ居ルノデアリ
マスガ、是ハ理窟ハドウアラウトモ、兎ニ
角十八年度ノ春ノ肥料ヲ少シモ與ヘラレズ
ニ、サウシテ生産ヲ殖ヤサウト云フ計畫へ
極メテ無理ナ計畫デアラウト思ヒマスガ、
斯ウ云フヤウナ配給ヲセラレルト云フコト
ハ、生産增强ノ上ニ非常ナ惡影響ヲ及ボス
モノト思フノデアリマスガ、之ニ對スル御
意見ヲ御聽キ致シタイ

○重政政府委員 只今御質問ニナリマシタ
ヤウナ事情ニ付テハ、十分ニ調査ヲ致シマ
シテ、具體的ノ問題トシテ是ハ調整ヲ圖ル
ヨリ外ハナイト思フノデアリマスガ、唯私
はダケノコトヲ申上ゲテ御諒承ヲ得テ置キ
タイト思ヒマスコトハ、御承知ノヤウニ肥
料ガ十分ニ全體トシテ配給ガ出來マセヌノ
デ、重點配給ヲ今政府トシテヘヤツテ居ル
譯デアリマス、米麥等ニ付キマシテハ、特別
ニ他ノ作物ニ比シテ多クヲ配給ヲ致シテ居
リマスガ、ソレガ色々農會、產業組合等ニ
依リマシテ、肥料ノ重點的ニ配給スルコト
ヲ徹底ヲ致スヤウニ指導シテ居リマスガ、
ドウモ事實ハ必ズシモサウ行ツテ居ラヌト
云フノガ、恐ラク事實デハナカラウカト思
フノデアリマス、只今福島縣ノ事例ニ付テ
御話ニナリマシタヤウニ、前年ノ麥ノ作付
ト云フモノガ計畫通りニナツテ居ラヌ、肥
料ハ計畫反別ニ依ツテ貰ツテ居ツテ、實ハ
ノデハナイカト云フコトヲ、恐ラク是ハ間

類ニ致シタソデアラウト考ヘルソデアリマ

斯ウ云フ關係ガアリマスノデ、サラバト云ツテ之ヲ農家ニ、謂ハバ政府ノ政策ニ協力シナイ肥料ノ使ヒ方ヲ致スニ、是ガ分ツテ居リナガラ默ツテ肥料ヲ縣ニ於テ配ツテ行クト云フコトモ如何ナモノカト云フ風ナ考ヘカラ、恐ラク御話ノヤウナ配給方法ヲ或ヘ考ヘタノカトモ考ヘルノデアリマスガ、ソレ等ノ點ヘ十分事情ヲ調べマシテ、是ハ當局ニ於テ調整ヲ致スト云フコトニ致スヨリ外ヘナイト考ヘマス

○山田(六)委員 此ノ問題ヘ、肥料ヲ本當ニ計畫反別ダケニ使ハズニシマツタト云フコトハ怪シカラヌト云フコトニナレバ、其ノ方ノ處分ヲスルコトハ宜シトイ思フノデアリマスガ、ソレガ爲ニ十八年度ニ作付スル數千町歩ノ土地ニ使フダケノ肥料ヲ全然與ヘナイト云フヤウナコトハ、今日ノ場合ニハドウモ是ハドウ云フモノカト思フノデアリマスガ、併シ御話ニ依ルト福島縣ダケノ問題ラシク聞エルノデアリマスカラ、尙ニ御聽キ致シタイト思フノデアリマスガ、ホ御調査ヲ願ツテ、然ルベク御願ヒ致シタイト思ツテ居リマス、ソレカラ尙ホ蠶絲ノ問題ト徵用ノ問題ガアルノデスガ、是モ大臣ニ御聽キ致シタイト思フノデアリマスガ、ソレハ斯ウ云フ問題デアリマス、三反歩以上ノ土地ヲ所有シテ居ル農家カラハ徵用ヲ考慮スル、斯ウ云フコトニナツテ居ツタノデアリマスカラ、昨日モ其ノコトヲ農林大臣ガ言ヘレタヤウデアリマシタガ、最近ハ事實ニ於テ三反歩ドコロデナイ、一町歩モ二町歩モ作ツテ居ル農家カラモ、ドンドン徴用ヲスルト云フコトニナツタノデアリマス、ソレハ此ノ戰局ノ進ムニ從テ、色々軍需工場等ニモ益、勞働力ガ要ルノデアリマス

カラ、已ムヲ得ナイト考ヘテ居ルノデアリ
マスガ、所ガ其ノ徵用ヲ受ケタガ爲ニ、二
町歩、三町歩ト云フヤウナ農家ガ、全ク半
分ノ土地ノ耕作ヲ止メナケレバナラヌト云
フヤウナ家ガ、頻々トシテ最近出來テ參ツ
タノデアリマス、現在私ノ村ナドモ、今六、
七戸ノ家ガ丁度サウ云フ境遇ニナツテ居マ
シテ、之ヲ小作ニ附シタイト思ヒマスルガ、今日
ノ状況デハ小作ヲ引受ケル者ガナイ、ソレデ已
ムヲ得ナイカラ團體デ作ツテ吳レロト云フヤ
ウナ話モアルノデアリマス、實ハ團體デ昨年モ一
昨年モ、一箇年引續イテ産業組合ト農會ガ聯
合致シマシテ、斯ウ云フ土地ヲ耕作シテ參リ
マシタガ、二年ナガラ損失ヲ重ネテ、中々
負擔モ容易デナイノデアリマス、ソレハ十
六年ノ凶作ノ關係モアリマシタガ、悉ク勞
賃ヲ拂ツタノデハ引合ハナイノデアリマス、
地主ニ少シモヤラナケレバ引合フノデアリ
マスガ、地主ニ幾ヲカヤルト到底引合ハナ
イノデアリマスカラ、今後斯ウ云フモノガ
益、出テ來タノデヘ、團體ノ力デハドウスル
コトモ出來ナイト云フコトニナルノデアリ
マス、ソコデ私ハ更ニ御毒ネシタイコトヘ、
是マデハ三反歩以上ト云フコトデアリマシ
タガ、三反歩以上デナクトモ宜シイ、一町
歩以上デモ、一町五反歩以上デモ宜シイ、
兎ニ角徵用ノ爲ニ田ヲ耕作スルコトガ出來
ナイ、斯ウ云フヤウナコトヲ實際ニ行ヒ得
ルコトニシテ戴キタイ、三反歩以上ノ農家
ナツテ居ルヤウナ御話ハアリマスケレドモ、
是デハ駄目デアリマス、實際ニ徵用シナイ

ト云フコトニナラケレバ駄目ダト思フノ
ニアリマスガ、近來頻々トシテ農家ノ本當
ニ重要ナ勞働者ヲ徵用シテ持ツテ行ク、ソ
レハアトノ家族デ耕作スルコトガ出來レバ、
持ツテ行ツテモ宜ノデアリマス、所ガ耕
作ガ出來ズ、更ニ小作ニシヨウトシテモ、
シテ戴キタイ、是ハ極ク上層デハサウ云フ
コトヲサセナイト言ヒマシデモ、或ハ職業
指導所、或ハ其ノ他ノ方面デ斯ウ云フコト
ヲ現ニ行ツテ居ルノデアリマスカラ、極ク
下層ノ職業方面ノ人々ガ斯ウ云フコトヲヤ
ラスト云フコトヲハツキリサセルコトニ御
配慮ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、此ノ點ニ付
テハ御意見へ如何デアリマスカ

○重政政府委員 徵用ハ、主要ナル食糧農
産物ヲ三反歩以上耕作シテ居ル者ニ付キマ
シテハ、大體致サナイト云フ政府内部ノ方
針ニナツテ居リマシテ、各地方長官ニ對シ
テモ通達ヲ致シテアル譯デアリマス、只今
御述ベノヤウナ一町歩以上モ作ツテ居ル者
ヲ徵用致シタト云フヤウナコトハ、私最近
ニ於キマシテ初メテ御聽キ致シタノデアリ
マスルガ、是ハ後デ宜シウゴザイマスカラ、
具體的ニ其ノ事例ヲ一つ御提示ヲ願ヒタイ
ト考ヘルノデアリマス、ソレニ依リマシテ十
分ソレハ内容ヲ取調べマシテ畫處致シタイ
ト考ヘマス

○山田(大)委員 承知致シマシタ、ソレハ
直チニ其ノ具體的ノモノヲ御手許ニ差上げ
ルコトニ致シマス、是ハ私ハ縣ニ参リマ
シテ、縣ノ職業課ニ對シテ、斯ウ云フヤ
ウナ實情ニアル農家カラ徵用サレルコト
ハ困ル、是デハ全ク百姓ガ出來ナクナルト

話シタ所ガ、縣デハ斯ウ云フコトヲ言ツテ
居ルノデス、縣ニ割當テラレテ來タ勞働者
ヲ、成ケベク商店デアルトカ、或ハ整理統
合サレタ中小商工業者ト云フヤウナ方面カ
ラ求メヨウトシテ、今日マデ努力シテ來タ
ガ、既ニ人ガナイ、現ニ多少アリマシテモ、
ソレハ役ニ立タナイ、ソレダカラドウシテ
モ農家カラ徵用スルヨリ外ニ方法ガナイノ
ダ、ダカラソレハ諦メテ貰フ外ナイ、一旦
徵用令ヲ出シタモノハ、假令サウ云フ事情
ガアツテモ途中デ止スコトガ出來ナイ、ソ
レヲ止スト外ノ者ニ惡影響ヲ與ヘルカラ、
是ハ何デモ彼デモ止スコトヘ出來ナイカラ
已ムヲ得ナイノダ、成ベク注意ヲシヨウト
思ツタケレドモ、是ヘ今日ニナツテハ駄目
ダ、農家以外ニ採リヤウハナシ、縣ニハ割
當ガ來ルシ、割當アテ來タモノハ引受ケテ
處置シナクテハナラナイカラ、已ムヲ得ナ
イノダ、斯ウ云フ縣ノ説明デアリマスカラ、
ソレモ御含ミ下サイマシテ、然ルベク御配
慮願ヒタイト思ヒマス

スルヤウナコトヲ縣アタリニ行ツテ陳情ス
ルト、徵用ニ引掛けラレテ私モ持ツテ行カ
レルカモ知レナイ、サウナツタ時ニハ百姓
ハ出來ナクナル、洵ニ困ツタモノダト云フ
ノデ相談ニ來タ譯ニアリマシテ、是ハ確カ
ニ到ル處デ相當徵用ガアルノデゴザイマス
ドウカ此ノ點、吾々ノ方カラモ具體例ハ出シ
マスガ、農林省デ一つ能ク御調査下サイマ
スヤウ御願ヒ致シマス

マスカラ、本當ノ生産費ガ出來ルカドウ
カト云フコトモ非常ニ心配デアルト同時ニ、
模範養蠶家ノ如キモノハ、必ズ或ル數量ダ
ケノ繭ハ採ルノデアリマスガ、一般養蠶家
ハサウ繭ハ採レナイト云フ、繭ニ對スル危
險率ト云フヤウナモノモ、其ノ生産費ノ中
ニハ計算ヲサレテ居ラナイト云フヤウナ譯
ニアリマスカラ、ドウ云フ生産費ガ集マツ
テ來ルコトヤラ分リマセヌガ、ドンナ生産費
ガ集マツテ來マシテモ、今日ノ公定價格ヨ
リモ十掛ヤ十五掛ヘ多イグラウ、斯ウ云フ
風ニハ考ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、
若シ其ノ生産費ガ私共ノ思ツテ居ル程ノ生
產額ニ達シナイトマシテモ、經濟事情ヲ
斟酌シテ値段ヲ決定スルト云フコトニナツ
テ居リマスカラ、ソレ等ヲ斟酌決定ヲ致シ
マシテ、價格ヲ或ル程度引上ガルト云フヤ
ウナ所ニ付テハ、無論オヤリ願ハレルモノ、
斯ウ云フ風ニ大臣ノ答辯ノ内容ニ依ツテ想
像ハシテ居ルノデアリマスガ、併シ伺時ノ
時期ニドウ云フ程度ノ引上ラスルカト云フ
コトガ、餘リニハツキリシテ居リマセヌノ
デ、其ノ點ニ付テ一ツ御意見ヲ御伺ヒ致シ
タイト思ヒマス

マスノデ、今折角昨年ノ生産費ノ報告ヲ集計整理ヲ致シテ居ルヤウナ事情デゴザイマシテ、何時ドノ程度上ガルカト云フコトニ付キマシテハ、成ベク早ク其ノ蠶絲委員會ヲ開ク爲ニ、色々ナ準備ヲ今急イデ作ツテ居ルヤウナ事情デアリマスノデ、成ベク早く蠶絲委員會ヲ開キマシテ、御決メ戴キタイト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス
○山田(六)委員 此ノ問題ニ對シテハ此ノ程度ニシテ置キマスガ、若シ此ノ繭ノ價格ノ決定ニ付テ、餘リニ僅カバカリノ引上ヲシタト云フヤウナコトニナリマスレバ、遺憾ナガラ養蠶ト云フモノガ全然ナクナツテシマフ、生産ト云フモノハ意外ニ激減スルト云フ虞ガ多分ニアリマスカラ、ソレ等ヲ御含ミ下サツテ、然ルベク御配慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、大臣ノ御答ヘニ依レバ、蠶絲委員會ニ依ツテ決定スルト云フコトデアリマスガ、是ハ形式ハサウナツテ居リマスガ、此ノ議案ハ全部農林省ノ手ニ依ツテ作ラレルノデアリマスカラ、農林省ノ手ニ依ツテ繭ノ價格ハ決定サレルモノ、斯ウ云フ風ニ見ルベキダト思フノデアリマス、其ノ意味ニ於テ然ルベク御配慮願ヒタイト思ツテ居リマス
ソレカラ國策會社ガ多ク出來テ居リ、殊ニ農業ニ關スル國策會社ニ對シマシテハ、毎日各位カラ色々ナ質問ガアリマシタ、國策會社ノ中毒ニ罹ツテ、農產方面ニ於テハ困ツテ居ルト云フヤウナ議論ガ非常ニ多カツタノデアリマスガ、又最近ノ新聞デ見マスルト、此ノ製絲業ガ統制サレテ一ツノ統制シタ製造會社ガ出來ルト云フコトニ新聞ニ見エテ居ルノデアリマス、是ハ現在ノ蠶絲業狀況カラ見マスト、當然起ルベキ會

社グラウト考へテ居リマスカラ、此ノ會社ノ起キルコトへ當然デアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、併シドウ云フヤウナ御計畫ニ依ツテ、ドウ云フヤウナ規模ニ於テ此ノ會社ガ作ラレルカト云フコトニ付テノ、御計畫ノ一端ヲ御聽キ致シタイト思フノデアリマス
ソレカラ今一つハ昨日ノ新聞デ見マスト、更ニ横濱、神戸ノ問屋其ノ他ノ人々ガ集マリマシテ、此ノ生絲ヲ販賣スル會社ヲ作ルト云フコトニ決定ヲ致シクト云フ意味ノコトガ新聞ニ出テ居リマスルガ、又此ノ會社ガ茲ニ生レルト云フコトニ相成ルノカドウカ、一ツノ商品ニ付テ五ツモノノ國策會社、若シクハ準國策會社ナルモノガ出テ來ルト云フコトガ、總テ例ニナツテ居リマスルガ、私共ガ考ヘテ見ルト、此ノ國策會社ト云フモノハモツト／＼單純ニ一元化シタラドウカト云フヤウニ考ヘラレルノデアリマス、今日本蠶絲統制會社ガ出来テ居リ、其ノ下ニ副蠶絲ノ會社モ出來テ居ル、更ニ今度ノ蠶絲製造會社ガ生レ、ソレカラ又副蠶絲配給會社ト云フモノガ出来テ居ルト云フ話モ聞イテ居リマスガ、更ニ生絲ノ配給會社デアリマスカ、サウ云フモノモ出來ル、其ノ他ニ蛹ト云フモノニ對スル會社モ出來テ居ル、更ニ一ツノ品物ニ對シテ五ツモ六ツモ會社ヲ作ツテ行クト云フコトハ、養蠶家ノ方カラ言フト、又犠牲ヲ拂ハナケレバナラニ機關ガ一ツ殖エタト一般農民ガ見ル傾向モアルノデアリマスガ、是等二ツノ會社ニ付テノ御方針ヲ御聽キ致シタイト思ヒマス

ナウナ情勢ニアリマスノデ、茲ニ纏マツテ
一ツノ製造會社ヲ立ツテ行カウト云フヤウ
ナ趣旨デ、只今農林省ニ官民合同ノ協議會
ヲ作リマシテ、ソコデドウ云ウ風ナ會社ヲ
作ツテ行ケバ宜イカト云フコトニ付テ計畫
ヲ協議シテ居ルヤウナ次第デアリマス、是
ハ純然タル製造會社デゴザイマシテ、實際
ニ製造ヲシテ行クト云フ意味ノ會社デゴザ
イマス、ソレカラ問屋サンノ方デ販賣會社
ヲ作ルカドウカト云フ御尋ネデゴザイマス
ガ、今ノ絲ノ配給ニ付テ、ヤハリ問屋サン
ガ現在ノ行キ方デ十分配給ノ機能ヲ達スル
カドウカト云フコトニ付キマシテハ、絲ノ
多イ餘ツテ居ル時代ニヘ賣込ト云フ仕事モ
相當アリマシタガ、絲ノ分量ガ減ツテ足リ
ナイ際ニ、是ガ又色々配給ニ不都合ラ來スト
云ツタヤウナ事情ニモアリマスノデ、問屋
ノ機構ノ整備ニ付キマシテモ、業者自體ニ於
キマシテドウヤツタラ宜イカト云フコトヲ
研究致シテ居リマスシ、官廳ノ方面ニ於キ
マシテモ、ドウ云フ風ニ配給ノ機構ヲヤツ
タラ宜イカト云フコトニ付キマシテテ、十
分研究ヲ續ケテ居ルヤウナ次第デゴザイマ
ス、會社ニ仕上ゲルト云ツタヤウナコトニ
ニ付キマシテハ、其處マデ具體的ニ考へテ
居ルヤウナコトハゴザイマセヌ

制事業ヲヤル爲ニ、其ノ統制ヲシタ爲ニ影響ヲ蒙ル人ヲ救濟スル爲ニ、會社ヲ一ツ作リ、一つ作リシテ行クト云フコトヘ、獨リ蠶絲業ノミナラズ、例へバ農器具ノ配給ニ付キマシテモ、其ノ他類似シタ色々ノモノニ付キマシテモ、非常ニ餘計ナ機關ガ出來テ、ソレガ爲ニ農家ノ負擔ヲ増大スルト云フ例ガ極メテ澤山アルノデアリマスカラ、本問題ニ對シマシテモ、十分一つ其ノ點ヲ御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、又此ノ會社ハ何レモ圓滿ニ出來上ルグラウト想像シテ居リマスルガ、例へバ組合製絲ノ如キモノニ至リマシテモ、是ガ統制サレルト云フヤウナコトガ新聞ナドニハ出テ居リマスルガ、是ハ組合製絲ノ如キモノモ強制シテ加入セシメルト云フコトハ出來得ナイノデアリマスカラ、何レモ任意參加スルト云フヤウナコトニアルノダラウト思ヒマスルガ、是ハ養蠶家ト非常ニ密接ナ關係ガアリマシテ、組合製絲ハ養蠶家ノ共同經營ニ依ツテ成立ツテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ會社ガ出來上リマシタ際ニハ、養蠶家ガ今日爾ノ處理ニ付テ、製絲ヲシテ賣ツテ居ツタ特典ヲ失フコトニナリマスルカラ、大抵ノ養蠶家ハソレガ爲ニ相當不利益ヲ蒙ルヤウナ形ニナルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ心配サレルノデアリマスルガ、ソレ等ニ對シマシテハドウ云フヤウナ御處置ヲ御執リニナリマスルカ

○井上(俊)政府委員 組合製絲ヘノ參加ニ付キマシテヘ、ヤヘリ營業製絲ト同ジヤウニ強制ヲスルト云フコトハ考ヘテ居リマス、唯斯ウ云フ會社ニ入ツテ行ツタ方ガ意味ニノダト云フ點ニ於キマシテ、御協力ヲ願テ成ベク參加ヲ願フヤウニ考ヘテ居リ

○井上(俊)政府委員 組合製絲ヘノ參加ニ付キマシテモ、其ノ他類似シタ色々ノモノニ付キマシテモ、非常ニ餘計ナ機關ガ出來テ、ソレガ爲ニ農家ノ負擔ヲ増大スルト云フ例ガ極メテ澤山アルノデアリマスカラ、本問題ニ對シマシテモ、十分一つ其ノ點ヲ御考慮願ヒタイト思フノデアリマス、又此ノ會社ハ何レモ圓滿ニ出來上ルグラウト想像シテ居リマスルガ、例へバ組合製絲ノ如キモノニ至リマシテモ、是ガ統制サレルト云フヤウナコトガ新聞ナドニハ出テ居リマスルガ、是ハ組合製絲ノ如キモノモ強制シテ加入セシメルト云フコトハ出來得ナイノデアリマスカラ、何レモ任意參加スルト云フヤウナコトニアルノダラウト思ヒマスルガ、是ハ養蠶家ト非常ニ密接ナ關係ガアリマシテ、組合製絲ハ養蠶家ノ共同經營ニ依ツテ成立ツテ居ルノデアリマスルガ、斯ウ云フ會社ガ出來上リマシタ際ニハ、養蠶家ガ今日爾ノ處理ニ付テ、製絲ヲシテ賣ツテ居ツタ特典ヲ失フコトニナリマスルカラ、大抵ノ養蠶家ハソレガ爲ニ相當不利益ヲ蒙ルヤウナ形ニナルノデヤナイカト云フヤウナコトヲ心配サレルノデアリマスルガ、ソレ等ニ對シマシテハドウ云フヤウナ御處置ヲ御執リニナリマスルカ

○山田(六)委員 サウスルトスウ云フコトニ相成リマスカナ、今度ノ會社ヲ作リマスルニハ、ヤハリ現在ノ製絲家ガ悉ク出資者ニナリマシテ會社ヲ作ル、是マデノ蠶絲業ニ關スル會社ヲ作リマスルニベ、全養蠶家ガ其ノ出資ヲ擔當致シタノデアリマスルガ、今度ノ製絲會社ニ對シマシテハ全養蠶家ニ出資ハ要求ヲ致サズ、現在ノ製絲家ノ範圍内ニ於テヤルコトニナリマスカ

○井上(俊)政府委員 現在ノ製絲家及ビ組合製絲ノ方ニ依ツテ新シイ製造會社ヲ作ル、斯ウ云フコトニナリマス

○山田(六)委員 尚ホ本問題ニ付キマシテハ質問ヲ少シ保留シテ置キタイト思フノデアリマス、第二ノ指導員問題、是ハ大臣ノオイデニナツタ場合ニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○井上(俊)政府委員 只今御質問ノ事情ハ能ク承知致シテ居リマセヌノデ、取調ベマシテ若シ御答ヘスルヤウナ機會ガアリマシタラ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○山田(六)委員 今大臣ガ御見エニナリマシタカラ、先刻御聽キ致シタノデアリマスルガ、大臣ニ御聽キ致シタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマシタ食糧問題ノ統計ニ關スルコトデアリマスガ、私共ノ考ヘヲ以テスレバ、本年ノ氣候カラ言ツテ、本年ノ稻ノ出来カラ言ツテ、兎ニ角三千二百幾スト云フ田地ニ植付ケテ置クノデアリマスルシ、其ノ外ニ百万石以上ノ陸稻ガ穫レル筈ニアリマスルカラ、ソレ等ヲ考ヘテ見ルト、假令一部分ニ水害等ハアツタトシマシテモ、現在發表サレテ居ルヤウナ六千七百三十何万石トカ、ソンナ數字ヨリモツト多イト云フヤウニドウシテモ考ヘラレル、私共ノ方ノ實收カラ考ヘマシテモドウシテモ多クナクテハナラス、各地ノ米作ヲ見テモ

那ノ蠶絲業ト日本ノ蠶絲業トノ調節ヲ圖リ、是ガ統制ノ任ニ當ツテ居リマシタ、華中蠶絲ガ、全然國民政府ノ手ニ移ルト云フコトニ付キマシテハ、ヤハリ此ノ出來上ル製造會社ニ參加ヲスルト云フコトニナツテ、其ノ利益ノ還元ヲ見ルコトニナルト考ヘテ居ルヤウナ次第アリマス

○山田(六)委員 サウスルトスウ云フコトニ相成リマスカナ、今度ノ會社ヲ作リマスルニハ、ヤハリ現在ノ製絲家ガ悉ク出資者ニナリマスルト、此ノ日本ノ蠶絲業ト支那ノ蠶絲業トノ關係ガドウ云フコトニナツテ行キマセウカ、今日マデ此ノ兩國ニ於ケル蠶絲業ハ華中蠶絲ガアリシ爲ニ調節ガウマク行ツテ居ツタノデアリマスルガ、ソレガ出来得ナイト云フヤウナコトニナリマスト、其ノ結果ガドウ云フコトニナリマセウカ、其ノ點一寸御聽キシタイト思フノデアリマス

○井上(俊)政府委員 只今御質問ノ事情ハ能ク承知致シテ居リマセヌノデ、取調ベマシテ若シ御答ヘスルヤウナ機會ガアリマシタラ御答ヘ致シタイト思ヒマス

○山田(六)委員 今大臣ガ御見エニナリマシタカラ、先刻御聽キ致シタノデアリマスルガ、大臣ニ御聽キ致シタ方ガ宜カラウト云フコトデアリマシタ食糧問題ノ統計ニ關スルコトデ私ハ此ノ間中各地ニ農家ノ人ニ集ツテは働クコトガ出來ナクナツテシマウ、斯ウ云フヤウナ話ヲチヨイノ聞クノデアリマスガ、ソレハ尤モナ説明デアリマセウ、ソコデ私ハ此ノ間中各地ニ農家ノ人ニ集ツテ貴ヒマシテ、所謂保有米ノ中カラ一割以上ノ米ヲ供出シテ貯藏スルコトノ協議會ヲ開ケテ歩イタ、ソコデ能ク其ノ話ガ出ルノデアリマス、本年ノ割當テタ米ト云フモノガ非常ニ多イ、是ハ私共想像シテ居ナカツタ程非常ニ多イノデアリマス、私共ノ縣等デハ二百三十萬石ノ收穫ニ對シテ、百六十萬石モ貯藏供出サセテ居リマスルカラ、殘ルモノハヨク少イ、併シモツト供出スル餘裕ガアルノデナイカト云フヤウニ想像モサレル節ガアルモノデアリマスカラ、是非トモ供出シロト云フコトヲ頻リニ聞カセマスト、出來ルダケ供出スル、アナタノスル餘裕ガアルノデナイカト云フヤウニ想像モサレル節ガアルモノデアリマスカラ、

生産統計ガ少ナイヤウデアルト云フ話ヲスルト、今ノ食糧ノ規正カラ到底正直ナモノ

は出セナ、斯ウ云フコトデアリマスルガ、
是ハ今後ノ日本ノ食糧政策ヲ樹立スル上ニ
於テ、獨リ米ニ限ラズ、總テノモノハサウ
云フ傾向ガ極メテアルノデアリマスルガ、
加減スル、實際ニ要ルモノハ要ルトシテ計
算シテ、成ベク實際ニ近イ統計ヲ御取リニナ
ルコトガ、今後ノ食糧政策樹立ノ上ニ最モ
必要デナイカト云フヤウニ考ヘラレルモノ
デアリマスカラ、其ノ點ニ付テノ御所見ヲ
拜聽致シタインデアリマス

○井野國務大臣 農林統計、殊ニ米ノ生産
統計ニ付キマシテハ、其ノ正確ヲ期シマス
コトガ最モ大切デアリ、農林省トシマシテ
モ色々規則ノ改正等モ致シ、其ノ點ニ付テ
ハ考慮シテ參ツテ居リマス、段々ト正確性
ヲ得テ來テ居リマシテ、此ノ統計ニ依リマ
シテ、今日米ノ管理ナリ米ノ配給ヲ致シテ
居リマシテ、大體一年ノ需給關係ニ於テ其
ノ誤リナキヲ期シテ居リマスカラ、其ノ意
味ニ於キマシテハ此ノ程度ノ統計ヲ以テ、
満足スルヨリ仕方ガナイト考ヘテ居リマス、
唯今御話ノヤウニ農家ノ自家保有米ガ少イ
カラ、統計ノ上ニ狂ヒガ來ルト云フ御話デ
アリマスガ、第一回收穫豫想ト第二回收穫
豫想ハ、是ハ農家ノ申告ニナツテ居リマセ
ヌ、是ハ町村ニ於ケル統計員ガ、大體ノ其
ノ町村竝ニ部落内ノ生産事情ヲ見マンシテ、
ソレニ基イテ町村長ガ報告スルコトニナツ
テ居リマス、隨テ或ハ各町村長或ハ統計員
ガ、村ノ爲ニ成ベク米ヲ多ク殘シタ方ガ宜
イト云フヤウナ氣持カラ嘘偽ノ申告ヲズレ
バ、ソレハサウ云フコトハアリマスケレド
モ、併シ今日デハ前年度ノ收穫トノ割合、
色々ナ點カラ勘案サレマスカラ、サウ云ツ

ト云フ事態ニナツテ居ルノデアリマス、農家ノ申告デアリマスト、是ハ今ノ御話ノ點モ多少アリマスガ、第一回、第二回ノ收穫豫想ハサウナツテ居リマス、唯實收ハ農家ノ申告ニナツテ居リマスカラ、是ハ能ク指導ヲ致シマシテ、サウ云ツタ爲ニ申告ヲ隱サナイヤウニ、十分ニ指導ニ依ツテ適正ヲ期シテ參リタイト思ツテ居リマス、現在段段實收ガ集マツテ來テ居リマスガ、比較的正確ナル數字ガ來テ居ルモノト考ヘテ居リマス、然フバ今御話ノヤウニ農家ノ自家保有米ヲモツト多クシテハドウカト云フ御意見、是ハ生産ニ從事シテ居リマス者ノ爲ヲ考ヘマスレバ、多イ方ガ結構カモ知レマセヌ、併シ今日ノ國家ノ要請ト云フモノハ、唯生産者ダケガ十分ニ食ベルト云フ譯ニハ行カナイノデアリマス、總テノ者ガ成ベク平等ナル消費ヲ致シテ行クコトガ適當デアリマス、今日農家ニ認メテ居リマスル自家保有米ト云フモノハ、サウ云フ點ヲ考慮ニ入レマシテ、相當ニ各方面カラ検討ヲ加ヘテ定メタ數デアリマス、先ヅアノ數ヲ以テ農村トシテハ満足シテ貰ヒ、サウシテ今日ハ農村ハ單ナル米食ダケデナシニ、他ノ芋ナリ雜穀ナリヲ混食スルコトニ依ツテ、アノ消費量モ一層節約シテ貰ヒタイト云フコトヲ、國家トシテハ要請シテ居ル譯デアリマス

ガアツタト云フ例ハ、今日マデナイ、統計
ダケヲ見ルト、必ズ百分ノ一位、極メテ少
數ノ差が出テ居ルヤウデアリマス、斯ウ云
フヤウナ統計表ガ出来ルト云フコト自體ガ、
既ニ統計ト云フモノニ對シテ色々ナ作爲ガ
行ハレテ居ルト云フ風ニ思フノデアリマス、
是ハ惡意デモ何デモナイト思ヒマスガ、斯
ウ云フ習慣ニナツテ居ルノデナイカト思フ
位、統計ノ變化ガ決マツテ居ル、此ノ邊ハ
生キタ統計ニシテ、實際ノ收穫ヲ明ラサマ
ニ出シ、ソレニ對シテ餘リニ無理ナ規制ヲ
シナイ、農家ニバカリ多クヲ食ベサセルコ
トハイケナイ、是ハ御尤モデアリマス、御尤
モデアリマスケレドモ、ソコニ餘程實際ニ近
イ消費量ヲ決メルト云フヤウナコトガ、却
テ農家ヲ本當ニ眞面目ニセシムルコトガ
出來ルノデアルノデハナイカ、私共ハ農家
ニ米ヲ多ク置クコトハ、食糧政策ノ上ニ非
常ニ害毒ヲ流ス、斯ウ思フモノデアリマス、
中ニハ米ヲ非常ニ闇値デ賣ルコトヲ考ヘテ
見タリ、或ヘ横流シヲスルコトヲ考ヘテ見
タリ、色々ナコトヲスルコトニナリマスカ
ラ、出來タ米ノ全部ヲ、食糧米ヲ殘シタ以
外ハ、モウ急イデ供出シ得ルヤウニスル、
是ガ最モ確實ニ行クト云フ風ニ考ヘテ居
ノデアリマス、其ノ意味ニ於キマシテドウ
シテモソレニハ或ル程度餘裕ヲ付ケテ、農
家ニ食糧ヲ保有セシメルト云フ必要ガアル
ノデナイカト思フノデアリマス、斯ウ云フ
意味デ申上ダタノデアリマス

員ト云フモノハ最近極メテ充實シマシテ、又政府ニ於キマシテモ十二分ノ助成モ與ヘテアリマスガ、先達テニ、三ノ方カラ此ノ問題ニ付テ質問ガアツタノデアリマス、其ノ質問ノ際ニハドウモ要領ヲ得ナイト思ツテ聞イテ居ツタノデアリマスガ、最近指導員問題ニ對シテハ、或ハ製絲家方面ニ於テ、或ハ統制會社方面ニ於テ、此ノ指導員ヲ何處ニ歸屬セシメヨウカト云フヤウナ意見ガ、他ノ團體ニ屬スル所ノ指導員ト、養蠶業ニ關スル所ノ指導員トハ、何レモ同ジ性質ノモノデアリマスカラ、是マデ通り、若シクハ是マデ以上ニ更ニ指導ノ充實ヲ圖ル、サウシテ豫定ノ數量ヲ產出セシムルト云フ必要ガアルカラ、此ノ養蠶業指導員ニ對シテ別ナ計畫ヲ立テルト云フヤウナコトハ、全然ナカラウト思ヒマスガ、先達テ以來質問モアリマシタカラ、更ニ重ネテ御聽キ致シタイノデアリマス、指導員ニ對シマシテハ長イ間大分論議サレタ問題ニアリマス、所謂特約製絲、特約組合ト云フコトガ、長ク養蠶家ト製絲家トノ間ニ結バレテ居ルノデアリマスガ、此ノ長イ間ノ特約ノ結果ハ、今日マデノ日本ノ蠶絲業ハ、特約製絲ノ品質ノ改善ニ於キマシテモ、特約製絲ノ努力ト云フモノハ、蠶絲業ニ對シテ非常ナル貢獻ガアツタモノト、斯ウ云フ風ニ私共ハ固ク信ジテ居リマスガ、又同時ニ弊害モ多カ

製絲ニ於ケル所ノ指導員ニ對スル弊害ノ如キモノハ、養蠶家ノ利害ヲ第二次ニシテ、ト云フコトモ一ツデアリマス、ソレカラ甚ダシキニ至リマシテハ、製絲所ニ於テ指導員ヲ集メテ、繭ノ受渡、看貰ニ對スル講習會ヲ開イテ居ル、是ハ到ル所デ事實デアリマス、サウシテ養蠶家カラ受取ツテ來タ繭ヲ製絲工場ニ渡ス際ニ、目方ノ増ス者ニ對シテハ年末賞與其ノ他ノ額ガ非常ニ多イノデアリマスガ、若シ此ノ貲數ガ減リマス際ニハ、其ノ指導員ニ對スル責任トシテ、損失ハ負擔シナケレバナラヌト云フヤウナコトハ、各大製絲家ガ今日マデ行ツテ居ツタ事實デアリマス、養蠶家カラ受取ツタ繭ノ目方ヲ殖ヤシテ、工場ニ渡サナケレバナラヌト云フコトハ、何ヲ意味スルコトデアラウカ、斯ウ云フヤウナコトマデ現在行ハレテ來テ居ルト云フコトハ、弊害ノ最モ大ナルモノノ一ツデアリマスガ、色々ナ弊害ガ餘リニ論議サレタガ爲ニ、ドウシテモ指導員ノ統制ヲ圖ラナケレバナラヌト云フノデ、蠶絲統制法ガ出來マスト同時ニ、養蠶業系統組合ニ指導員ヲ全部歸屬セシマシテ、僅カニ一箇年間ヤツタノデアリマス、一箇年ヤリマンシタ結果ハ、製絲家方面ノ人々ハドウカト云フコトハ、大ナル問題デアリスルガ、私共ハサウ云フ風ニハ考ヘテ居ナイ、今日ノ他ノ一般農產物ト比較シマシテ、餘リニモ養蠶業ガ引合ヘヌト云フノガ最大原因デ、繭ノ收穫ガ減ツタト云フ風ニモ信シテ居

ルノデアリマスガ、一部ノ人々ガサウ云フ
シテ、養蠶系統團體ニ指導員ヲ任セルト云
フコトハ、養蠶家ノ不利益デアルト云フコ
トカラ斯ウ云フ問題ガ上ツテ來タノデヤナ
イカト云フコトニ考ヘラレルノデアリマス
ガ、更ニ最近ニ至リマシテハ、統制會社ニ
指導員ヲ置クコトニシタラドウカト云フヤ
ウナ說モアルコトモ聞イテ居ルノデアリマ
ス、私ハ此ノ問題ニ對シテハ、第一外ノ農
業指導員トモ違ヒマシテ、殊ニ養蠶ノ指導
員ト云フモノハ買人ノ手ニ依ツテ指導セシ
ムベキデナイ、斯ウ云フ風ニ固ク信ジテ居
ルノデアリマス、取別ケ蠶品種ニ對シマシ
テ、今日原々種ハ國家ガ管理シテ居ルカラ
同一ノ品種ガ出來ル筈デアリマスガ、原種
ノ製造ヲ許シテ置ク爲ニ、同名異種ノ品種
ガ非常ニ多クナツテ居ルノデアリマス、ソ
レガ爲ニ蟲質ノ虛弱ナコトハ第一ニ置イテ、
絲質ノ善良ナルモノト云フ工合ニナツテ來
テ、非常ニ養蠶家ガ違蠶ニ苦シニ居ル、殊
ニ昨年ノ如キハ違蠶ニ苦シング年デアリマス
ガ、色々ナ蠶品種ニ付キマシテモ、其ノ他
育蠶ニ付キマシテモ、是マデノ特約組合ニ
ヤツタラドウカト云フ話ニ移ツテ來タモノ
ダラウト思フノデアリマス、併シ原則トシ
テ、ドウシテモ爾ヲ買フトカ、利害ノ關係
アル方面ニ任スベキデナイト私共ハ考ヘテ
居ルノデアリマス、幸ヒ今回此ノ團體ノ統
制ガ實行サレルコトニナツタカラ、此ノ統

制ガ實行サレルコトニナレバ、各團體トノ
廢擦モナクナリ、皆統合一致シテ全農業ノ
爲ニ協力ヲシテ進ミ得ルコトニナリマスカ
ラ、非常ニ結構ナコトト思フノデアリマス
ガ、隨テ指導ノ方針モ、是マデノ農會ニ屬
シテ居ルモノ、或ヘ產業組合ニ屬シテ居ル
モノ、或ヘ畜產組合ニ屬シテ居ルモノ、或
ヘ養蠶組合ニ屬シテ居ルモノ、是等ノ全指
導員モ互ニ融合一致シテ、サウシテ緊密ナ
横ノ連絡ノアル指導ヲナシ得ル、指導ノ完
璧ヲ期スルコトガ出來ルト云フコトニ付テ、
非常ニ私共ハ喜ンデ居ルノデアリマス、併
シ統制會社ニ指導セシメタラドウカト云フ
議論ノ中ニヘ、統制會社ニ於テ三百數十万
圓ノ金ヲ出シテ居ル、ドウセ是ダケノ金ヲ
出スナラバ、一步進ンデ全部ヲ統制會社ガ負
擔シシテ居ル金ト云フノハ、元々養蠶家ノ犠
牲ニ依ツテ出來上ツタ金デアル、斯ウ云フ
風ニノミ考ヘラレル、デアルカラ現在ハ統
制會社ノ所有トシマシテモ、之ヲ養蠶ノ改
善ノ爲ニ統制會社ガ負擔スルコトヘ、當然
過ギル程當然デアツテ、ソレガ爲ニ此ノ指
導ノ事業ヲ統制會社ニ歸屬セシメルト云フ
コトハ、何トシテモ諒解シ難イト云フ風ニ
考ヘテ居ルノデアリマス、是ニ於テ御聽キ
致シタイコトハ、是マデノ通リノ助成ヲ更ニ
今度ノ農業團體ガ出來マスレバ、此ノ農業
團體ニ置クコトヲ御認メ下サルコト、又國
ト致シマシテモ、今日マデノ通リノ助成ヲ更ニ
一步進メテ、他ノ農業ニ從事スル所ノ一般
指導員ト同一ノ待遇ヲ與ヘルト云フコトニ
御願ヒ出來ナイモノカ、サウ云フコトニシ

テ戴キタイ、ソレカラ今日マデ統制會社ニヤツテ居リマシタ補助モ、更ニ一步進メマシテ、養蠶家ニ大ナル負擔ノナイ範圍ニ於テ指導員ヲ置ケルコトニシテ戴キタイ、ソレハ他ノ農業ノ指導員ガ、今日マデ非常ニ樂ナ負擔ニ依ツテ十二分ニ指導員ヲ置イテ居ルノト同ジ境遇ニ、養蠶業ノ方モ立タシテ戴キタイ、斯ウ云フコトガ一ツデアリマス、現ニ斯ウ云フヤウナコトニナツテ居リマス、今日農會ノ負擔金ハ、約一反歩ニ付テ十錢内外ノ反別割ヲ受ケテ居ルト思ヒマス、養蠶ノ方ハドウデアルカト言ヒマスト、全國平均シテ一反歩ノ收繭量ガ十五貫目程ニナツテ居リマスカラ、平均一貫目十五錢位ノ經費ヲ負擔シテ居リマスルカラ、一反歩ガ二圓ヲ突破スルコトニナリマス、養蠶家ノ負擔ハ二圓ヲ突破シ、農會ノ負擔ハ十錢内外デアルト云フヤウナ、サウ云フ均衡ヲ得ナイ負擔ヲシテ居ルヤウナ現在デアリマスカラ、此ノ養蠶方面ニ對シテ要スル指導員ノ設置費用ニ對シマシテハ、特段ノ御考慮ヲ御願ヒヲ致サナケレバ相成ラヌ、斯ウ云フ風ニ私共ハ信ジテ居ルノデアリマスガ、是等ニ對シテノ御所見ヲ御聽キ致シタイノデアリマス

○井野國務大臣

養蠶指導員方從來自由經

○井野國務大臣 養蠶指導員が從來自由經濟時代ニ、或ハ製絲家ガ之ヲ使ヒ、又其ノ爲ニ色々ノ弊害ガアツタ云フコトモ聞イテ居リマス、所謂統制經濟ニ入ツテ蠶絲統制會社ト云フモノガ出來マシテ、既ニ今日ニ於テヘ製絲家トシテハ、單ニ養蠶家カラ蠶絲統制會社ガ買ヒミシタ蘭ヲ買受ケテ製絲加工ヲスルト云フニ過ギナインデアリマスカラ、從前トヘ餘程趣キガ違ツテ來テ居リマス、隨テ養蠶指導員ヲ何處ニ置クカト云

フコトハ、今日デハサウ大キナ問題デハナ
イ、結局養蠶指導員トシテノ待遇モ十分ニ
出来ルシ、其ノ數モ相當確保出来ル經費ヲ
持チ得ルモノガ之ヲ持ツト云フコトガ、理
論上ニ於テハ私ハ一番正シイト思フノデア
リマス、其ノ人々ヲ養フコトモ出來ズシテ、
唯事業ダケヤルト云フ行キ方ヘ、餘り面白
クナイト思ツテ居リマスガ、併シ今年ノ問
題トシテ之ヲドウスルカト云フコトニナリ
マスレバ、色々沿革モアリ、又色々ノ事情
モアルヤウデアリマスカラ、政府トシテモ
十分考慮シテ適當ニ善處シテ參リタイト考
ヘテ居リマス

全國ノ現在ヤツテ居ル農會ニ於ケル所ノ指導員ノ如キモノモ、是ハ農會員ガ指導員ノ奉給ヲ拂ヘナイ爲ニ國家ガ補助シテ居ルノデアル、斯ウ云フ風ニ見ルベキガドウカト云フノデアリマス、私ハソンナ風ニハ考ヘテ居ナイ、總テ農產物ガ國家ノ重要ナル產業トシテ、國ガソレヲ何處マデモ助成シテヤラナケレバナラヌ、所謂國政ニ即應スル意味ニ於テ、全國民ヲ勵カセルノデアルカラ、ソレノ指導ニ國家ガ力ヲ入レルコトハ當然デアルト云フ見地ノ上カラ、指導員ニ對スル助成等ハナスベキデヘナイカト云フ風ニ考ヘラレルノデアリマス、併シ鬼ニ角本年ハ是マデト同ジ行キ方ヲスルト云フコトデアリマスガ、今ノ負擔ノ問題ニ付キマシテモ、私共ハ非常ナ心配ヲシテ居ルノハ、シテ居ル金ト云フモノハ、養蠶ノ方ノ負擔金額ト、一般農業ノ負擔金額ト云フモノハ非常ニ違ヒマスカラ、此ノ違ツタ團體ガ統合サレタ際ニ、經濟上ノ色々ナ問題ガ起キルノデハナイカト云フコトモ、非常ニ心配シテ居ルノデアリマス、是等ヘドノ程度マデ共通シテヤツテ行ケルカト云フコトニ付テモ、ドウモ中々實行上ムヅカシイ問題ガ起キルノデハナイカ、斯ウ云フヤウナコトヲ心配シテ居ルノデアリマス、ソレ等モ御配慮ノ中ニ御入レ下サマイシテ、此ノ指導員ノ給料等ニ付キマシテ、吾々ノ要求スルヤウナ繭ノ値段ガ出来上リマスレバ、指導員問題モ、蠶絲問題モ殆ド解消シテシマフ、議論ヲスルノモ、繭ノ値段ガ如何ニモ今日ノ所デハ安イ、斯ウ云フヤウナ値段デハ

到底生産へヤツテ行ケナイト云フヤウナ状況ニナツテ居ルガ爲ニ、色々サウ云フ議論ガ出ルノデアリマシテ、繭ノ値段ノ相當ニ引上げ得ルト云フコトニナリマスレバ、是等ノ點ハ悉ク解消シテシマフ問題ダ、斯ウ思フノデアリマス、先刻モ繭ノ値段ノコトニ付テ一言局長サンニ御尋ネ致シタノデアリマスガ、繭ノ値段ニ對シマシテハ、全國ノ生産費ノ調査ガ近キ將來ニ出來ルカラ、ソレガ出來マスレバ能ク調査ヲ致シテ、蠶絲統制委員會ニ依ツテ決定ヲスル、其ノ際ニハ其ノ生産費ガ相當高イト云フコトニナツテ居レバ、隨テ繭ノ値段ヲ引上ゲルノダト云フヤウナ意味ノ御答辯ニ是マデ何度モ接シテ居ツタノデアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテモ、今日全國カラ集マツテ來ル生産費調査ト云フモノハ、農林省ノ色々ノ定規ノ下ニ作ラレテ居ルノデアリマスカラ、實際ヨリモ或ハ安ク出來テ居ルノグラウト想像サレル節モアリマスガ、如何ニ安ク出來マシテモ、今日ノ公定價格ヨリハ十掛ヤ十五掛ハ確カニ高クナツテ居ルノダト思フノデアリマス、萬々一サウ云フコトデナカツタシリタナラバ、經濟界ノ狀況ヲ斟酌シテ、是等ヲ加ヘテ繭ノ價格ニ付テノ問題ヲ然ルベク御決定ヲ願フ、而シテ其ノ決定ガ高ケレバ相成ツテ居ル筈アリマスカラ、出來得ルダケ今日ノ農村ノ情勢ヲ御考慮下サイマシテ、此ノ繭ノ價格ニ付テノ問題ヲ然ルベク無料配付問題等モ一切ガ解決サレテ行ク、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ皆連繫シテ居ル問題デアリマズカラ、ソレヲ御含ミ置キヲ願ツテ、然ルベク善處シテ御決定ヲ願フ、而シテ其ノ決定ガ高ケレバ戴キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ置キマ

○高橋(熊)委員 今ノ山田君ノ指導員ノ問題ニ限ツテ質問シマス、今ノ大臣ノ御答辯ノ中ニ、私ノ聞キ違ヒカモ知レマセヌガ、カラト云フヤウナ考へモ考へ得ラレル、ト云フヤウナ御話ガアツタヤウデアリマス、統制會社ガ三百數十万圓ノ寄附ヲ致シテ居ル、サウンシテ系統產業ノ養蠶團體ノモノハソレダケノ支出能力ガナイ、他ノ寄附ヲ仰イデ援助ヲ受ケテヤツテ居ルモノデアルカラ、其ノ寄附ヲ出シテ居ル方面ニ指導員ヲ歸屬セシメルコトモ一つノ方法グラウト云フヤウニ取ラレルト、是ヘトンデモナイ大間違ヒデアル、ソレハ經緯ハ御忘レニナツタノカモ知レナイノデアリマスガ、是ハ全國養蠶業組合聯合會ノ總會ノ席上デ、養蠶者ガ自ラ一貫目ニ付テ十五錢、約一千五百萬圓ノ支出ヲ致シテ、相當ニ指導員ノ優遇ヲ圖リ、又指導員ノ必要量ダケ設置スルト云フ方法ヲ立テタノデアリマス、當時其ノ席上ニヘ蠶絲局長モ居ラレテ、大體同意サレタルヤウナ御言說ガアツタノデアリマス、蠶絲局トシテハ之ヲ承認サレテ居ツタ、ソレガ省議ニ掛ツタ時分ニハ、米作ノ方デモ米ノ價格ニ持ツテ行ツテ、一定ノ割合ヲ釀出スルヤウナ方法ヲ執ルト云フコトヲ農會ノ方ニ提案シテ來ルト、是ハ大キナ問題ニナルト云フヤウナ横槍ガ入ツテ、其ノコトヲ決議シテモ農林省ハ許可ハ出來ナイト云フ工合ニ模様ガ變ツタト私共ハ考ヘテ居リマス、私共ハ其ノ手數料ノ一部分ヲ割イ

是ハ要スルニ養蠶家ノ負擔、ソレヲテ居ルト
何等異ラナイト思フ、統制會社ガ自分デ作
リ出シタ金デ以テ、別ノモノニ寄附シテ居
ルノデハナイ、養蠶家ノ繭ノ代金ノ中ニ當
然入ルベキモノデアル、ソレヲ手數料トシ
テ製絲家ニ高ク賣ツテ居ル、ソレデスカラ
製絲家ニソレダケ安く渡セバ製絲家ノ利得
ニナルシ、繭ヲソレダケ吾々ノ所ヘ高ク買
ヘバ、養蠶家ノ利得ニナルベキ幾ラカノ金
デアル、ソレデスカラ是ハ當然養蠶家ノ負
擔デヤツテ居ルノダ、唯統制會社ノ手ヲ經
テ戾シテ貰フダケノ話ダト私共ハ考ヘテ居
ルノデスカラ、若シ統制會社ノ支出スル經
費ヲ負擔シ得ル者ガ當然此ノ指導者ヲ歸屬
セシメル權利モアルダラウ、ソレモ亦合理
的グラウト云フヤウナ御考ヘトスレバ、是
ハ御訂正ヲ願ツテ置キタイト思ヒスマシ、又
製絲家モ自分ノ利潤ノ中カラ金ヲ支拂ツテ居
ルノデハナイノアリマス、各方面ノ農會ニ
二錢五厘トカ、或ハ三錢五厘トカ云フヤウ
ナ、一貫目當リノ金ヲ系統團體ニ支出シテ
居リマス、寄附シテ居リマス、此ノ金モ大
多數ノ製絲家ハ繭代金ノ支拂ノ時分ニ、繭
代金カラ一貫目幾ラト云フヤウニ差引イテ
居リマス、是ハ全國養蠶家ノ負擔ナノデ
ス、サウ云フヤウナコトデスカラ、之ヲ
合理的ニ今度ノ新團體ニ於テ負擔シ得ルヤ
ウナコトニシナケレバナラヌ、殊ニ新シク
問題化セントスルノハ、新團體ニ於キマシ
テ一般農事上ノ殊ニ米作等ノ關係ノ指導員、
技術員ト、養蠶團體ノ技術員ト、同資格ノ者
合聯合會ノ總會ノ開イテ、其ノ席デ問題ニナ

ツタノデスガ——是ハ山形縣ノ例デスガ、全
國的ナ標準ニ用ヒテモ宜カラウト思フノデ
ス、ソレハ山形縣ノ指導員ノ俸給、之ニ旅
費ヲ加ヘ、又家族手當等モ加ヘマシテ、ソ
レデ一年間平均一人ニ對シテ九百五十二圓
ニナツテ居ル、月ニスルト七十二圓ニナル、俸
給ダケデハ一箇月五十二圓平均デアリマス、
一年ニ致シマスト俸給ハ六百二十九圓ニシ
カナラナイ、之ニ對シテ縣農會ガ技術員ニ
支拂ツテ居リマス平均ハ、一千二百圓ニナ
ツテ居ル、一方ニ農會ノ方ノ技術員ニ支拂
ツテ居ル俸給旅費等ハ平均一人ガ千二百圓
デアルニモ拘ラズ、片方ハ千圓ニモ達シナ
イ九百五十二圓デアリマス、而シテ此ノ養
蠶技術員ノ平均年齢ハ幾ラカト言ヒマスト、
山形縣デハ四十一歳ニナツテ居ル、是ガ平
均年齡デス、四十一歳ノ平均年齡ノ者ガ月
俸五十二圓デス、コソナコトデ満足ニ働く
コトガ出來ルト御恩ヒニナリマスカ、斯ウ
云フコトデアリマスカラ、經費ノ出口ト云
モノヲモソツトハウキリシナケレバナラナ
イ、是ガ新團體ノ一番初メニ逢着スル問題
デヘナインカト思フ、是等ニ付テモ相當御考
へ置キヲ願ヒタイト思ヒマス、別ニ此ノ場
合御答辯ハ要リマセヌ

モ思ヒ遣ラレルヤウナ氣持ガ致スノデアリ
セヌガ、左様ニ思ヘレルノデアリマスガ、
此際農林大臣ニ對シテ特ニ御伺ヒ致シタイ
ト思ヒマスコトヘ、是マデノヤウニ米麥重點
主義デ肥料ハ米麥十點、桑其ノ他ノ作物八
點ト云フヤウナコトデ將來オヤリニナルト
云フコトデアレバ如何ニ蘭ノ減產防止ヲ喧
シク仰セラレテモ、ソレヘ結局出來ナイ相談
デアルト思ヒマスカラ其ノ重點主義ヲ改メラ
レテ米麥、桑、馬鈴薯、薩摩芋ト云フヤウ
ナ所謂重要農產物ニ對シテハ、之ヲ平等ニ
即チ肥料ノ配給ヲ公平ニ分配セヤウト云フ
御考ヘガナイカト云フコトヲ此ノ際御伺ヒ
致シタインデアリマス、ソレカラ指導員ノ
問題デアリマスガ、是ハ今高橋委員ガ御述
ベニナリマシタノデモウ十分デアリマスガ、
唯此ノ際私ハ一ツ附加ヘテ御意見ノアル所
ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマスコトヘ、指導
員ノ俸給其ノ他ノ費用ト云フモノガ、ドウ
モ色々ナ方面カラ出テ居ルト云フ關係デア
ル爲メカ、ソレハ能ク私ニ分りマセヌガ、
養蠶指導員ノ多クガ市町村等ニ居マシテモ、
養蠶指導ノ爲ニ專心働くコトガ出來ズ、町
村ノ普通事務ニ追ヒ廻ハサレテ居ル者ガ中
中ニ多イノデアリマス、斯様ナコトハ色々
費用ノ關係カラ來テ居ルコトト思ヒマスガ、
産繭額ノ増強ヲ圖ラナケレバナラナイ今
日、——勿論將來モサウデナケレバナラナ
イト思ヒマスガ、寧口是等ノ產業戰線ノ第
一線ニ立ツテ働くカレル產業戰士諸君ノ爲
ニ、其ノ費用ヲ國庫若シクハ縣費ト云フコ
トニ改メラレ特別ノ優遇法ヲ講ゼラレテ、
本當ニアノ人達が其ノ繭絲ノ爲メ即チ指導
ノ爲ニ命懸ケデ働くヤウニシテヤラウト云

フ御考へハナイカ、ココマデ政府が考へラ
レナケレバ、本當ニ生産力ノ增强ハ難シイ
ト思ヒマスガ、之ニ對スル御意見ヲ御伺ヒ
致シタイト思ヒマス
尙ホ第三ニ伺ヒタインハ、去六日ニ全國
ノ主ナル製絲業者又ハ其關係者ヲ大東亞會
館へ御集メニナリマシテ統合致シタ大會社
ヲ設立セラルコトニシタト云フ記事ガ新
聞紙上ニ現ハレテ居リ、又此ノ間ノ私ノ質
問ニ對スル農相ノ御答辯中ニモアツタノデ
アリマスガ、要スルニ是ヘ工場ノ電力ヤ燃
料等ノ關係カラ勢ヒサウ云フ所ヘ行クト云
フコトモ無理カラザルコトト思フノデアリ
マスガ、此ノ際私ハ左様ナコトモ一ツノ行
キ方デアリ方法デアルカモ知レナイト思ヒ
マスケレドモ、併シ其ノヤリ方如何ニ依ツ
テハ、角ヲ矯メテ牛ヲ殺スヤウナコトニナ
ラストモ限ラスト云フコトヲ深ク氣遣フノ
デアリマス、蠶絲局長ノ話デハ、マダ具體
的ノコトハ決マツテ居ラスト云フコトデア
リマスカラ、之ニ對シテ今彼此レ批評ガマ
シイコトヲ申上ゲル時期デハナイカモ知レマ
セヌカラ、此ノ問題ヘ十分ニ御考ヘラ願フコ
トニシズ、只一言此ノ際御伺ヒ申シタイト思
フコトハ、自家用座繰製絲ノコトデアリマ
ス、即チ機械製絲ノ發達致シマシタ其ノ以前ニ
行ハレテ居タ、アノ自家用座繰製絲ヲ獎勵
スル時代ガ再ビ來タノデハナイカト考ヘル
ノデアリマス、ト云フノハ、今日ハ生絲ノ大
部分ハ國用絲ニ變ツテ來テ、隨テ絲質ノ良
否ト云フコトヨリモ、量ノ多少ト云フコトノ
方ガ大切ニナツテ來タノデアリマス、殊ニ電
力ヤ燃料、工男女等、其ノ他色々ノ關係
カラシテ工場ノ經營ガ頗ル困難トナリ、機械
製絲ノ運轉ト云フコトガ、事實ニ於テ甚ダ六

ケ敷クナツテ來て居ルノデアリマスカラ、寧直ニ絲ニ繰ツテ之ヲ賣ルト云フヤウニスルコトガ、纖維資源ノ關係カラ考ヘテモ、又昨今ノ國情カラ考ヘテモ、製絲家ノ實情カラ考ヘテモ、今日最モ適切ナヤリ方デアルヤウニ考ヘマスガ、之ニ付テ農相ノ御考ヘハ如何デアリマスカ、以上ノ三點ニ付テ御答辯ヲ戴キタイト思ヒマス

○井野國務大臣 肥料ノ問題ニ付キマシテハ、今日御承知ノ通りノ事情デ、十分デナイ肥料ヲ國家ノ要請シマスル農產物ニ配給シナケレバナラヌト云フコトニナツテ來マスト、勢ヒ重點配給モ是ハ已ムヲ得ナイ、勿論總テノ產業ハ今日戰力增强ノ上カラ大切デアリマスガ、其ノ中デモ國家トシテ重點的ナモノヲ選ンデ、ソレ等ノ處置ヲ致シテ居リマスノモ、ヤハリソレニ基イテ居ルノデアリマスカラ、農林省關係ノ仕事ニ於キマシテモ、大事ナモノニモ自ラ差ガアリマス、隨テ其ノ差ニ從ツテノ重點配給ヲ致シテ參リマスコトハ、今後モ肥料事情ガ變リマセヌ限りハ、ヤハリサウ云フ點ハ其ノ方針デ進シテ行クト云フコトヲ御諒承ヲ願ハナケレバナラヌノデアリマス、隨テ一旦サウ云フ風ニ決メマシタ重點配給ヲ他ヘ流スコトハ出來ナイ、如何ニ蠶絲業ガ大事ダト考ヘマシテモ、又ソレニ勝ル食糧ノ重要性ヲ考ヘル時ニ、ヤハリソコニ多少ノ差ノアリマスコトハ、是ハオ互ヒニ覺悟シテ行カナケレバナラヌ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、併シ蠶絲業ガ現在重要ダト云フコトニ付テハ、十分他ノ方面カラ考ヘテ居リマスノデ、肥料ノ問題カラノミ考ヘテ行キタク

ナイト思ツテ居ルノデアリマス、指導員ノ問題ニ付キマシテ、御話ノ通り是ハ出来ルダケ優遇モシ、立派ナ人ヲ置イテ指導サシテ行クコトガ一番宜イト思ヒマス、今日サセルノニハ指導員ト云フモノガ大切ダト云フコトハ能ク分ツテ居リマス、隨テ國家モサウ云フ點ニ鑑ミテ、今マデモ色々ノ助成ヲ致シテ參ツタノデアリマス、併シ業者自體ガ賄ヘルモノハ業者自體ガ之ヲ置イテ行クト云フコトモ、國家財政ノ見地カラ見テ適當デアリマスカラ、其ノ事業々々ノ性質ニ應ジテ、如何ナル所カラ其ノ經費ヲ持チ、サウシテ優遇方法ヲ考ヘテ行クカト云フコトニ付テハ、是ハ具體的の場合ニブツカツテ、何處デドウスルカト云フコトヲ決メテ行クノガ一番宜イト思ツテ居リマス、ソコデ先程金ノ出ル所デ持ツタラドウカト云フコトヲ申上ゲマシタノデ高橋サンカラ色々沿革上ノ御話モアリ、私モ其ノ沿革ハ能ク知ツテ居ル、寧ロ全養聯ニ付テハ私ガ方針ヲ變ヘタノデアリマスカラ、私ニ責任問題ガアルノデアリマシテ、是等ノ點ニ付テハ全養聯トシテノ立場モ私ハ能ク考ヘテ居リマスカラ、今後新農業團體ニナリマシテモ、サウ云フ問題ニ付テハ十分ニ考ヘテ行キタイ、斯ウ云フコトヲ申上ゲテ居ルノデアリマス、是ハ筋ダケ先程申上ガタノデ、其ノ通リスルト申上ゲタノデハナイノデアリマス

大半、殆ドヲ整理シナケレバナラヌ事態ニ
ウ云フ際ニ一ツニナツテ行クノガ宜イデヤ
ナイカト云フ業者ノ氣持カラ此ノ問題ハ發
シテ居ルノデアリマシタ、サウナツテ参ルト、斯
ニテ居ラドウカト云フ御意見デアリマスガ、
戻シタラドウカト云フモニハ、單ニ長纖
維ノ需要ヨリモ、寧ロ短纖維ノ需要ガ多ク
ナツテ參ツタノデアリマス、サウシマスト
座織製絲ハソレニハ尙カナイ、ソコニハ於テ色
色工夫ヲ凝ラシ、機構等モ考ヘナケレバナ
ラヌト云フ譯デアリマスカラ、座織製絲ニ
戻スコトガ必ズシモ此ノ問題ノ解決ニナル
トハ考ヘテ居ラナイノデアリマス
○加藤(知)委員 第二番目ノハ全部座織製
絲ニ戻セト云フ意見デハナインデアリマス
カラ、誤解ガアツテハイケマセヌカラ、其ノ
コトダケ申上ゲテ置キマス

リマスケレドモ、今日ノ農民ガママダソレマ
デニ考ヘガ行ツテ居ラナイト云フコトヘ、
非常ニ悲シムベキコトデアリマス、併シド
ウシテモ價格政策ト云フモノニ一般農民ハ
誘惑サレテ、右往左往ト云フヤウニ迷ツテ
居ルヤウナ状態デ、實ニ一般農民ハ同情ニ
堪ヘナイト思フノデアリマス、ソレノ證據ニ
對シマシテ思ヒヲ致サレルノデアリマスガ、
本年果樹ノ苗ガ、常ノ年ナラバ十錢ガ十五
錢ニ賣ルベキ苗ガ、一圓ト云フ高イ値段デ
飛ンデ賣レテ居ルノデアリマス、殆ド全國
的ニ此ノ果樹苗ト云フモノハ賣切レニナツ
テ、モウナカラウト思ツテ居ル、其ノモノ
ハ今日栽培ヲ禁止シテ居ル品物デアルト云
フコトニ思ヒ當ルト、如何ニ是等ノ人々ガ
價格ト云フモノニ誘惑サレテ右往左往、彷
徨シテ居ルカト云フコトヲ窺フコトガ出来
ルノデアリマスカラ、此ノ點ヲ是非考慮シ
テ戴キタイト云フコトガ一ツト、イマ一ツ
ハ、價格ヲ壓縮シテ戴キタイ、是ハ實ハ全
國ノ果樹園ニ肥料ガ横流レスル爲ニ、食糧
品ノ生産ガ非常ニ阻碍サレテ居ルト云フコ
トハ爭フベカラザル事實デアリマスカラ、
果樹ニ對スル價格ヲ壓縮シテ、サウシテ思
ヒ切ツテ引下ヲ斷行シテ戴キタイト思フノ
デアリマス、其ノ次ニ斷行シテ戴キタイノ
ハ煙草デス、煙草ノ價格ヲ引下グテ戴キタ
イ、是ハ政府自身デ出來ルコトデアリマス
ケル煙草ノ耕作面積ハ四千町歩減ラシタ、
斯ウ云フコトヲ言ツテ居リマスケレドモ、
事實果シテ減ツテ居ルカドウカト云フコト

ヲ、私ハ非常ニ疑問ニ堪へナイ、ソレハド
ウ云フ譯カト言フト、一反歩シカ耕作スル
権利ノナイ者ガ、知ラヌ頻シテ一反ニ畠植
付ケルコトヲ默認スルト云フヤウナコト
モ、今日行ハレルノデハナイカト云フコト
ヲ想像サレルノデアリマス、或ハ五畠歩、
六畠歩ト云フ者ガ、知ラヌ顔シテ一反歩作
ルコトヲ默認スルト云フコトモ行ハレテ居
ルノデハナイカト云フコトモ想像スル、四
等、五等ト云フヤウナ品位ノ煙草モ、之ヲ
三等ト評價スルコトガ普通ノ例ニナツテ居
ルデハナイカト云フコトヲ想像スルノデア
リマス、サウ云フコトヲスルカラ、一反ニ
對シテ三百圓、四百圓、甚ダシキニ至ツテハ
五百圓ト云フヤウナ收穫ヲ擧ゲテ居ル、斯
ウ云フヤウナコトハ食糧増産ノ上ニ非常ナ
害ヲナスモノニアリマス、第一ニ果樹園、
第二ニ煙草、此ノ二ツノ價格ノ引下ヲ此ノ
際斷行スルヤウニ御努力ヲ御願ヒシタイト

○井野國務大臣 產業物ノ價格ニ付キマシ
テ、農民が其ノ引上ヲ要望スルコトハ怪シ
カラストハ私ハ申シマセヌ、是ハ無論農村
自體トシテモ、サウ云フ要望ノアルコトモ
アラウト思ヒマス、併シソレハ今日デハ行
ヒニクヒノダト云フ事情ヲ申上ゲタノデア
リマス、私モ實際苦シシニ昨年ノ議會デハ
丁度米ノ二重價格制度ヲ採ツタノデアリマ
スガ、此ノ點ニ付テハ皆サンカラモ御叱リ
ヲ受ケナイデ、寧ロ生産ノ増強ハ農業團體
ヲ統合シカレバ駄目ダト云フ御叱リヲ受
ケテ、今年ヤツト其ノ統合ヲヤツテ見ル
ト、今度ハソンナモノヨリモ、寧ロ米ノ價

格ダト云フコトニナルノデアリマスカラ、
中々ヤリマス方モ骨ガ折レルノデアリマス、
ソレカラ煙草ノ問題モ是モ大藏省ト能ク
話合ツテ居リマシテ、其ノ面積ヲ殖ヤサヌ
ト云フ方針ハ、大藏省モ堅持シテ吳レテ居リ
マス、偶ニ地方的ニ一部サウ云ツタヤウナコ
トモアツタカモ知レマセヌガ、全國的カラ
見マスルト、四千町歩デアリマシタカ、確
カニ減ラスコトニナツテ居リマシタガ、是
ハ價格問題デドウト云フ問題デナクシテ、
生産統制ノ見地カラ抑ヘテ居リマスカラ、
其ノ爲ニ食糧増産ノ妨ゲニナルト云フコト
ハナイト考ヘテ居リマス
○高橋(熊)委員 今ノ煙草ノ問題デ大臣ニ
聽イテ置キタイノデスガ、煙草ノ方面ハサ
ウ云フコトニナツテ居ルカモ知レヌガ、昨
年ナドハ大分困ツタノデス、山形縣ノ養蠶
地帶デ、町村長ノ目ボシイ者ヲ郡ノ煙草耕
作組合ノ組合長ナドニ推薦致シマシタリナ
ド致シマシテ、專賣局デ非常ニ優遇スルノ
デス、今年ハ煙草ノ耕作者ニ鹽ヤ肥料ノ特
配ナドヲヤツテ居リマス、斯ウ云フコトヲ
以テ非常ニ優遇シテ居ル、先程山田君ノ言
ハ此ノ問題ヲ彼此レ論ジョウトハ思ツテ
居リマセヌ、當局ニサウ云フコトヲ申シマ
シテ、是カラ旨クヤルト言ハレテ居リマス
カラ、相當旨クヤラレルノダラウト信ジテ
居リマス、ケレドモ其ノ困ツタコトハ、是
ハ大臣ニ御注意ヲ願ツテ置キタイコトデス
ガ、例ヘバ除蟲菊ノ問題デ、和歌山縣ダケ
ノ配給、是ハ皆米ノ移出縣デアリマス、奈良
縣ノ足ラヌ縣デスガ、私が今マヂ方々ノ縣
ヲ見テ居リマスノニ、米ガ餘ツテ縣外ニ移出
スル縣ハ、或ル程度マデ當然ナノデセウガ
裕カニ米ヲ食ツテ居リマス、例ヘバ宮城縣ノ
如キハ二合八勺ノ配給、福島縣ハ二合七勺
ノ配給、是ハ皆米ノ移出縣デアリマス、奈良
縣ハ米ノ一パイノノ縣デアリマスガ、奈良
縣ハ二合三勺或ハ二合五勺ソレニ相當スル
素麵ナドヲ配給致シマス、隣ノ和歌山縣ハ
二合デアリマス、移出スル位ノ縣ハ農家ノ
保有米モアル、實ハ保有米以上ニソソナコ
トハナイ筈ダト云ツテモ、農家ハ米ヲ持ツ
テ居ル、ソレガナインデスカラ和歌山縣ハ
一層苦シイ、此ノ意味ニ於キマシテ和歌山縣
ニ於ケル米ノ配給ノ問題ハ深刻デアリマ

併シサウ云フ事情モ能ク伺ツテ置キマシテ、
自分トシテハ其ノ施策ヲ誤ラナイヤウニシ
テ行クコトガ大切ナノデアリマス、是ハ言
ハレル方ハ何ヲ言ハレテモ、ソレハ怪シカ
ラスト云フヤウナ氣持ハ持ツテ居ラヌノデ
アリマス
ソレカラ煙草ノ問題モ是モ大藏省ト能ク
話合ツテ居リマシテ、其ノ面積ヲ殖ヤサヌ
ト云フ方針ハ、大藏省モ堅持シテ吳レテ居リ
マス、偶ニ地方的ニ一部サウ云ツタヤウナコ
トモアツタカモ知レマセヌガ、全國的カラ
見マスルト、四千町歩デアリマシタカ、確
カニ減ラスコトニナツテ居リマシタガ、是
ハ價格問題デドウト云フ問題デナクシテ、
生産統制ノ見地カラ抑ヘテ居リマスカラ、
其ノ爲ニ食糧増産ノ妨ゲニナルト云フコト
ハナイト考ヘテ居リマス
○委員長退席西川委員長代理着席
除蟲菊ノ問題モ非常ニ惱シニ居リマス、ド
ウ云フ風ニ惱シニ居ルカト云ヘバ、是ハ吾
吾カラ言ヘバ、除蟲菊トカ棕梠トカ云フ小
サイモノハ統制ヲナサラヌ方ガ宜カツタデ
ハナイカト云フヤウナ考ヘモアリ、又ヤリ
方ニ付テモ色々申シマスガ、併シ出来タ以
上ハ今日戰時ト致シマシテ、政府ノ御方針
ニ從ツテ附イテ行カナケレバナラヌ、國民
ハ此ノ問題ヲ彼此レ論ジョウトハ思ツテ
居リマセヌ、當局ニサウ云フコトヲ申シマ
シテ、是カラ旨クヤルト言ハレテ居リマス
カラ、相當旨クヤラレルノダラウト信ジテ
居リマス、ケレドモ其ノ困ツタコトハ、是
ハ大臣ニ御注意ヲ願ツテ置キタイコトデス
ガ、例ヘバ除蟲菊ノ問題デ、和歌山縣ダケ
ノ配給、是ハ皆米ノ移出縣デアリマス、奈良
縣ハ米ノ一パイノノ縣デアリマスガ、奈良
縣ハ二合三勺或ハ二合五勺ソレニ相當スル
素麵ナドヲ配給致シマス、隣ノ和歌山縣ハ
二合デアリマス、移出スル位ノ縣ハ農家ノ
保有米モアル、實ハ保有米以上ニソソナコ
トハナイ筈ダト云ツテモ、農家ハ米ヲ持ツ
テ居ル、ソレガナインデスカラ和歌山縣ハ
一層苦シイ、此ノ意味ニ於キマシテ和歌山縣
ニ於ケル米ノ配給ノ問題ハ深刻デアリマ

ブコトハ、私モ了承ヲ致シテ居リマス、ソ
コデ先づ農林大臣ニ御注意ヲ願ヒタイコト
ハ、私ハ和歌山縣デゴザイマス、和歌山縣
ハ平時年々約四十万石米ガ足ラヌ縣デアリ
マス、ソレデ自然蜜柑ノ栽培トカ、或ハ棕
梠ヲ作ツテソレデ棕梠繩ヲ作ル、又除蟲菊
ヲ作ツテ蚊取線香ヲ拵ヘルト云フヤウナ產
業ガ、自然ニ發達ヲ致シテ居ルノデアリマ
ス、ソコデ今度ノ統制ガ旨ク行カヌ結果、
直グ和歌山縣トシテ困ツタ、例ヘバ棕梠ヲ
作ツテソレデ棕梠繩ヲ作ルト云フコトガ殆
ド停止シタヤウニ狀態ニナツテ居ルノデア
リマス
(委員長退席西川委員長代理着席)
除蟲菊ノ問題モ非常ニ惱シニ居リマス、ド
ウ云フ風ニ惱シニ居ルカト云ヘバ、是ハ吾
吾カラ言ヘバ、除蟲菊トカ棕梠トカ云フ小
サイモノハ統制ヲナサラヌ方ガ宜カツタデ
ハナイカト云フヤウナ考ヘモアリ、又ヤリ
方ニ付テモ色々申シマスガ、併シ出来タ以
上ハ今日戰時ト致シマシテ、政府ノ御方針
ニ從ツテ附イテ行カナケレバナラヌ、國民
ハ此ノ問題ヲ彼此レ論ジョウトハ思ツテ
居リマセヌ、當局ニサウ云フコトヲ申シマ
シテ、是カラ旨クヤルト言ハレテ居リマス
カラ、相當旨クヤラレルノダラウト信ジテ
居リマス、ケレドモ其ノ困ツタコトハ、是
ハ大臣ニ御注意ヲ願ツテ置キタイコトデス
ガ、例ヘバ除蟲菊ノ問題デ、和歌山縣ダケ
ノ配給、是ハ皆米ノ移出縣デアリマス、奈良
縣ハ米ノ一パイノノ縣デアリマスガ、奈良
縣ハ二合三勺或ハ二合五勺ソレニ相當スル
素麵ナドヲ配給致シマス、隣ノ和歌山縣ハ
二合デアリマス、移出スル位ノ縣ハ農家ノ
保有米モアル、實ハ保有米以上ニソソナコ
トハナイ筈ダト云ツテモ、農家ハ米ヲ持ツ
テ居ル、ソレガナインデスカラ和歌山縣ハ
一層苦シイ、此ノ意味ニ於キマシテ和歌山縣
ニ於ケル米ノ配給ノ問題ハ深刻デアリマ

○東郷委員長 松山君
○松山委員 戰時國民生活ノ確保ト云フコ
トニ政府ガ非常ニ力ヲ入レテ居ラレルト云
マス

云フ聲ノ餘リ起ラヌヤウニシテ居リマスガ、
米全體ニ付テハ變ラヌノデスカラ、米ニ付
テ困ルノハ同ジデアリマス、政府トシテハ
モツト多ク配給シテヤラウト御考ヘニナツ
テ居ルノデスガ、併シ是モ戰時デ仕方ガナ
イト云フノデ皆我慢シテ居ルノデアリマス、
是ハ和歌山縣ダケデヘナイ、他デモ其ノ事
實ヲ見ルノデスガ、米ノ配給ガ少クテモ我
慢ラシナケレバナラヌガ、是デハ到底足リ
ナイノダ、其ノ結果乳呑兒ヲ持ツテ居ル母
親ノ乳ガ出ヌ、是ハドウモ辛抱ノ仕様ガナ
イ、非常ニ重大ナ問題ダト私ヘ思フ、此ノ
點ヲ一つ能ク御考ヘラ願ヒタイト思フ
〔西川委員長代理退席 委員長着席〕
私ノ家ノ嫁ガ子供ヲ産ミマシテ乳呑兒ガアル
ノデスガ、鯉ヲ手ニ入レマシテ嫁ニ味噌汁ニシテ
食ハセマスト、ズット乳ガ出ル、農林省ハサウ云
フコトモ注意スレバ何トカナルデヤナイカ
ト思ヒマス、所ガ鯉ヲ飼フニハ飼料ガナイ
ガ、田デ鯉ヲ飼フナラバ飼料ヲヤラヌデモ
之ヲ養フコトガ出來ル、私ハ農林省ハ細カ
イコトニ注意ラスレバ、國民生活ノ確保ニ
付キマシテモ、色々サウ云フヤウナコトガ
克服出來ルデヤナカト考ヘテ居リマス、
又木材ノ増産ノ問題ガ非常ニ喧シイ、私ノ
縣デモ非常ニ喧シイ問題デス、所ガ結局色
色方法ヲ講ジテモ宜イカモ知レヌケレドモ、
米ヲ配給シテ吳レナケレバ働ケヌト云フ、
私ノ方デハ三合五勺デアリマス、山間デ働
ク者ニ對スル配給米ガ三合五勺、是ハ六合合
ハ少クトモ要ル、木挽キハ一升飯ヲ食フ、
山稼ギラスル者ハ一升飯ヲ食フコトニナツ
テ居ル、最小限六合ハ食ベル、又ソレヲ食
ハヌヤウナ人間ハ仕事ニハナラナイ、斯ウ

云フノデス、是モ亦少クシヨウト思ツテ知
事ガヤツテ居ルノデヤナシニ、一生懸命ニ
ヤツテ居ルノダケレドモイケナイ、御苦心
ノ所ハ私ハ能ク了解シテ居ル、何レニ致シ
マシテモ米ノ增産ノ問題デアル、政府ガ一
懸命ニヤツテ居ルコトモ是亦申スマデモ
アリマセヌ、増産ハ誰モ皆言フコトデアリ
マスガ、非常ナ問題デアル、何處へ行ツテ
モ言フノガ米價問題デアル、政府ニハ色々
理窟ヲ付ケテ言ハレマスガ、米價問題デア
ル、私ノ郷里デハ斯ウ云フコトヲ百姓ガ皆
言フノデス、何處カラ計算シタカ、誰ニ教
ヘテ貰ウタノカ知レマセヌガ、皆言フノデ
ス、今日ノ世間ノ物價カラ——此ノ一點ハ
一つ大臣ハ能ク聽イテ置イテ戴キタイ、農
民ハサウ云フヤウニ認識シテ居ル、今日ノ
世間ノ物價カラ比較シテ行ケバ、米ノ値段
ハ一石八十圓デアルト言フ、一昨年大政翼
賛會ガ出來タ時分ニ、地方ニ相當ノ人物
ヲ派遣致シマシテ、民情ヲ視察セラレテ、
其ノ報告會ヲ私ハ聽キニ行ツタ、コトガアリ
マス、總理大臣官舍ヘ行ツタ、其ノ時ニ農
村ノ何處へ行ツテモ米價問題ガアルト云フ、
具體的ナ問題トシテ其ノ生産費ヲ計算シテ、
六十八圓ダト云フコトヲ言ウテ居ルト云
フ報告ヲセラレタ人モアル、其ノ時ニ六十
八圓ナラバ、今日ノ世間ノ物價カラ言ウテ、
八十圓ト云フコトハ餘り無理ナモノデハナ
イトモ思ハレルノデアリマス、私ハソコデ
大臣ガ生産費ヲ計算シテ見テ、ソレニ依ツ
テ或ル場合ニ於テハ考ヘモスルト云フヤウ
ナ意味ノ御話ガアツタヤウニ思フノデスガ、
生産費ノ勘定ハ、中々ムヅカシイ問題デア
ル、公定相場ガ斯ウダカラソレナラスウナ
ルベキ筈デアル、或ハ人夫賃ノ公定相場ガ

一圓八十錢ダカラ、一圓八十錢デ計算シタノ
ラ、ソンナコトデハ到底行カナイ、四圓五
圓出サナケレバ田ノ草取デモ、農繁期ノ仕
事モ出来ナイ、公定相場ナンカ言ツテ居ツ
タノデハ、モノニナラナイノデアリマス、闇
相場ガイケナイト云フケレドモ、闇相場デ
ナケレバ食ヘナイ、又是ハ事實行ハレテ居
ルノデアリマス、ソコガ非常ニムヅカシイ
問題デアリマシテ、政府トシテハ闇相場ヲ
公然ト御認定ニナツテ、生産費ノ計算ナド
ハ出來マスマイ、併シソレダカラト云ツテ
公定相場カラ、此ノ生産費ハ斯ウアルベキ
ダト云フコトデハ實際ニ合ハヌ、人民ハソ
レデハ納得シナイ、私ガ茲デ申上ゲタイコ
トハ、農民ハ、八十圓モスルモノダケレド
モ、低物價政策ノ根柢ニナルノダカラ五十
圓デ我慢シロ、斯ウ云フナラ今日我慢スル、
今日中小商工業者ハ先祖代々ノ仕事ヲ奪ハ
レテ、今後ドウナルカト云フヤウナコトデ迷
ウテ居ル人モ澤山アリ、共ニ國民ハ心配シ
テ居ル時デアリマスカラ、ソレハ我慢シロ
ト云フナラ我慢スルノデアリマス、併シ此
ノコトヲ能ク御認識戴キマシテ、今後米穀
増産ノ實際ノ成績ヲ舉ゲルト云フコトヲ御
考ヘニナリマシテ、米價問題ノ如キモ考慮
シテ戴キタイト思フノデゴザイマス、今マ
デ大臣ノ米價ニ對スル御意見ハ、大臣或ハ
政府委員カラ屢々伺ツテ居ル所デアリマシテ、
今改メテ茲ニ御意見御考ヘヲ伺ハナクトモ
宜シイ、此ノコトニ付テノ一つノ認識ヲ持
ツテ戴ケレバソレデ結構デアリマス、ダラ
ダラ話ヲシテモ仕方ガナイノデ、ココデ一
ツ切リマシテ、大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイト
思ヒマス

デ、或ハ全部御答へガシ得ナイカモ知レマ
セヌガ、先ヅ第一ノ除蟲菊若シクハ棕櫚等
ノ統制ノ問題、是ハ今日需要ノ關係カラ申
シマシテ、ドウシテモ或ル程度統制シテ重
點配給シテ行カナケレバナラヌト云フ所ニカ
ラ起ツテ居ルノデアリマシテ、運用ノ上ニ
於テ色々惡イ點ガアリマスレバ、是ハ直シ
テ参リタイト思ツテ居リマスケレドモ、和
歌山縣ノ事情ハ私能ク承知致シテ居リマセ
ヌノデ、十分調査致シマス

ソレカラ食糧ノ配給ニ付キマシテ各府縣デ
餘リ不公平ノナイヤウニ、農林省ガ主ニナツ
テ、其ノ配給量モ決メテ居リマスガ、混食其
ノ他ノ事情カラ、必ズシモ一人當リノ消費
量ガ全國一律デナイコトハ是ハ御説ノ通り
デアリマス、隨テ其ノ食糧事情デ非常ニ困ル
所ハ、又直シテ居ルト云フ風ニ色々工夫ヲ
致シテ居リマス、殊ニ姪產婦ニ付キマシテハ、
政府トシマシテモ昨年ノ四月カラ特配ヲスルコ
トニ致シマシテ、其ノ爲ノ米ノ増配モ致シテ
居ルノデゴザイマスカラ、若シ御宅デオ困
リノヤウデシタラ、警察ヘ能ク御相談シテ
下サレバ増配スルコトニナツテ居リマスカラ、
適當ノ數量ヲ得ラレルコトト思ヒマス、
又鯉ヲ食べテ御乳が出ルト云フコトモ能ク
聞イテ居リマス、併シドウモ姪產婦ニ鯉ヲ
皆増配スル譯ニモ行キマセヌ、結局ハ私共
モ水產食糧品ガ足リマセヌカラ、養殖デ相
當ノ水產食糧ヲ増サウト云フコトハ計畫シ
テ居リマス、水田ニ鯉ヲ飼フ、所謂稻田養
鯉、是ハ前カラ農林省デモ獎勵シテヤラシ
テ居リマスガ、今日色々ナ事情カラ中々普
及致シマセヌガ、唯經營的ナ大キナ養鯉事
業ハ今日相當ニ獎勵致シテ居リマス、稻田
養鯉ノ問題モ十分考究シテ見タイト思ツテ

居リマス、ソレカラ價格ノ問題ハ話サナク
テモ宜イト云フ御話アリマスカラ、又今
マデ色々私ノ苦勞シテ居リマス所モ申上ゲ
テ居リマスカラ、御分リ願ツタト思ヒマス、
大體ソンナコトデアリマス

○松山委員 米ノ増産ノ一要素ト致シマシ
テ、開墾事業家、土地改良事業家ト申シマ
スカ、其ノ事ニ付キマシテ御注意ヲ喚起シ
テ置キタイト思ヒマス、能ク米増産ノ一要
素トシマシテ小作人ノコトガ論ゼラレ、小
農ノコトガ論ゼラレ、是ハ洵ニ結構ナ
コトデ其ノ通リデゴザイマス、ケレドモ今
日マデノ米ノ増産ノ一方ヲ擔當シテ來タ者
ハ開墾事業家デアル、近頃ハ農地營團ト云
フモノガ出來マシテ、五十町歩以上ノ大キ
ナ開墾ガ、ココ暫クハ民間ノ者ノ手デハヤ
レナイコトニナツテ居リマス、併シ農地營
團ト云フモノガ果シテ長ク開墾事業ト云フ
モノヲ擔當シテ、之ヲ獨占シテ良イ成績ヲ
擧ゲテ行キ得ルカト云フコトニ付テハ、尙
ホ民間デハ大キナ疑問ヲ持ツテ居ル、併シ
政府ノヤリナサルコトデスカラ、ソレヲジ
ツト見テ居ルノデアリマスガ、曾テ開墾助
成法ト云フモノガ初メテ出來マシタ時分ニ
ハ此ノ土地改良事業ヲ目的トスル會社ガ雨
後ノ筈ノ如ク澤山出來タ、併シ皆イケナイ、
全部失敗ニ終ツテシマツタ、結局其ノ當時
ハヤハリ開墾事業ノヤウナモノハ、民間ノ
本當ニソレヲ自分ノ生命トシテヤルヤウナ
ノダト云フコトニ國民一般ハ認識致シテ居
ルノデアリマス、開墾事業ト云フモノハ民
間ノ者ガヤリマシテモ大抵ハ困難ニ陥ツテ、

通常世間デ申シテ居リマス所ハ二人、三人
ノ手ニ渡ツテ、三人目位ノ所デ成功スル、
開墾事業ト云フモノハサウ云フ性質ノモノ
ダト申シテ居リマス、又モウ少シク色々
スカ、其ノ事ニ付キマシテ御注意ヲ喚起シ
テ置キタイト思ヒマス、能ク米増産ノ一要
素トシマシテ小作人ノコトガ論ゼラレ、小
農ノコトガ論ゼラレ、是ハ洵ニ結構ナ
コトデ其ノ通リデゴザイマス、ケレドモ今
日マデノ米ノ増産ノ一方ヲ擔當シテ來タ者
ハ開墾事業家デアル、近頃ハ農地營團ト云
フモノガ出來マシテ、五十町歩以上ノ大キ
ナ開墾ガ、ココ暫クハ民間ノ者ノ手デハヤ
レナイコトニナツテ居リマス、併シ農地營
團ト云フモノガ果シテ長ク開墾事業ト云フ
モノヲ擔當シテ、之ヲ獨占シテ良イ成績ヲ
擧ゲテ行キ得ルカト云フコトニ付テハ、尙
ホ民間デハ大キナ疑問ヲ持ツテ居ル、併シ
政府ノヤリナサルコトデスカラ、ソレヲジ
ツト見テ居ルノデアリマスガ、曾テ開墾助
成法ト云フモノガ初メテ出來マシタ時分ニ
ハ此ノ土地改良事業ヲ目的トスル會社ガ雨
後ノ筈ノ如ク澤山出來タ、併シ皆イケナイ、
全部失敗ニ終ツテシマツタ、結局其ノ當時
ハヤハリ開墾事業ノヤウナモノハ、民間ノ
本當ニソレヲ自分ノ生命トシテヤルヤウナ
ノダト云フコトニ國民一般ハ認識致シテ居
ルノデアリマス、開墾事業ト云フモノハ民
間ノ者ガヤリマシテモ大抵ハ困難ニ陥ツテ、

開發營團ガ出來タカラ、モウソンナ開墾事
業家ナドハ要ラナイノダ、米價問題ガ考慮セ
テ云フ風ニ認識サレテ居ル、其ノ途中デ我慢
シ切レナイ者ガ又二ツ三ツ人ノ手ヲ潜ツテ
ソレカラ成功スルニ至ルモノダ、斯ウ云フ
風ニシテ非常ニ困難ナモノトサレテ居ルノ
デゴザイマス、此ノ間豫算委員會デ松村謙
三君ガ、今後日本ガ東亞共榮圈内、殊ニ支
那ノ方面ニ日本國民ガ進ンデ行クニ付テハ、
大體ニ於テ支那人ト云フモノハ日本ノ一反
歩ニ於ケル米ノ生産量ノ半分位シカ穫ツテ
居ラナイノダカラ、之ヲ指導シテ行クニ付テハ、
色々開墾事業ヲヤツテ行ク、サウシテ支那
ノ民心ヲ把握シテ行カナケレバナラヌト云
フコトヲ言ハレ、總理大臣モ其ノコトヲ是認
シテ居ラレマシタガ、私ハヤハリ今後ト雖モ
農地營團ガ出來タラ開墾事業家、土地改良
事業家ト云フヤウナモノハモウ民間デハ要ラ
スノダ、斯ウ云フ風ニ行クベキモノヤナイ、
今日カラ見マシテモ、本當ニ開墾事業ト云フヤ
ウナ冒險のナ危険ノ多イ仕事ハ、民間ノ熱
意ノアル人間ガヤツテ行ク、ソレデ大丈夫
ト云フ上デ農地開發營團ノヤウナモノガ進
ンデ行ク、今後ト雖モ土地改良ト云フモ
ノハ必要デアル、必要デアレバ其ノ者ノ事
業ガ立チ行クヤウニ、之ヲ愛護シテ行カナ
ケレバナラヌ、私ハ米價問題ナドヲ考慮ス
ルニ付キマシテハ、此ノ方面ノコトモヤハ
リ考慮ニ入レナケレバナラヌト思フノデゴ
ザイマス、所ガ近頃世上ノ空氣ヲ見ルト、

開發營團ガ出來タカラ、モウソンナ開墾事
業家ナドハ要ラナイノダ、米價問題ガ考慮セ
テ云フ風ニ認識サレテ居ル、其ノ途中デ我慢
シ切レナイ者ガ又二ツ三ツ人ノ手ヲ潜ツテ
ソレカラ成功スルニ至ルモノダ、斯ウ云フ
風ニシテ非常ニ困難ナモノトサレテ居ルノ
デゴザイマス、此ノ間豫算委員會デ松村謙
三君ガ、今後日本ガ東亞共榮圈内、殊ニ支
那ノ方面ニ日本國民ガ進ンデ行クニ付テハ、
大體ニ於テ支那人ト云フモノハ日本ノ一反
歩ニ於ケル米ノ生産量ノ半分位シカ穫ツテ
居ラナイノダカラ、之ヲ指導シテ行クニ付テハ、
色々開墾事業ヲヤツテ行ク、サウシテ支那
ノ民心ヲ把握シテ行カナケレバナラヌト云
フコトヲ言ハレ、總理大臣モ其ノコトヲ是認
シテ居ラレマシタガ、私ハヤハリ今後ト雖モ
農地營團ガ出來タラ開墾事業家、土地改良
事業家ト云フヤウナモノハモウ民間デハ要ラ
スノダ、斯ウ云フ風ニ行クベキモノヤナイ、
今日カラ見マシテモ、本當ニ開墾事業ト云フヤ
ウナ冒險のナ危険ノ多イ仕事ハ、民間ノ熱
意ノアル人間ガヤツテ行ク、ソレデ大丈夫
ト云フ上デ農地開發營團ノヤウナモノガ進
ンデ行ク、今後ト雖モ土地改良ト云フモ
ノハ必要デアル、必要デアレバ其ノ者ノ事
業ガ立チ行クヤウニ、之ヲ愛護シテ行カナ
ケレバナラヌ、私ハ米價問題ナドヲ考慮ス
ルニ付キマシテハ、此ノ方面ノコトモヤハ
リ考慮ニ入レナケレバナラヌト思フノデゴ
ザイマス、所ガ近頃世上ノ空氣ヲ見ルト、

ノコトハ私ガ申上ガエルマデモナク、徳川時代ニ於キマシテ、農民ハ武士階級カラ相當ナ壓迫ヲ受ケテ、其ノ上百姓ヲシナイデ遊ンデ居レバ叱ラレタ、王政維新後ハ其ノ叱ル所ノ階級ガナクナツタノデアル、ソコデ是等ノ農民ノ多クハ、土地ヲ小作人ニ渡シテシマツテ、羽織ヲ着テ政治運動ヲ始メタ、自由民權ノ運動ト云フモノハ是デ熱ヲ持ツテ來、力ヲ持ツテ來タ譯デアル、其ノ結果立憲政治ガ此處マデ運ンデ來タ、此ノ功勞ハ確カニ認メサケレバナラヌ、所ガ初メノ間ハ科學ノ進歩ニ依ツテ農產物ノ増産ハスル、價格ハ經濟的ノ發達ニ依ツテ上ツテ來ル、百姓ト云フモノハ相當ニ好イモノデアル、自分ガ農家デアルト云フコトヲ誇リトシテ、サウシテ政治運動ニ參加シテ居ツタ、所ガ農產物ト云フモノハサウドンドン殖エテ行クモノデヘナイ、是ハ寧ロ低下シテ行ク、原則トシテサウナツテ行ク、價格ノ如キモノモ非常ニ變動ハアリマスルケレドモ、其ノ割合ニヘ上ツテハ行カナイ、一方商工業ノ方ハドン／＼發達シテ行ク、斯ウ云フコトノ爲ニ、農民ノ社會的位置ト云フモノハ非常ニ壓迫セラレル立場ニアツタ、個々ノ農民カラ言ヘバ、元ノ徳川時代ノ百姓、明治以來ノ一つノ政治的要素デアツタ所ノ地方ノ地主ト云フモノガ非常ニ困難ナ位置ニナリマシテ、其ノ中ノ弱イ段者カラ段々農村ヲ離レテ、農村ノ土地ヲ賣リ——此ノ自作農創定ノ御計畫ガナクトモ事實ニ於テ居レナクテ、段々農村カラ離レテ都會ニ出テ行キ、勞働者ノ中ニハ入ツテ行キ得ナイデ、或ハ其ノ者ガ米屋ヲ始メルトカ、小サイ商賣ヲ始メルトカ、ソレガ中商工業者ニナツテ、遂ニハ整理セラレルト

云フヤウナ時代ニナツテ來デ居リ、一種ノ
緩漫ナ社會變革ガ茲ニ行ハレテ居ル、之ヲ
一ツ政府ノ政策トシテ、或ル軌道ニ乘セテ
此ノ運行ヲヤツテ行カウト云フノガ自作農
創定デアル、ダカラ地方ノ者ニ土地ヲ賣レ
ト云フ場合ニ、才前ノ土地ヲ半分賣レト
カ、三分ノ一賣レト云フコトニハ行クマイ
ト思フ、賣ルト云フ時ニハ、其ノ土地ヲ全
部賣ツテ其ノ地ヲ離レル、或ヘ他ニ好イ仕
事ヲ見付ケルカモ知レマセヌガ、兎ニ角其ノ
ノ時ハ其ノ土地ヲ離レテ行ク人ナノデアリ
マス、丁度士族階級ガ祿ヲ離レ、元ノ藩侯
ノ地ヲ離レテ社會ニ抛リ出サレタヤウニ、
此ノ自作農創定デ、與ヘラレタル金ヲ持ツ
テドウ云フ所ニ落付クカ、兎ニ角其ノ人ハ
社會ノ一つノ波ニ乘ツテ行カナケレバナラ
バナラヌコトハ勿論ノコトデゴザイマス、
ケレドモ其ノ土地ヲ離レテ行ク人ノ土地ノ
値段ヲ餘リニ叩クト云フコトハ、本當ノ政
治トシテ宜シクナイト私ハ考ヘルノデアリ
マス、故ニ此ノ自作農創定ノ價格ト云フモ
ノハ、事情ノ許ス限り之ヲ高ク値積ルヤウ
ニシテ貴ヒタイ、又大臣ニ於テモ之ヲナス
場合ニ於テハ、ソレニ付テ考慮モスルト云
フ御意思ノアルコトハ、能ク分ツテ居リマ
ス、ソレデ私ハ其ノ一つノ方面デ此處デ申
上ゲタイコトハ、此ノ自作農創定ヲ大體計
畫ナサル政府トシテハ、モウ一步進ンデ考
ヘナケレバナラヌコトガアル、即チ金ヲ持
ツテ農地ヲ離レテ行ク所ノ農民ガ、モウ自
分ノ村デ今マデノ小作人ト同ジヤウニ一生

力ノ發展ニ依ツテ滿洲ニ日本人ガ進展シテ行カナケレバナラヌ、或ハ南洋方面ニ向ツテ發展シテ行カナケレバナラスト云フ此ノ氣運ニ乘ジテ、ソレ等ノ人ガ其ノ興ヘラレタル金ヲ持ツテ自己ノ運命ヲ開拓シテ行ク、斯ウ云フヤウナ途ヲ開イテヤルベキデハナカ、此ノコトニ付テ一ツ御考ヘラ願ヒタク「アメリカ」ノ「ニューアイギングランド」地方、例ヘバ「ボストン」博物館ナドヘ行キマスルト、昔ノ「ニューアイギングランド」ニ移住シタ人達ノ其ノ當時ニ持ツテ居ツタ所持品ガ陳列セラレテ居ル、彼等ガソレ等ヲ説明スル結論ハ、「ニューアイギングランド」ニ來タ人達ヘ詰リ只水呑百姓ガ來タノデハナイノダ、寧ロ相當ナ高イ文化ヲ持ツタ人ガ、思想上、信教ノ自由ヲ得ラレヌトカ、政治上ノ或ル考ヘラ持ツテ移ツテ來タノデアル、ソレダカラ「ニューアイギングランド」ト云フモノハ非常ニ健全ナ發達ヲシタノデアル、只ノモ、ソレデ日本人ガ滿洲ニ移住致シマシテモ、或ヘ南洋ニ行クニ致シマシテモ、無論相當ナ文化ヲ持チ、金ヲ持ツテ居ル人々ヲ移スト云フコトガ、日本國民ノ海外發展ノ爲ニ大事ナコトデヤナイカ、此ノ頃ノヤウニ農村ヲ離レテ、少シバカリノ金ヲ持ツテ都會ニ行ツテサ迷フヤウナコトノナイヤウニ、之ニ相當ノ指導ヲ與ヘ、行クベキ途ヲ政府ガ與ヘテヤルト云フコトガ必要デアル、此ノコトヲ私ハ考ヘルノデゴザイマスソレカラ實際問題トシテ此ノ價格ノ問題、例ヘバ今四百圓ト云フモノニナルト、大體一反歩ニ年々二十四圓拂フコトニナル、二十四五圓ト申シマスレバ、大體米ノ價ハ四十

九圓、五十圓、デスカラ、五十圓トスレバ
四斗八升デアル、是へ重イヨリモ輕イ方ガ
宜イ、生活ニ困ツテ居ル人ダカラ輕クシテ
ヤルコトハソレハ宜シイケレドモ、兎モ角
今マデノ小作人カラ地主ニナラウト云フ
ツノ考ヘデ出發スル以上ハ、ソレ等ノ人モ
奮發スベキデアルト思フ、唯生活ガ安易ニ
ナレバ宜シト云フ考ヘ方ヲサセルコトハ、
政治トシテハ私ヘ面白クナイノデハナイカト
思フ、例ヘバ今日ノ五十圓ノ米價トスレバ
二十四圓ハ四斗八升デアリマス、五斗位ノ
モノヲ出セバ宜シ、是ヘ今ノ小作人ニ八
斗乃至一石位ノモノハ一反歩ニ付テ出サセ
テ宜シイノデハナイカ、其ノ位ノモノハ出
サセル、併シ是ハ米價ガ非常ニ下ツタ場合、
例ヘバ米價ガ二十圓ニナレバ、二十四圓ハ
一石二斗ニナルカラ、政府トシテハ其ノ場
合モ考ヘナケレバナラヌト云フナラバ、農
地金庫ノ話ガドナタカラカ出マシタガ、米
ノ高イ時ニハ餘ル金ヲ蓄積シテ置ク、サウ
シテ米ガ安クナレバソレデ補給シテ行ク、
斯ウ云フヤウナコトモ考ヘマシテ、サウ云
フ農地金庫ノヤウナモノヲ作ツテ、其處デ
米價ノ高イ時ニハ金ヲ蓄積シテ行キ、足リナ
イ時ニハ補給スル、斯ウ云フヤウナ制度ヲ
ヤリマスナラバ、今日ノ社會事情カラ申シ
マシテ、米價ガ今日五十圓——是モ近キ過
去ニ於テ二十圓ニモ下ツタコトガアルノデ
スカラ、或ハサウナル時ガアルカモ知レマ
セヌガ、日本ノ發展的ナ今ノ國情ヨリ見テ、
日本トシテ米價ガサウ下ツテ行クベキモノ
ナイカ、モウ一ツ進ンデ、自作農創定案ト
云フモノニ實現性ヲ附與スルガ爲ニハ、其

ノ點ヲ考慮スベキデハナイカ、斯ウ云フコ
トヲ考ヘル譯デアリマス、農林大臣ノ御意
見ヲ伺ヒマス

○井野國務大臣 自作農創定ノ上デ、農地
價格ノ問題ガ重要デアリマスコトハ御説ノ
通リデアリマス、隨テ先般來モ此ノ問題ニ
付キマシテハ色々考へ方ヲ申上ダテ居ルノ
デアリマス、併シ之ヲ徒ラニ高ク致シマス
ト、今度ハ自作農創定致シマシタ者ガ維持
ガ困難ダト云フコトモ十分考ヘナケレバナ
ラス、又米價低落ノ場合等ノ御話ガアリマ
シタガ、今日ノ米價ハ、政府ガ國家管理ヲ
シテ居リマスカラ、是ヨリモ下ルト云フコ
トハ殆ドナイノデアリマス、隨テ昔ノ自由
經濟時代ノ自作農創定トハ餘程違ツタ觀點
カラ、今日ハ自作農創定ガ出來得ルヤウニ
ナツテ參リマシタノデ、政府ハ今回ノ一大
計畫ヲ立テ居ル譯デアリマス、是ガ實現
ニハ、仰セノヤウニ農林省ト致シマシテモ
出來ルダケ色々工夫致シマシテ、サウシテ
此ノ目的ヲ達成シタイ、斯ウ云フヤウニ考
ヘテ居ル譯デアリマス

○松山委員 今大臣ノ御説明ヲ伺ヒマシテ、
土地ノ價格ヲ引上ゲル可能性ガ非常ニ多イ
ト云フコトニ氣付キマシタ譯デアリマス(笑
聲)ソレデコソ此ノ自作農創定案ニ實現性
ガ、少クトモ近キ將來ニ於テ出來テ來ルト
云フコトニ非常ニ安心致シマシテ、私ノ質
問ヲ終リマス

○井野國務大臣 松山君ガ御考ヘニナルコ
トハ自由デアリマスケレドモ、私ハ價格ヲ
上ガルトハ申シテ居リマセヌ

○松山委員 能ク分リマシタ

○鈴木(重)委員 松山君ノ質問ニ關聯致シ
マシテ、食糧問題ニ付テ簡単ニ一寸御尋ね

致シタイト思ヒマス
○東郷委員長 簡単ナラバ此ノ際御許シ致
シマス

○鈴木(重)委員 一地方ノコトヲ申上ダマ
シテハ恐縮デアリマスガ、私長崎縣デアリ
マス、長崎縣ノ事情ハ、既ニ御承知ノ通り
ニ炭礦ガ相當多く出來テ参り、更ニ造船其
ノ他ノ戰時下ノ產業ガ相當盛シニナツテ參
リマシテ、十數万ノ勞働者ガ入り込ンデ參
ツテ居リマス、ソレガ食糧ノ配給量ガ少イ
ト云フ爲ニ、非常ニ人心ガ動搖シテ居ルヤ
ウナ傾向ニアリマス、殊ニ半島人ヲ炭礦方
面ニ入レマシタモノハ、凡ソ其ノ八割ハ逃
走スル、斯ウ云フ結果デアリマス、ソコデ
勞働手帳ナンカ持ツテ居ルカラ、左様ナ者
ハ何トカナリサウナモノダト云フヤウナコ
トデ調べテ見マスト、ヤハリ今日ニ於テ
尙ホ勞働手帳等ヲ持チ合ハサナクトモ働キ
得ル方面ガアルト云フヤウナ事情デ、炭礦
方面ニ於テモ此ノ爲ニ非常ナル苦慮ヲ致シ
テ居ルヤウナ状態デアリマス、元來長崎縣
ノ米ノ配給ト云フノハ、最初米ノ配給ガ實
施サレマシタ當時ニ一人當リ一合七勺デア
リマシタ、只今ハ一合八勺、而シテ村ニ依
リマシテハ、最初ハ五勺位カラ、現在ニ於
キマシテモ一人當リ一合以下ヲ配給シテ居
ル所モアリ、左様ナコトニ依リマシテ漸ク
調節ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、重労働
者方面ニ對スル配給ノ實績ハ、米麥合ハセ
マシテ三合五勺、ソレガ隣接ノ佐賀、福岡
ノ兩縣等ニ比較致シマスルト相當ノ開キガ
アリマスノデ、茲ニ人心動搖ノ原因ガ生ズ
ルノデアリマス、曩ニ大臣ノ御答辯ノ中ニ、
四合ノ配給ガ今實施サレテ居ルト云フコト
ニアリマシタガ、長崎縣ノ實情ハ、十月頃

カト思ヒマスガ、二箇月程重労働者ニ對シ
テ五勺ヅツノ増配ガアツタカト思ヒマス、
ソレ以外ニハ増配ガナクシテ、從來ノ儘デ
實際ハヤツテ居ルト云フ狀態デアリマス、
シテハ恐縮デアリマスガ、私長崎縣デアリ
マス、長崎縣ノ事情ハ、既ニ御承知ノ通り
ニ炭礦ガ相當多く出來テ参り、更ニ造船其
ノ他ノ戰時下ノ產業ガ相當盛シニナツテ參
リマシテ、十數万ノ勞働者ガ入り込ンデ參
ツテ居リマス、ソレガ食糧ノ配給量ガ少イ
ト云フ爲ニ、非常ニ人心ガ動搖シテ居ルヤ
ウナ傾向ニアリマス、殊ニ半島人ヲ炭礦方
面ニ入レマシタモノハ、凡ソ其ノ八割ハ逃
走スル、斯ウ云フ結果デアリマス、ソコデ
勞働手帳ナンカ持ツテ居ルカラ、左様ナ者
ハ何トカナリサウナモノダト云フヤウナコ
トデ調べテ見マスト、ヤハリ今日ニ於テ
尙ホ勞働手帳等ヲ持チ合ハサナクトモ働キ
得ル方面ガアルト云フヤウナ事情デ、炭礦
方面ニ於テモ此ノ爲ニ非常ナル苦慮ヲ致シ
テ居ルヤウナ状態デアリマス、元來長崎縣
ノ米ノ配給ト云フノハ、最初米ノ配給ガ實
施サレマシタ當時ニ一人當リ一合七勺デア
リマシタ、只今ハ一合八勺、而シテ村ニ依
リマシテハ、最初ハ五勺位カラ、現在ニ於
キマシテモ一人當リ一合以下ヲ配給シテ居
ル所モアリ、左様ナコトニ依リマシテ漸ク
調節ヲ執ツテ居ルノデアリマスガ、重労働
者方面ニ對スル配給ノ實績ハ、米麥合ハセ
マシテ三合五勺、ソレガ隣接ノ佐賀、福岡
ノ兩縣等ニ比較致シマスルト相當ノ開キガ
アリマスノデ、茲ニ人心動搖ノ原因ガ生ズ
ルノデアリマス、曩ニ大臣ノ御答辯ノ中ニ、
四合ノ配給ガ今實施サレテ居ルト云フコト
ニアリマシタガ、長崎縣ノ實情ハ、十月頃

○鈴木(重)委員 分リマシタ、是デ質問ヲ
終リマス
○東郷委員長 本日ハ是ニテ散會致シマス、
明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午後六時散會

昭和十八年二月十二日印刷

昭和十八年二月十三日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局